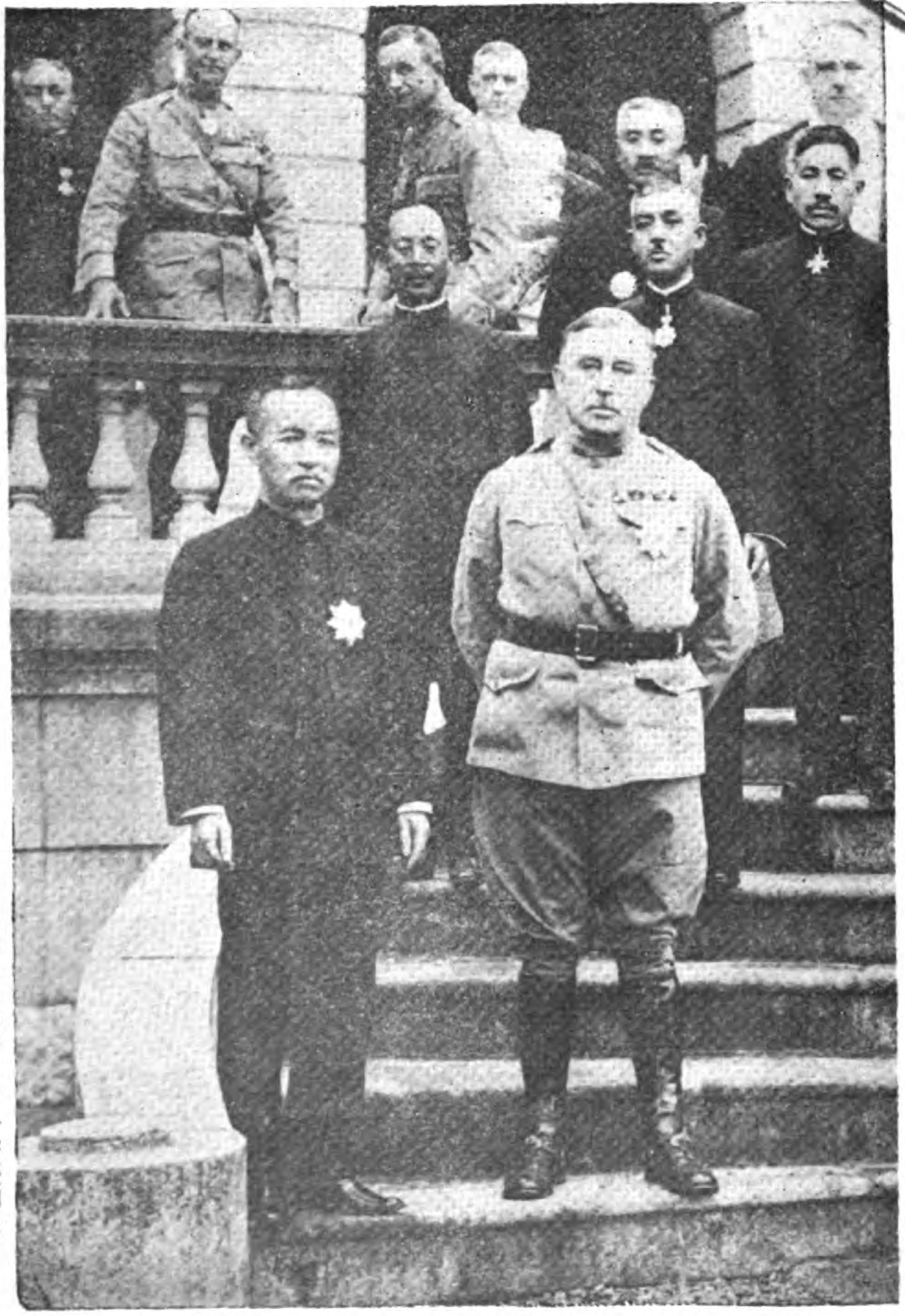
DUPLICATE

臺灣時報

十一月號

南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調査局
登録濟
DEC 1 1921
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO. LIMITED

比島新總督の來訪
時報（臺灣時事）
評議會委員會告辭
法令取調委員會訓示
在米邦人の諸問題
我邦産業と支那南洋
總督邸の詩人茶話會
臺灣の鐵道
輸入米國材に就て
香港々灣の設備
臺灣の人口



田總督（前列左）ウッド將軍（同右）

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す（發行規定第一條）

◎臺灣時報發行所役員

△評議員長　賀來佐賀太郎

△評議員（以下イロハ順）

池田常吉　池田幸甚　石坂莊作　市來半次郎　今井周三郎　服部仁藏　新元鹿之助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　宮島元治　宮地近思　陳[illegible]鳴　陳中和　李[illegible]盛　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧

大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　奥田重榮　大川盛行　大賀基作　渡部英太郎　川崎卓吉　片山秀太郎　川崎軍治　川中子安次郎　簡朗山　簡阿牛　顏雲年　曾野善三郎　吉田平吾　吉岡荒造　楊吉臣

醫學博士 高木友枝　島田元治郎　高田富藏　工學博士 高橋辰次郎　立川述　田村武七　田村藤四郎　法學博士 谷野格　島山仰　瀧田等吉　常吉德壽　津田毅一　津久井誠一郎　永田隼之輔　中村啓次郎　内藤正太郎　武藤針五郎　草鹿砥祐吉　山移定政　松岡富雄　牧山清砂　藤野幹　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　枝德二　江口良三郎　江崎眞澄　鄭拱辰

△編纂委員

石井光次郎　生駒高常　服部武彥　法水了禪

鄭神致　勇石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　相賀照鄉　阿部滂　麻生誠之　荒卷鐵之助　淺田知定　齊池論　近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　齋藤愛二　樋瀬軍之佐　佐藤小次郎　皿谷廣次　蔡蓮舫　木村匡　木村久太郎　許廷光　北村吉之助　三村三平　三好德三郎　下瀬謙太郎　徐杰夫　森俊六郎　平山寅次郎　平山午介　末松偕一郎　角源泉　鈴木重臣　諏訪醴次郎

豐田勝藏　農學博士 東鄕實　宮田松彥　岡村時次郎

△常務員

東忠藏　和田一次　饒田正武　橫光吉規　淺野安吉　赤松寅七　木越幸一　三浦祿郎　島田源市　木山文平　深川繁治

古山榮三郎　田阪千助　堤一馬　岡本[illegible]　中村[illegible]太郎　宇[illegible]宗一　前山[illegible]靖　稻[illegible]平三郎

編輯係　鷹取田一郎
同　高橋惇
同　拓大雄
同　中野賢三郎
同　小森德治
同　秋澤次郎
囑託　池田壯太郎
同　峰谷彬

囑託　大槻網彥
同　池山忠吉
同　橫尾善夫
同　高倉俊次郎
同　眞倉民治
同　志田潔之
同　杉山秀

庶務及會計係　伊藤偉之助

大正十年十一月十三日印刷
大正十年十一月十五日發行（毎月一回一日發行）

（定價一册郵稅共金三十錢
廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣第二〇七〇番
電話總督府内第八九番

編輯兼發行人　臺北市龍匣口百四十番戸　中野顯三郎

印刷人　臺北市撫臺街二丁目四十番戸　澤田照基

印刷所　臺北市撫臺街二丁目百四十六番戸　臺北印刷株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

營業科目

電氣事業投資
電氣工事請負
電氣機械、器具製造販賣
日本電話工業株式會社製品一手取扱

本社　東京市京橋區新肴町
工場　大阪府東成郡鯰江町今神

K.D.K

臺北市府前街三丁目五番戶

株式會社
川北電氣企業社臺灣支店

電話｛長一、五四五番
一、九〇五番

廈門鼓浪嶼
出張所　川北電氣公司

代理店　高雄山一商行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報

十一月號目次

大正十年、第廿八號

■口繪▼田總督とウッド將軍▼臺灣神社祭日の參拜者▼臺北市内六小學校聯合大運動會

■比島新總督の來訪（卷頭辭）……一

■時報▼天長節祝日の島都▼臺灣神社祭典▼ウッド將軍の來臺▼總督府評議會本會議▼内務局の失業調査▼臺灣小學校教育研究大會▼全島郵便局長及技術官會議▼鐵道部效績章授與式▼教育功勞者表彰▼總督邸の詩人茶話會▼小公學校大運動會……二—六

■總督府評議會委員會に於ける告辭……臺灣總督男爵　田健治郎……七

■法令取調委員會に於ける訓示……臺灣總督男爵　田健治郎……[illegible]

■在米邦人に關する諸問題……内務局長　末松偕一郎……[illegible]

■我邦産業の將來と支那南洋……木村增太郎……三[illegible]

■辮髮に對する史的研究……總督府囑託　鷹取田一郎……四八

■比島新總督ウッド將軍略歷……五三

■總督官邸に於ける全臺詩人茶話會……五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

■臺灣の鐵道……鐵道部庶務課長　橫光吉規　五七
■輸入米國材に就て……營林所營業課長　淺野榮吉　六六
■香港々灣の設備……稅關事務官　井出季和太　七二
■戰後獨逸の北海諸港の發展……後藤生譯　九一
■新嘉坡に於ける鳳梨罐詰……商工課　九五
■爪哇市場と陶磁器……商工課　九九
■榕髯錄……一〇六
■臺灣現住の人口……一〇七
■島情▼總督府評議會委員會議事錄▼金融概況▼臺灣商況……一一三—一二六
■除服出仕の誤解（朝鮮の珍談、可行子）……一二七
■瑯璠……仙俗居士　一二八
■原始民族に顯はれたる酒……蕉鹿夢　一三三
■詞苑……一三七
■雜報▼督府異動と送別其他▼講演の數々▼諸集會▼編輯雜記▼正誤……一四三—一四四
■臺灣日記▼人事消息▼任命▼寄贈書目……一四五—一四八
■漢文▼於總督府評議會委員會告辭（田總督）▼於法令調查委員會訓示（田總督）……一四九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社 臺灣銀行 （臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　臺中　嘉義　臺南　高雄

宜蘭　淡水　桃園　新竹　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那　其他　內地

上海　九江　漢口　福州

厦門　汕頭　香港　廣東

新嘉坡　盤谷　スラバヤ　スマラン

バタビヤ　孟買　倫敦　紐育

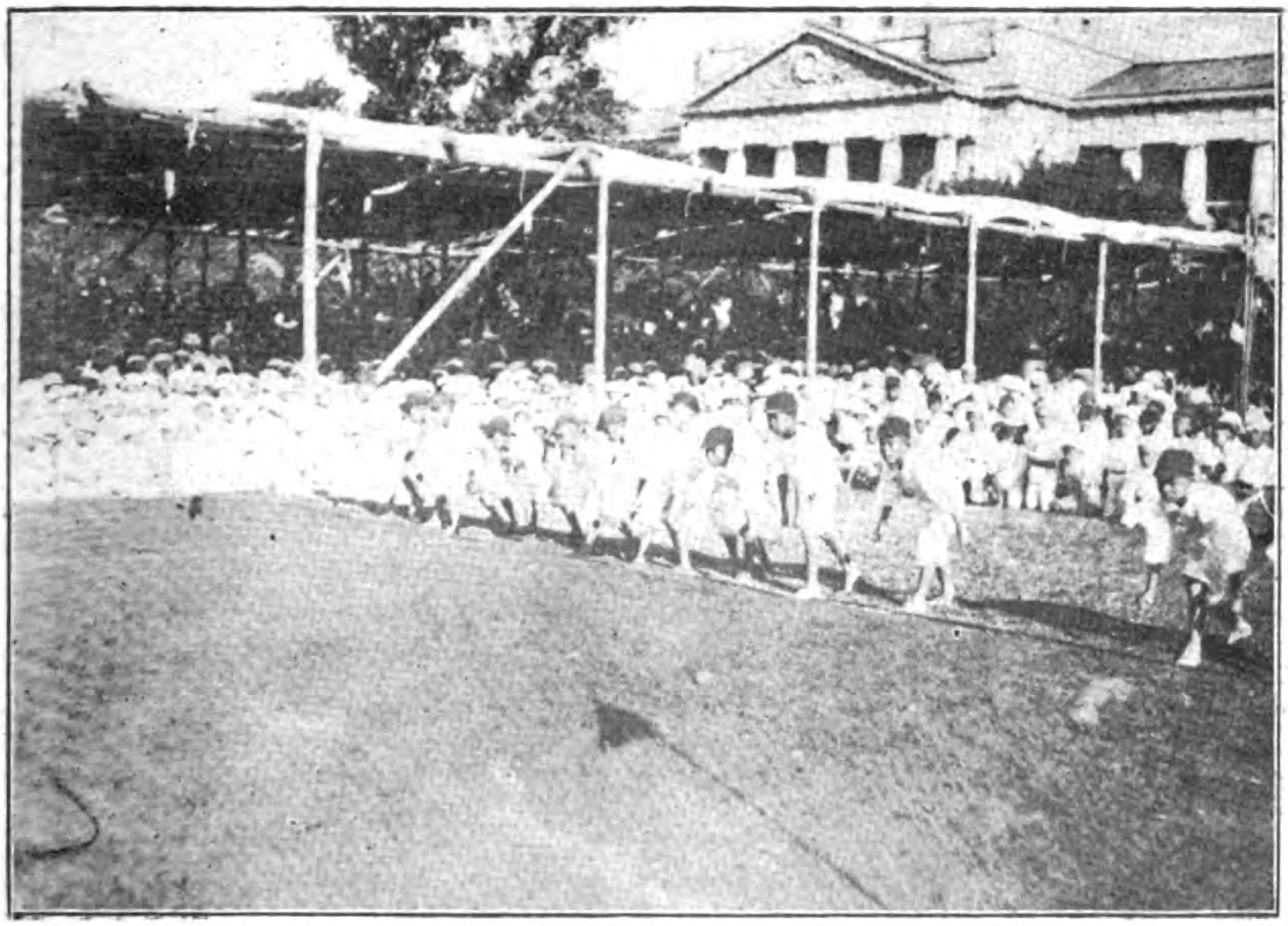
神戶　大阪　横濱　東京　門司

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

田總督（左）ミッドッ將軍（右）＝總督府玄關前に於て＝

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣神社祭日の參拜者



臺北市內六小學聯合運動會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報

大正十年十一月號

比島新總督の來訪

這回本島を訪問せる比島新總督ウッド將軍は、米國共和黨の名士にして夙に文勳武功の閱歷を有し、最近大統領候補として起ちし人。曩にハーディング大統領の旨を受けて比律賓を視察し、而して今選ばれて其の總督となる。蓋し頻年獨立の唱道せらるゝ比島の統治は、必ずや將軍に依りて卓越せる治策の行はるゝを見む。今此の將軍の來訪に接したる臺灣の光榮、洵に至大なりと謂はざるべからず。

將軍の臺灣を訪問せるは、勿論本島と一葦水を隔つる比島の新總督として、善隣の誼を締するに在りしなるべし、果然田總督の歡迎會の席上、將軍は我が總督の鈙禮辭に答ふる中に、太平洋上の平和確立及び日米親善の、世界の平和、人類の幸福に貢献する所あるべきを論じて、相互の誤解偏見は、多くは往訪親接を缺くに原因すと說き、將軍自身も此の意味よりして本島に來訪せる旨を言明し、而して我が督府諸官も亦た比島に來りて相互的諒解を得むことを慫慂せり。是れ洵に至當の希望にして漫に外交一片の辭禮と觀るべからざるが如し。

將軍は卒然來り卒然去り、滯臺僅かに十間時に過ぎざりしも、總督、軍司令官の懇切なる待遇によりて交歡至らざるなく、臺比の隣友是に由りて頓に諒解を得たり。吾人は此の敎訓によりて我が臺灣總督に於ても親しく南隣の各國植民地を訪問し、握手交歡の間に相互の諒解を得、以て國際の親善を益々濃厚ならしめんられむことを望むや切なり。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

天長節祝日の島都

十月三十一日の島都は朝來曇天にて時々細雨さへ雕々たりしが流石に南國は秋陽の何處か暖かく天長祝日の好氣分を失はざりき、午前九時總督府に於ては田總督代理として末松長官代理を初め各部局課長以下參集、嚴肅なる天長節祝日の拜賀を行ひたるが、軍司令部其他各官衙、學校等孰れも同樣拜賀式を擧げ市中は國旗幔幕に祝意を表したり尙ほ午後三時より總督官邸に於て盛大なる祝賀園遊會を催し參會者無慮八百餘名、田總督代理末松局長の發聲にて天皇陛下の萬歲を三唱したり其他全島各地に於ても夫々拜賀式を行ひ敬祝の意を表したり。

臺灣神社祭典

十月二十七日臺灣神社に於て御鎭座記念日祭を執行し又た同日恒例に依り臺北新公園に於て遙拜式を執行したるが二十八日は午前八時より臺灣神社に於て壯嚴なる大祭式を執行し總督代理幣帛供進使として末松長官代理、福田軍司令官を初め文武官各學校生徒其他參拜し十時式を終りたるが臺北市内は到處に御祭り氣分を漲はし臺中臺南其他に於ても例祭又は遙拜式を執行し各地とも相當に賑ひたり。

ウッド將軍の來臺

比律賓新總督ウッド將軍は過般ハーヂング大統領の意を承けて前比島總督フォルブス氏と共に比島を視察し次で支那に渡り南支、中支より滿州に出で朝鮮を經て我邦に到り東京其他各地を視察中、九月二十二日華盛頓政府より比島總督に任ぜられたる爲め眞菲に到りて總督就任の宣誓式を擧行すべく日本より同島に向ふの途次、本島に立寄りて善隣の誼を謝すべく十月十二日、米艦ニユー、オルレアン號にて基隆に入港し末松總務長官代理を初め本島官民並に米國領事の出迎を受け、オーエンス艦長、マッコイ大佐以下幕僚數氏を隨へて臺北に入り、田總督、福田軍司令官を訪問したる後、午後一時より鐵道ホテルに於ける福田軍司令官招待の午餐會に臨みて席上同司令官と共に懇篤なる辭令を交換する所あり夫れより米國領事館に於て在臺北の米人を引見し尙は午後五時より總督官邸に於ける盛大なる晩餐會に臨みて遺憾なく日米交歡の意を盡したるが席上、田總督の深遠なる歡迎

辭に對して同將軍は先づ懇篤なる謝辭を述べたる上、日米親善並に太平洋の平和確立に言及して後。百聞は一見に如かず、由來異國人間の誤解と偏見とは、親しく其の國を訪ひ其の民衆に接せざるに原因するもの多し、余は此の意味よりして今回貴本國と臺灣とを訪問せる次第なるが、此上は貴總督初め要路の方々にも是非、非律賓に渡來されて相互的諒解を得られんことは殊に余の希望に堪へざる所なり、斯くて相互善隣の誼を締して通商貿易等は必然的に發達すべきや疑ひなけむ、尙ほ此の機會に於て兩國及び臺灣非律賓の關係の益々親善ならんことを祝福し併せて閣下の御健康を祝す云々。と結びたり、宴終りて後、將軍は官民多數の見送を受けつゝ午後六時臺北驛發列車にて基隆に向け出發せり、比島に於ける總督就任の宣誓式は同十五日午後二時に行はるゝ爲め將軍訪臺の日程は僅々一日に過ぎざりしも臺比の交歡は遺憾なく表明せられ將軍の去るに臨みて田總督よりは記念として銀製竹筏を、又臺北市よりは臺灣物產の烏龍茶六打を將軍及び幕僚乘組員等に贈呈し將軍の一行は非常の滿足を以て本島を辭し、尙ほ將軍は米國領事に依り深厚なる感謝の意を表する謝狀を田總督に致したり。

總督府評議會本會議

總督府評議會は曩に道路、教育、民法、商法等の諸問題に就き之を委員會の議に付し各委員會は本誌前號所報の如く十月一日より八日に至る迄愼重審議の結果、委員會の議決を答申したるに依り茲に評議會本會議は再び會長によりて召集せられ十月十八日より同二十四日に至る六日間(二十三日は休)前記諸問題に就き各委員長の報告ありて審議する所あり其結果、道路問題は委員會修正通り可決し、民法施行の件は是亦た委員會說の如く本島の舊慣たる分頭相續に關しては例外を設け其他は民法の全部を臺灣に施行すること、公業は從來のものは無期限に存置し、希望によりて民法の公益法人に變更せしめ、將來の公業に就ては全然民法に依らしむるに決し又た商法も委員會說の通り全部本島に施行するに決し前記各諮問事項に關する議決の趣旨に就き評議會々長より臺灣總督に答申し同會は二十四日閉會を告げたり。

內務局の失業調査

總督府に於ては近時世運の推移と經濟狀態の變遷に伴ひ社會政策上講究及び施設を要するもの頗る多きに察し曩に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總務長官通達を以て社會的施設の方針に關し各州知事廳長に示達する所ありしは本誌前號既報の如くにして爾來督府竝に地方廳は該方針に依り著々調査施設に力めつゝあるが内務局に於ては這回其の一方法として近時產業界の不況に伴ひ各種工場の閉鎖休業及縮少に因りて生ずべき失職の數愈々多かるべきを察し工場に就ては、閉鎖休業及縮少の原因竝に其の年月日、解雇及休業の事務員竝に職工數を、又た失職者に就ては、失職者職業、失職の原因、失職地在住又は内地歸還數其他參考たるべき事項等、九月末現在にて調査の上、十月末日迄報告すべき旨を各州知事廳長に照會したり右照會は九月二十二日發送を終へたりと。

臺灣小學校教育研究大會

本島に於ける小學校教育が、兒童の入退及教員轉免の頻繁なること、出身を異にし經驗と見解を異にする教師の集合なること、風習を異にし職業を異にせる各府縣人より成る父兄保護者なること、氣候風土を異にすること、對本島人なること等、内地の夫れに比して著るしく其の趣を異にし且つ至難の業たるは教育當事者の夙に深憂とする所なるが臺北師範學校附屬小學に於ては是等の事情に鑑み小學校教育法に關する研究と經驗とを交換し協議して一面教員が徒らに官權にのみ倚頼することなく自覺に因る自發的向上を促進すると共に教員多數の意見上達の機關を設け大いに斯界の改善進歩を圖らんとするの趣旨を以て臺灣小學校教員研究大會の開催を企劃し全島小學校長及關係當事者の賛同を求め十月十五日より五日間附屬小學校に於て第一回研究大會を開會せるに參加者八十六名、研究發表の申込二十三項、教育改善に關する協議事項提出百二十八件の多きに及び特に内務局より本會に對して兒童教育上留意すべき事項に關する諮問あり尚ほ末松内務局長の訓示、英軍醫部長の體育に關する講演、野田文部省督學官の道德教育の問題に就ての講演等あり本會は開會五日にして各種研究の發表、諮問事項及協議事項に關する委員の報告、其他打合等を了りて十九日閉會を告げ本會第一次の目的を達したるは臺灣教育改善の爲め洵に欣ぶべきことなり。

全島郵便局長及技術官會議

全島一二等郵便局長會議は十月二十四、五の兩日、臺北陸軍偕行社に開催せられ各郵便局長を初め通信局各課

長、係長列席、吉田遞信局長議長席に著き會議を開きたるが第一日に於て總務長官の通信事業に對する訓示竝に遞信局長の事業遂行に關する訓示等あり次で諮問事項たる事業運行の狀況及事務簡捷の方法に就き兩日に亙りて答申を爲し其他事務打合等ありて會議を終了したり次で二等局長會議は二十六、七の兩日、同所に於て行はれ吉田遞信局長の現業機關運用に關する周到なる訓示ありたる後、建議案其他の議事竝に事務打合等を了りて閉會を告げたり、之と同時に遞信局主催各州駐在の遞信技術官會議も前記兩日同所に於て開會せられ遞信局長の電氣通信機關の維持竝に建設に關する訓示竝に答申ありたる後、諮問事項の審議及打合ありて二十七日閉會を告げたり

鐵道部效績章授與式

總督府に於ては曩に鐵道部職員表彰規程を定め同部職員にして勤續二十年以上に及び操行成績共に佳良なるものに對しては效績章を授與すべき旨を規定したるが今回右に該當する者百三十七名に對し效績章を授與するに決し新元部長は勤續二十四年にて田總督より該章を授與せられたるが其他の一百三十六名に對しては十月二十四日午後三時鐵道部樓上に於て其の授與式を擧行し新元部長より高等官及判任官以下に對して順次彰狀及效績表を授與し終つて同部長より領臺以來臺灣鐵道の沿革竝に多年之に努力して操行成績共に可なる三德兼備のものを表彰せる旨一場の訓示を與へて大いに授章者を賞揚激賞する所あり渡邊工務課長は一同を代表して謝辭を述べて式を終りたり尙ほ同部長は同日鐵道ホテルに於て授章者を招待し饗宴を張れり。

敎育功勞者表彰

臺灣敎育會にては十月三十日の敎育勅語煥發記念日をトし吉例に依り本島敎育界に於ける功勞者十五氏に對し總督府に於て表彰式を擧行したり右十五氏は、松山榕吉、志保田鉎吉、劉克明、武山光規、久芳トシ、石川彥太郞、後藤吉人、何部光平、高岡武明、劉煥文、秋山芳太郞、張德明、クララウ、木村謹吾、呂鷹揚、の諸氏なり。

總督邸の詩人茶話會

田總督は十月二十四日午後三時より全島の詩人一百餘名を官邸に招いて茶話會を催されたり集る者、瀛社の社長たる顏雲年氏を初め内地本島の詩人及び陪賓たる督府諸官なりき、田總督は先づ一詩を賦して示され衆賓

は思ひ／＼に之に和韻したり四時食堂を開いて一同卓に就くや總督は起つて「本日詩人諸君と一堂に相會するを得たるは余の頗る滿足とする所、お互に意息を發表するは文字に優るは無し、而して詩賦文事は遊樂中最も高尚にして相互意思の融和疎通を圖り得るものなれば、今後も機會だにあらば此の樂を與にしたし」との意味を通譯によりて述べられれば顏雲年氏は一同を代表して謝辭を敍べ主客互に健康を祝して乾杯し和氣靄々の裡に五時頃散會したるが藤園將軍の曾て時々詩人と小集を催はされし以來斯る大會の開かれたるは殆ど前例なき所にして其の本島讀書人の感懷に及ぼせる影響頗る大なるべし。

小公學校大運動會

臺北の年中行事たる小公學校の聯合大運動會は十月二十三、四の兩日、秋旻高く七星大屯の諸山を遠景とする新公園の運動場に催されたり二十三日は市内六小學校の聯合運動會にて午前八時武藤會長の挨拶を以て開始せられ午前の部三十六番二百七十餘回、午後の部三十二番百三十回の運動競技に六千の兒童は交互に登場して翩々妙技を競ひ、午前に福田司令官、午後に末松内務局長、高田臺北州知事其他の來觀ありて競技は一層高潮し觀衆幾萬の歡聲は城市を壓するの盛況を呈せり次で二十四日は市内九公學校聯合大運動會の同所に催さるゝあり運動競技は午前の部三十七番二百六十餘回、午後の部三十五番九十餘回にて八千の兒童は各番毎に前日に遜らざる熟練さを示して約三萬の觀衆を醉はしめたるは彼是以て本島教育に於ける體育の盛んなるを察すべし。

私設社會事業助成金

總督府に於ては先般來調査の結果、全島各地に在る私設社會事業にして現に社會的に本島に貢獻し且つ世運の推移と共に其の發達を助成すべき必要ありと認めたるものに對し十月三十一日天長の佳節に於て明治救濟會、大正救濟會より助成金を交付したり其内譯は、金七百圓私立臺北盲啞學校（代表者木村謹吾）金五百圓護國十善會（小山祐全）、金三百圓私立基隆夜學校（石阪莊作）、金二百圓桃園街家長會國語練習會（簡朗山）、金七百圓彰化基督教醫院（ダヴイデ、ランスバロ）、金三百圓鹿港博濟社（蔣猪母）、金三百圓日宗施療院（丸井智選）、金二百圓恒春車城滿洲の三簡易入浴場（許連升）、金二百圓水底寮簡易入浴場（坊寮製酒合名會社）等にして同時に總務長官より事業獎勵に關する傳達方に付地方廳に通達を發したり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總督府評議會委員會に於ける告辭

——十月一日總督府に於て——

臺灣總督男爵　田　健治郎

諸君今度は御繁忙の折柄にも拘はらず、委員會開會に付、御集り下され、中にも遠方より御出席になつた方もあり、甚だ御苦勞に存じます。

此度委員會に附せられし諸種の事項は、何れも極めて重大案件であつて、本島百年の大計を定むるものと申して可なりと信ずるのであります。就中、民法商法に關するもの、殊に諸君の是れより審査せらるゝ民法に關する事項は、最も重大なるものであります。勿論教育及道路問題も亦重大事なることは、前述の通りでありますが、而かも此等の事項は、假令一且決定したとするも、政治上の模樣如何に依り強ち變更することが出來ないものではないのであります。然るに民法問題に至つては、各人の生活の根本を律するものであるから

して、一旦制定した以上、濫りに之が變更を許さないのであります。故に內地に於ても明治二十二三年頃、民法・商法其他各般の法典を編纂するに當りては、愼重に愼重を重ねしもので、元老院に諮詢せられたのであります。隨つて同院に於ても非常に愼重審議せられ、殊に民法人事編の如きは、殆んど成案の全部改正を爲す迄に、熟議を凝して成立したのであります。是れ畢竟單に法學者の理想的成案その儘を施行するを得ざる事情あり、實際家經驗家の意見をも參酌するの必要ありし爲めに外ならなかつたのであります。

今回の問題は、此の既成法典を如何に本島に施行するかに在つて、新に立法するものではない。隨つて民法典編纂當時とは事情大いに異なるのでありますが、而かも此の大法典を本島に施行することは、本島人に取つては永久に甚大の利害を及ぼすことであるからして、輕々しく即決することは出來ないと思ふのであります。

私は谷野主査にも申したことであるが、此の民法を審査するに就ては、最も愼重に考慮し、實施の曉に於て種々の支障を生ずるが如きことなき樣、就ては民法の各條を理解して審査するの必要ありと信ずるので、此の重大問題を短日月を期して輕卒に決せらるゝよりも、期間は多少延長するとも、成る可く鄭重細密に審議せられ、萬遺漏なき樣、御研究を願ひたいのであります。固より之に對しては、何等牽制はしませぬから、極めて卒直に意見を發表せられたい。併し荒つぽくせないで、事項毎に深く考究し、愼重細密に研究せられんことを、老婆心までに一言希望する次第であります。

法令取調委員會に於ける訓示

——十月三日總督府に於て——

臺灣總督　男爵　田　健治郎

此の度、法令取調委員會を設置し、各員を委員に指名したり。茲に其の大體の方針を示さん。本島の文化の次第に進歩するに從ひ、之に適應すべく内地の法令にして施行し得べきものは、漸次之を施行することは、最も必要なる政策なり。本島に施行を要する内地の法令中、其の最も重大なるものは、目下評議會に諮問中の民法商法なり。評議會への諮問は、民法を臺灣に施行するに付、除外例を設くべき事項如何、商法を臺灣に施行するとせば、除外例を設くべき事項なきかにして、商法と民法とに就き稍々諮問の意味を異にせり。云ふ迄もなく、民法は人類生存の根本法とも稱すべきものにして、人の出生より家族關係、親族關係、其の他百般の權利義務に及び、人民の私法上に於ける利害得失に係る重大なる法規なれば、本島の如き民情風俗の異なる地に施行せんとせば、細心の注意研究を爲すことを要し、只單に理論又は概括論にて決定するに於ては、實施後に種々の不都合を生ずべし。評議會に於ては、議員の言論は自由なるが故に、或は全部施行論もあるべく、或は一部除外例を設くべしとの論も出づべく、如何なる答申を得るやは豫想し難きも、何れにしても其の答申は寧ろ常識判斷に係るもの多かるべければ、之が實行方

法殊に經過法に就きては、法律專門家の研究審査を經ることを要す。例へば舊慣に依據せるものを民法に依ることゝせば、此の經過法を如何にすべきや、既に成立せる法律關係は如何にすべきや、既得の權利は施行後如何なる方法に依り保障すべきや等の事は、事々に論究を要すべく、此等の事は人事に付て最も多からん。又不動產に付ても土地に關しては內地人臺灣人皆な舊慣に依ることゝなり居るを以て、民法に依ることゝせば、此の經過規程を如何に定むべきや等の如き、一々精査研究を要する問題多々ある可し。商法は民法と成立を異にし、商事に關する規程は世界的に通ずるものなれば、慣習との關係は淺少ならんも、而かも本島特種の商慣習あるに依り、是等の經過法に付ても一應審査を要すべし。右は何れも頗る重大なる事項なるを以て、短日月に調査を遂ぐることは不可能ならんも、評議會に於て決定したる以上は、可成速に調査を遂げられたし。

此の外、戶籍法も民法と密接なる關係を有するを以て、民法施行の場合に於ては根本的に解決を要すべし。戶籍法は、現今は一時的の案に依り施行することゝなり居れるも、根本的解決の場合には、或は諸君の審査を煩はすことゝなるべし。

法令取調委員會は、法令の總てを審査するにはあらず。法律技術を要する極めて繁雜重大なるものにして、特に總督より命じたるものに限り取調を爲すものなれば、此の方針に依り審議せられたし。

以上は大體の方針を說示したるに止まる。諸君の精勵努力を望む。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

在米邦人に關する諸問題

内務局長　末松偕一郎

此の一篇は曩に末松局長が總督府に於て講演せられたる歐米視察談の速記錄の一部に局長自ら補修を加へて本誌に寄せられたるものなり（編者）

一　序　言

私は昨年六月の二十九日、衆議院の南洋視察議員團と共に臺灣に參りまして二晩泊りましたが、それは南洋に出發の時であつて、私の南洋出張は實は歐米出張の附屬物で、議員團の希望に依り同行した譯であります。今度の暹羅の公使になつた政尾君が其の時の團長で、各派代表の議員六人と私と臺灣銀行から一人と大阪每日の新聞記者が加はつて南洋各地を廻つたのであります。此の事は既に視察團の話もあり、又色々の方面でお話したこともあるから、今日は私が一應南洋から還つて更に第二回の出發卽ち八月十四日發米國行からお話することに致します。元來世界旅行を爲すに歐米の孰れから先に廻るが適當であるかは疑問である。是に就て多數の人は歐羅巴を廻つて亞米利加に行くのが好いと言うて居る。勿論今夜はお出にならないが高田殖産局長の如きは其の說に反對で、亞米利加から廻はるのを可とする意見であつたが、多數のものは歐羅巴を廻はつて最も文明が進んで居る亞米利加を最後に視ることが順序であると云ふので、私も歐羅巴を先きに廻はる豫定に仕たのである。然るに新嘉坡から一旦引き返して東京に歸ることになつた爲に、間もなく再び南支那新嘉坡等を經て歐羅巴に行くことは詰らないと思つて、遂に亞米利加視察を第一にしました。これは將來彼地にお出でになる御方の御注意迄に申上げるので、實は歐羅巴を觀て而して亞米利加に渡る方が可いと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

思ふ。亞米利加は突飛に進んだ國で之を先づ視るのは實は順序でないと思ふので、將來世界を廻はるものは成るべく歐羅巴を先きに廻はる方が良からう、と云ふことは私の實見に於て御注意する次第で御座います。さう云ふ譯で急に亞米利加に行くことになりまして、十月十四日天洋丸で横濱を出發して布哇に寄り、布哇から三十日に桑港に著きました。布哇に於ては當時矢張り排日問題が熾んで、今もそれが續いて居りますが、其他にも隨分色々の事件があります。其の中で學校問題が主たるもので、恰度亞米利加の學童問題と同じやうな問題が起つて居りました。米國では小學校ですが布哇では中學校・高等女學校が主たるものです。これは米本國排日問題の影響で特にあそこの日本人の中學校及高等女學校は東本願寺の經營であります爲に基督敎徒の亞米利加人は宗敎關係で特に排斥して居りますが、日本人が亞米利加人たる其の子孫に對して日本の敎育をすることは怪しからぬと云ふので騷いて居りました。併しながら兎に角布哇は日本人の勢力が非常に強い所で、日本人は萬事殆ど日本式で押通し得る有樣で、之を亞米利加の所謂加州排日問題に比すると左迄心配するやうな情況ではなかつたのであります。

二　加州の寫眞結婚禁止問題

私は桑港に著きまして實は勞働會議に行く豫定でありましたが、勞働會議行は詰らぬとの忠告もあり、爲に加州問題を研究し「カリホルニヤ」の日本人發展及農業狀態を視察することになりまして、其の途中にナショナルパーク卽米國の國立公園たるヨセミテ溪を見物し、各州各地を廻はつて「メキシコ」に行つて棉の耕作地を視て更に桑港に還りました。

此の際加州に於て起つた問題は、先日立川君のお話になつた寫眞結婚禁止問題が非常な勢で御座いました。此の問題はトウ〳〵私の旅行中に勃發して桑港で騷いて居つたので、最近に太田領事が交る迄、殆ど毎日の

新聞に――――日米と云ふ新聞に領事の排斥攻擊及び此の寫眞結婚の非認反對と云ふことが連載されて、而かも大活字で每日記事が掲げられてありました。其の當時も中々喧しい問題で、其起因は私の桑港著の頃、領事の方で到底寫眞結婚は禁止されるから寧ろ此方から進んで禁止した方が良いと云ふことで、日本人會の決議で日本人の寫眞結婚を禁止しました。これは日米の感情を柔げるには幾分效果がありますが、然し在加州の日本人に取りては寔に困つた譯で、內地に還つて態々妻君を貰うならば非常に金が掛かる時日も掛かる。又た自分等の業務は一時留守の爲に障害を來たす。事業に管理者を置かなければならぬ。或は代人を置かなければならぬ。其の上に徵兵適令者は徵兵令の改正に依りて數十日間日本に滯在すると徵兵に取られる。折角花嫁を貰つて亞米利加に還らうと云ふのに徵兵に取られて入營することゝなり、お嫁を貰へないのは困る。之は日本人の死活問題であると稱し、西海岸の居留民會は悉く反對決議をしました。新聞でも輿論でも囂々と騷いで居りましたが、私は其の際から斯う云ふ意見でありました。即ち寫眞結婚は將來米國から禁止されるか知れないが、それを今禁止しないでも良いぢやないか、どうで問題になるから成つたときに禁止する方が何かの交換條件になるから、潔癖に此方から進んで禁止する必要はないぢやないかと謂つて居つたので又た亞米利加人に對して諒解せしむることが出來さうなものであると考へた。日本は亞米利加とは風俗習慣が違う。随つて寫眞結婚は日本の內地でもあるので、日本人が徒らに婦人を喚ぶ僞計を爲すのではない。亞利米加人は豚の如く澤山子供を生む日本人と謂つて日本人の增殖を憂へて居るが、日本の習慣で時々寫眞結婚があると云ふことを話したら、こちらから進んで禁止する必要はないぢやないかと謂つたので、領事にもさう云ふ意見も話しましたが、それは決議後で領事は中々鼻息が荒い、到底亞米利加人に對して諒解の出來ない問題であると云ふて居つた。此の問題は中々喧しかつたが實際亞米利加人としては寫眞結婚は不思議でし

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

やう。又た結局寫眞結婚と云ふことは宜くないことで隨分新郎が寫眞と違つて居つて新婦が泣き出したと云ふ話もある。又た非常に不良な家庭を造つたと云ふ話も在つたのであるが、之は改善の策を講ずべきことで、絶對禁止は如何にも加州在留日本人の打擊で困つた問題であります。

二　日本の結婚問題

結婚問題に就てこれは寧ろ婦人問題になるか知れませんが、一寸附け加へて置きます。日本の結婚法は非常な不自然で、これはどうしても改善せねばならぬ。然らば如何に之を改良するかと云ふことは、外國に居る間色々議論もしましたが、私が英吉利から印度古倫母に還る船の中で、結婚問題に就て船客の一部が決議をしました。これは船中で社會問題研究會が起りまして、勞働問題とか其他各種の社會問題、殊に婦人問題に就て色々な點を講究しましたので、其の結婚問題に就ての結論は斯う云ふことになりました。外國の自由結婚と云ふことは、それは所謂戀愛とか互に諒解する方面に付ては好い遣り方であらう。併しながら非常に金が要かる、時間が要かる、苦勞する、女も自分の偕老の契りを結ぶ夫を選ぶには容易でない。又男は隨分時間と費用を費す。御承知の如く外國では男女交際をして、互に遠足をするとか芝居を見物するとかいふときに男が何時も金を拂ふので、青年には非常の負擔であると云ふやうなことで、どうも必ずしも外國の自由結婚が善くなからう。それで又政略又は金錢結婚は勿論日本の親同士が申合せて互に無理解なる男女を半强制的にくつ付けることも甚だ宜しくない。隨つて之はどうしても本人の意思に重きを置かなければゐけない。多數は親が善いと思つて、一緒にしたならば其の間に戀愛が起るだらう、又日本の道德から謂へば、さう云ふ風にくつ付けられゝば女も絶對に夫に服從して、其の間に圓滿な家庭が出來るやうになるのが日本人の心理狀態である。然し稀にはどうしても嫌やだ、詰り一緒に居ることが不愉快で煩悶を感じながら、一旦嫁し

ては死すとも歸らずと謂ふ教訓を嚴守し、一緒に居りながら相互非常に苦痛と不愉快とを持つて居る家庭が少くない。さう云ふことは世の中の人には知られない。其他同樣の習慣から出來た結婚法に就ては外國の自由結婚に較べると精神上肉體上、隨分さう云ふ點で不幸なる家庭が現に日本には多數存在して居ると思ふ。大部分内部で悲慘を忍ぶ爲に判らないが外部に現はれて離婚になるのもある。夫等を避くるには結婚法に大改善を爲す必要があると思ふ。外國式の結婚は選擇に時間が掛かるのみならず、青年男女が兎角妄斷的に戀愛に陷り易く、且つ意思の甚だ不完全のものが選擇するのだから、自分の選擇が謬ることも少くないと思ふ。夫故に選擇は親戚或は知人、或は姉とか兄とか、さう云ふ經驗あり智識ある人で選擇して、而して一定の期間交際させる、先づ尠くとも三箇月或は六箇月交際させて、媒酌人も兩親も何時一方から異議を謂つても之を快諾する、即ち日本の見合をしても一旦斷はらるれば後の嫁入に妨げになると、云ふやうな習慣を打ち破つて、交際後都合よく行かなければ止めるといふ習慣にする。之が日本の將來社會改良の結婚問題としての比較的善良なる方法であらう、といふ說が多かつた。是は吾々のやうな單に外國を素通りした人でない珍田大使の如き外國に十三年も居つた人で、内外國で澤山經驗した人が一緒にさう云ふ結論をした。右は寫眞結婚に關聯して日本の結婚法は甚だ惡い不和合なる家庭を救濟するには、どうしても結婚法を改善しなければならぬと云ふ吾々の船の中の社會問題研究會の決議を御披露するに過ぎない。

三　加州問題

夫から加州問題のことは、こゝで二三話しましたが、加州問題は中々入り込んだ問題であります。最近に一番發展して吾々の憂ふべき狀態になりつゝあるのは、此の間の新聞を見ると亞米利加の他の諸州に排日の氣運が擴りつゝある。私が廻つたときは、テキサス州の如きは日本の勞働者を歡迎して居つた。其のテキサ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スで最近に排日が盛んになつたことは寔に憂ふべきことゝ考へる。是は向ふに居るとき色々耳にもし幾らか研究しましたが、此方に還つて最近に問題が突發した後に甚だ遺憾に感ずる點が澤山あります。是は私は其の當時から今日のやうに問題が發展して來るだらうと云ふ見込で。私に限らずあの方面の人は左樣に考へて居ります。日本人が排日問題を大袈裟に吹聽して米國に對して徒に敵愾心を煽動することは甚だよくないことで、排日問題の眞相を內地人に知らせ、穩健正當なる內地の輿論を作り、之によりて歐米の輿論を喚起する樣に考へねばならぬ。徒らに敵愾心を煽つて無暗と米國の惡口を云ふが如きは益々排日を甚しからしむるのみならず、世界の同情を失ふことゝなり。甚た面白くないと云ふ考を持つて居ります。それで昨年の一月の年賀狀の中に加州排日の趨勢と云ふ一枚刷りのものを封入し、衆議院貴族院議員の大部分及其他の知人に配りましたが、私の其の時の意見は、此の問題の眞想を內地人に知らせる爲に發表したものである。若し日本の輿論が偏見に陷り、歐米の感情を無視することがあつては宜くない。世界の人は公平の判斷を以て批評するに拘はらず、日本人中には世界の人の議論を顧みず、殆ど挑發的に亞米利加人は怪しからぬと云ふ空漠なる排米的議論が澤山あるので、どうも社會の公平なる識者が觀れば正當でないと考へ、却て日本人の爲に不利益であるといふ考を持つて居ります。さう申すと亞米利加人になつてしまつた樣に言ふ人があるかも知れませぬが、然し此の點に就ては單に此の問題のみならず、私の感ずる所に依れば、外國に居る日本人は比較的公平の議論を爲すやうに想像しますが、內地の日本人中には日本人本位で、世界の大勢から議論を樹てゝ公平に判斷することに缺けて居る人が少くない。爲に却つて反感を起さしめ、惡い結果を及ぼして居る。外國人に或る政略の爲ではないかと疑はせることが日本には澤山ある。譬へば尼港問題でも騷ぎが餘り大き過ぎる。日本では尼港に於て虐殺されたことを非常に大きい活字で世界的大事件のやうにて書き立てる。外

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

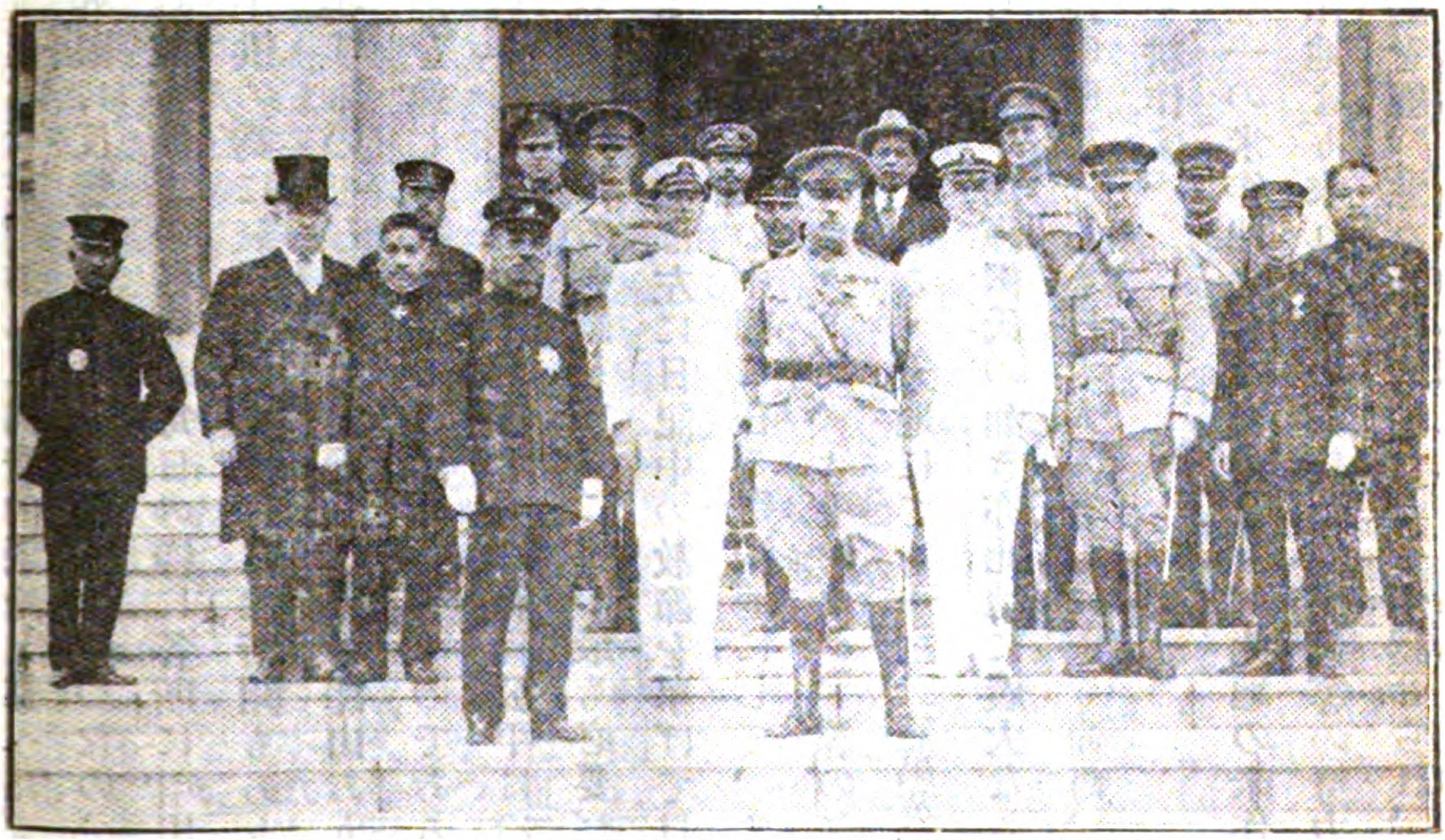
國の新聞は當時注意して見て居りましたが、あれに同情的議論を加へたものよりも邪推をしたものが多かつた。恐くは日本の新聞は幾らか外國に反響させると云ふ積りでやつたのではないかと思ひますが却て反感を起したかも知れませぬ。其の當時被害領事の孤兒を毎日の様に各所に引出して、到る所で追悼會をやるとか騒いて居りましたが、實に是は子供の爲に氣の毒だと批評した新聞もありますが、あれ等も外國に居る日本人は之が爲に却て外人の感情を害するのでないかと批評した人が澤山あります。要するに日本々位で大いに敵愾心を煽る、或は公平なる見地を逸して議論することは考へものである。左なきだに日本は侵略主義とか軍國主義とか誤解され、最も注目されて居る故に、日本人は餘程公平に冷靜に考へなければならぬと思ひます。其の點に就ても加州問題に就て公平なる判斷をすることが最も必要だと考へたのであります。加州に於ける日本人の發展狀態をお話する代りに私は左に日記中の數節を擧げて見やうと思ひます。

加州平野とはミラネバダ山脈と太平洋との中間に在る豐沃地にして、サンオーキン及サクラメント二大河の灌漑に依り各種の農産物に富み、スタックトン、オールウッド等の新開地を生せり、此兩河の三角洲は其面積百三十萬英町に上り、現に耕作せらるゝ土地にても十二、三萬英町に達す、而も其大部分は日本人の開拓に係り、ポテト王と稱せらるゝ牛島謹爾氏の如き亦此地に廣大なる耕地を有す、サクラメント附近のフーロリンの如き暑熱酷烈不良の地なりしも日本人の努力に依り葡萄、苺、ハップスの名産地となれり、日本人二百戸あり、二千英町を耕作す。

サクラメントは加州に於ける唯一の米作地として有名なり、此地の米作は一九〇七年以來ウキリヤムグラント氏の苦心經營と、南部米作地より來れる日本人安岡德彌氏等の努力とに依りて開發したるものにして・米國農商務省種物試驗場の試驗を經、愈々米作適地たるを確認せられ、一九一二年に於ては其耕作面積千

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四百英町に過ぎざりしもの、一九一八年には八萬英町となり、一九一八年には十萬英町に上り、漸次增加の傾向に在り、此の內日本人の耕作面積は一九一七年、六千五百英町なりしもの、一九一八年には一萬六千英町となり、一九一九年には三萬三千英町に達せり。個人經營のもの三百英町以上多く、會社經營のものは大抵二千英町以上を耕作す、耕犁收穫等皆大耕作的農具を使用し、ポンプの設備に二萬弗、溝渠の開設に三萬弗を費したるが如きものあり、此地方には日本人の外白人、東印度人等の耕作地ありと雖



總督府玄關前に於けるウッド將軍一行と田總督並に諸官
(前列向つて右ウッド將軍、左は田總督)

も、何れも其成績佳良ならずと云ふ是れ日本人が天涯萬里の地に進取的努力を惜まざるの結果に因るべし。

▼十一月七日　朝七時半、羅府 Los Angeles に著す、正金銀行井上氏及大山領事等の指導を受く、羅府は南加州に於て最重要なる都會にして、人口約六十萬なり、サンピドロの築港に依りて海陸の設備を計れり、一八七一年以來、國費六百萬弗、市費五百五十萬弗を費し、更に一九二〇年迄に千萬弗を投じて築港を完成するの設計なり、附近に油田多く、市內に於ても多數の石油坑散在するを見る、此地活

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

動寫眞フィルム製造に付最有名にして其名優チャプリン、フェアバンクス、ピックフォード、グリフィス等皆此地に住し、日本人中米國に於て最有名なりと稱せらるゝ活動寫眞の名優早川雪州夫妻も亦此地に宏壯なる邸宅を構ふ。羅府領事館管內の日本人約三萬六千人にして、內羅市に住するもの一萬六千人なり、管內日本人の出生率は毎月百二十五人平均にして、死亡は其一割に過ぎずと云へば、米人が日本人の蕃殖を恐るゝも亦故なしとせず、日本人の多數は農業又は庭園職に從事し、羅市に於ける二箇所の廣大なる野菜市場の市價は、殆ど日本人に依りて左右せらるゝことは、吾人の痛快とする所なり、右市場の一は公定資本金六百五十萬弗を以て經營せらるゝものにして、建物の建坪五十萬方呎、外に六階の氷室あり多數鐵道の引込線に依りて荷物を集散するの狀、實に驚くべきものあり、他の一市場は日米支三國人の經營に係り、一九一七年の取扱野菜價額は五百萬弗に上り、場內一商區一箇月の租借賃十二弗なるも、權利賣買の價額は目下二百弗以上なりと云ふ、其の他日本人の經營する蔬菜乾燥會社及蔬菜鑵詰會社等頗る有望なるが如し。

舊ロスアンゼルス及サンピドロの兩港は日本人に依りて漁業を開拓せられたる所にして、サンピドロには多數の宏大なる鑵詰會社あり、日本人三千餘人、三百隻以上の發動機船を操縱して六月より、九月の間は鮪を漁し、十月より翌年五月の間は鰯を漁す、漁獲物は皆器械力に依りて運搬整理す。

桑港の北部モントレー港より此附近に至る鮪の一箇年漁獲高は一萬噸にして、現今一噸の價百二十五弗なれば合計十二萬五千弗なり、又鰯の漁獲高十萬噸一噸三十弗として三百萬弗なり、唯加州沿岸に於ける鑵詰會社二十八社中日本人の經營するものは僅にサンピドローに在る一會社に過ぎざるは大に遺憾とする所なり、戰爭中魚類を食するの習慣政府の奬勵に依りて普及したる爲め米國の漁業は前途頗る有望なり。

羅市に近きパサデナ Pasadena は貴紳富豪の隱居地として、邸宅の宏麗なる、庭園の閑雅なる、世界に其比

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を見ずと稱せらる、此海岸一帶は氣候溫暖にして四時晩春の如く、市街清潔にして居住概して愉快なるものゝ如し。

サンディエゴ Sandiego は加州最南部の大市にして人口十萬あり、日本人の此地及附近に居住するもの千人餘多く農業に從事す、蔬菜及花卉の栽培を主とす、此地風光明媚、海軍の根據地にして有名なる飛行學校の在る所なり、メキシコ國境に接近し、同國チワナに至る僅に十六哩なり、パナマ運河の利用隆盛に赴き、ニユーオルレアンス市の繁榮に至るに從ひ、將來の寄港地として囑望せらるゝの港なり。

側帝國平原 Imperial Valley とは、加州インペリアル郎サルトンシーと稱する大湖より墨國下加州 Lower California 中コロラド河西岸に沿ひカリホルニア灣に至る一大平野の總稱にして、其農耕可能地の面積米國約五十萬英町墨國側約四十五萬町歩なり、此地概して海面より低きこと百呎以上、サルトン、シーは海面より二百六十呎低しと云ふ。

コロラド河の河水を引用して此平原を灌漑するの計畫は、南北戰爭以前より考案せられたる所なれども、此事業を完成したるは十四五年以前に在り、此工事は地勢上水路を墨國に於て開かざるべからざるを以て、米國は墨國政府と契約し、水量の半を墨國に供給するの條件にて、此大水利事業を起すを得たり、近來米國側の上流より引水するの設計をなせるものありと云ふ、米國側に定住する日本人は約千人にして、多くカンタロープを栽培し、收穫時には三四千人の邦人來集することありと云ふ。

米墨國境に殆ど連續して兩國の小都相對す、米國側をカレキシコと云ひ人口約六千あり、墨國側をメキシカリと云ひ人口約三千あり、國境の兩側に米墨の官吏出張して一々通行人を檢閲す、然れども兩國々境に何等自然的區畫あるに非ざるを以て、市を去るときは人家も通行人もなき廣漠たる平野に過ぎず、故に圖

境を超えて米國に入るは頗る容易の事なら、之が爲め日本人中にも年々多數の密入國者あり、本年春の檢擧に於ても四五十名の日本人違犯者本國又は南米に送致せられたりと云ふ。

墨國側帝國平原は米國資本家の組織する加墨土地家畜會社 California Mexico Land & Cattle Co. と云ふ株式會社の九十九箇年間の租借地大部分を占む、綿の耕作地も亦此會社より借地するものにして、其耕作地現に七萬英町に上る、此内四萬英町は支那人の耕作地にして、二萬英町は日本人の綿耕作地なり、其他は墨、獨、米人の經營する所に係る、支那勞働者約五千乃至六千あり、尚年々增加の形勢なり、日本人は僅に五百人にして、主として墨國勞働者を使用せり、本年も二千の家族を移住せしむるの計畫成立せり、此土地日本人の綿花栽培業は予が從來滿鮮臺灣及南洋等に於て視察したる邦人の事業中、最有利且つ比較的確實なる事業にして、綿花自給問題に苦心せる我國の企業者を相當の資本を投じて此事業に從事するの得策なるを感ぜずんばあらず、現に新谷、八尋、長井、鄕、山崎、川島諸氏を始め、十數名の日本企業家は大いに奮鬪發展しつゝありと雖、今少しく大資本を投じて此有利なる農業を經營するは目下の急務に屬するの感あり。

我邦產業の將來と支那南洋

木村增太郎

此の一篇は木村氏が今夏日本產業協會に於て講演せるものゝ速記錄に氏自ら補修を加へて本誌に寄せられたるものなり

一 我邦の產業と歐米の關稅政策

凡そ產業の發達を圖らんが爲めには是非貿易の發展に俟たなければならぬことは申上ぐるまでもありませ

ぬ、殊に日本の國は産業を旺ならしむる爲めに自國の商品を海外に輸出致さねばならぬのみならず、御承知の如く我邦は其領域が極めて狹く、利用すべき物資に極めて乏しいのであつて、從つて日本の産業を熾んならしめんが爲には是非共其原料を海外の供給に俟たなければならぬと云ふ狀態に在るのであります其點から見れば一層日本としては産業を盛んならめんが爲には輸出輸入兩貿易の隆盛に俟たなければならぬことになるのであります。

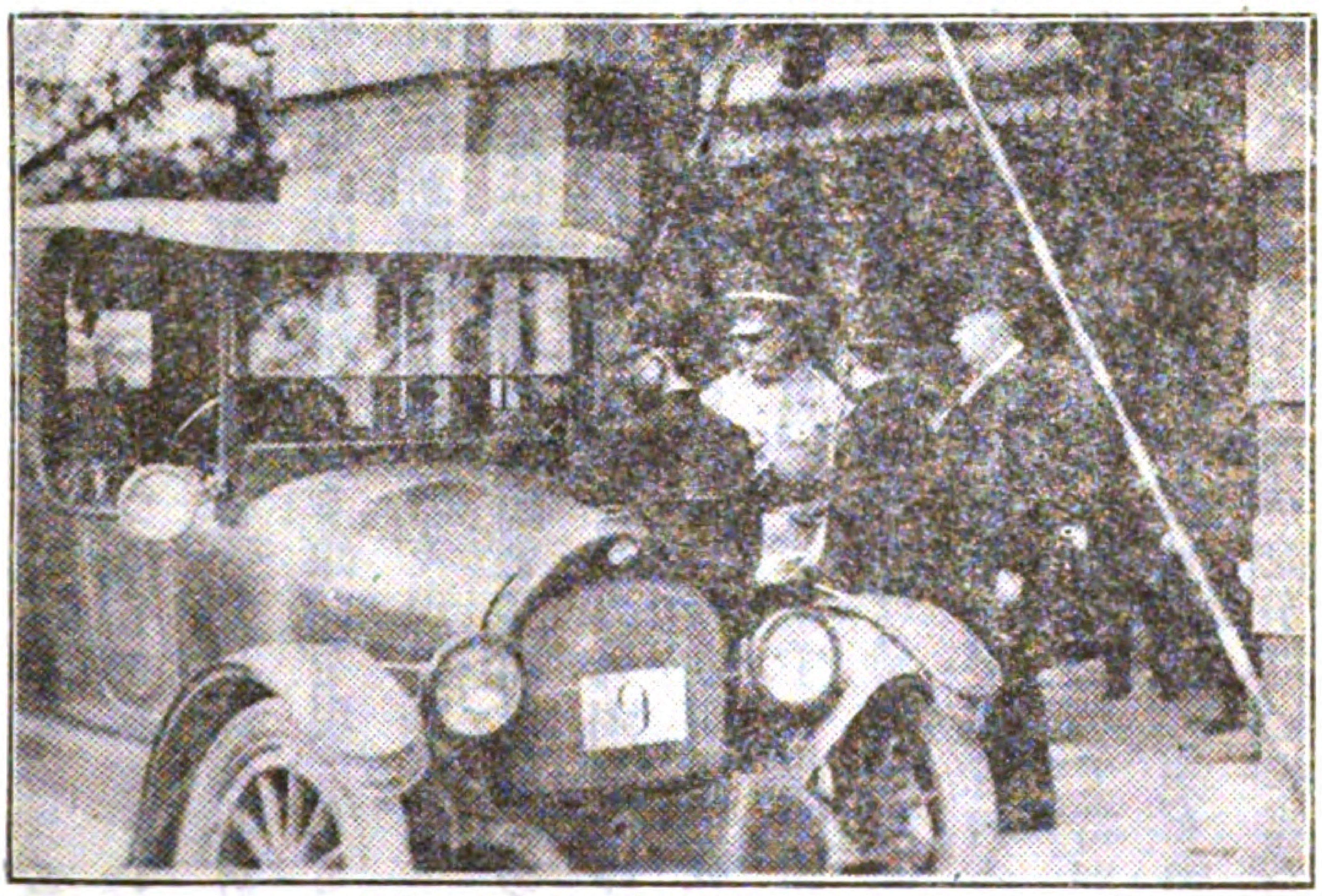
歐洲戰爭に依りて御承知の如く日本の海外貿易は一躍非常な巨額に上りました。戰前の大正三年には僅に十一億八千萬圓に過ぎなかつたものが昨年の統計では四十二億八千萬圓の多額に上つたのであります、僅か數年間に約四倍の激增を遂げました、併しながら其間に於て日本の物價も同じく三倍以上の暴騰を告げたのであります、斯の如く日本の物價が非常に高くなつた爲に一面に於て貿易額が增加したと云ふやうな關係もあるので、唯だ日本の貿易額が四十二億八千萬圓に達したと云ふのみを以て日本の貿易が非常の發展を遂げたと云ふことは言ひ得ないのであります、のみならず今後の海外貿易を熟々考へて見ますれば其間幾多の障害が橫はつて居るのであります、それは何故かと言ひますれば御承知の如く歐米各國は彼の未曾有の戰爭に依りまして非常な經濟上の大瘡痍を受けましたが、今や其大きな傷を一日も早く癒さんが爲に各國がそれ〴〵戰時に劣らざる努力をして居ります、此傷を癒さんが爲には如何なる大政治家が現はれましても成るべく內に節して外に發展するより外に策はないのであります、言ひ換へますれば出來得る限り外國の商品を購はないで、出來る限り國內の產業を發展せしめて海外に發展すると云ふ途を執るより外に策はないのであります、それで何れも各國は戰後夫々關係政策を用ゐまして成るべく商品の輸入を少くせんことに努めて居るのであります、是は旣に戰爭前より英國を除きました各國に於て何れも保護政策を執つて來て居るので殊に最近に

於きましては一層此關税政策に重きを措きましてそれ〴〵輸入品に重税を課する樣になつて來たのであります、最近亞米利加の如きは更に其輸入税を極端に增徵せんとする計畫のあることが傳へられて居るのであります、唯だ獨り英吉利は多年自由貿易主義を採用して以て其大を誇りとして來た國でありまして、同國には從來は殆ど保護の性質を帶びた關税と云ふものは無かつたんであります、併しながら其偉大を以て誇つて居た英吉利も這次の戰爭に依りまして經濟上非常な打擊を受け、殊に非常に巨額の國債を背負ひました爲に、其財政上の救濟の爲に近年漸次關税政策に依らんとする傾向を現はして來て居るのであります。

尙ほ爰に日本に取つて重大なる問題は新聞紙上にも時々現はれて居りますが、英吉利の本國と各其植民地間に於ける特惠關税問題であります、是は英吉利の本國と其植民地との間に特別の關税條約を結びまして、例へば英吉利の植民地に英本國から輸入される商品と其他の外國から輸入される商品との間に待遇上の差別を設け、其代りに英吉利の本國に於ても植民地から輸入される商品と外國から輸入される商品との間に區別を設けやうと云ふので、之が有名なる特惠關税問題であります、此問題は千八百八十五年に加奈陀が初めて主張しましたのが抑もの濫觴でありまして、爾來常に英吉利の植民地に於て問題になつて居るのであります、既に加奈陀の如きは一方的片務的特惠關税とでも言ひますか、英吉利の本國に於ては加奈陀の商品に對して特別の待遇を與へないけれども加奈陀は本國よりの輸入品に對して特別の待遇を與へると云ふことを古くから實行して居るのであります、從て現在に於きましても加奈陀に英本國から輸入される商品は特別に他國の商品より二割五分だけ關税率が安いのであります、加奈陀が斯樣に實行してから以後濠洲其他に於ても屢次問題が起りまして、英吉利の本國に開かれました植民地會議に於ても屢々問題にされたのであるに拘らず、從來英本國に於ては依然として自由主義を標榜固執しまして是等植民地の要望を顧みなかつたのであります

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

所が先年の戰爭に於きまして英吉利の各植民地が擧つて立つて大英帝國の國防を分擔致したのであります、總ての植民地が英吉利本國と共同に敵國に當つたのであります、之を見た本國人は斯の如くにして各植民地が英本國の爲に死を以て大英帝國の國防に當つた以上之に酬ゆるには何等かの方法を以てしなければならない、此機會に於て所謂大英帝國の實を造らなければならぬと云ふやうな意味から、多年の問題になつて居ります所の特惠關稅問題なるものが英本國に開かれました各種の大會議に於て議決さる、に至つたのであります、尙は殊に最近に於きましては如何に偉大なる英吉利と雖も戰時中に負擔しました財政上の大負擔に對して之を償却し挽回すると共に更に國運の發展を圖らんが爲にはどうしても其廣大なる植民地の力を藉らなくてはならない、言ひ換へますれば彼の英吉利の廣大なる植民地の富源を開發して其力に依らなかつたならば到底此大きな負擔を挽回することは出來ないと云ふやうな議論が漸次英本國間にも起りまして一層此特惠關稅なるものが最近實現されんとするやうな傾向が現はれて來たのであります、殊に此問題が日本の貿易に取つて最も關係の深い所の英領印度に於て實現されんとする傾向が最近現はれて來たのであります、英領印度に於ける特惠關稅問題は以上申上げまするやうな事情から現はれたと云ふ點もありますが、尙はそれ以外に戰時中に日本の對印度貿易が非常な發展を遂げま



臺北驛頭將さに自働車に乘らんとする、ウツド將軍（中央軍服はウ將軍）

して遂に近年印度の輸入貿易の約二割を日本の商品を以て占むるに至つたのであります、それだけ英吉利本國の印度に對する貿易は打撃を受けたのであります、之が本國並に印度に於ける英國人の神經を非常に刺戟したと共に、殊に以上の日本商品の中で最も重きを爲して居るものは綿製品であります、所が日本の印度に輸出しまする綿製品は他方支那の市場に於ても英本國及印度製品と非常な競爭をしたので、其支那に於ける競爭に日本が勝つたのみならず更に進んで印度の本場にまで侵入して敵の壘に迫つたと云ふやうな形になつたのでありますが、而も其日本の綿製品なるや原料の約六割は印度から持つて來て居るのであります、從つて言ひ換へますれば印度及英國より觀れば敵に糧を送つて其爲に自分は非常な壓迫を受けたことになつて居るのであります、さう云ふ關係からして英吉利の所謂綿製品の中心である所のマンチエスターの商人が盛んに此特惠關稅を主張し出したと共に印度に於ける貿易業者も亦た之に共鳴するやうになつて來たのであります、左樣な趨勢に在りまするから或は遠からず英本國對植民地の特惠關稅問題と云ふものが實現されるかも知れぬと云ふことになつて來たのであります、斯樣な狀態でありまするから左なきだに日本の對歐米貿易は將來多大の囑望を期することは出來ないのでありまして、日本の如く遲れたる產業狀態を以て更に進歩したる歐米の產業に打勝つと云ふことは非常な困難であります、然るに尙ほ以上申しまするが如く各國が各々關稅制度に重きを措きまして外國品の輸入を阻止せんとするが如き傾向が現はれて參りますれば、一層日本の對歐米貿易を盛んならしむると云ふことはそれだけ望みが薄くなつたと云ふ形になつて居るのであります、而も單に歐米のみならず以上申しまする如く近い英領印度に對する貿易すらも唯今申しまするやうな障害が將さに現はれんとする傾向が見えて來たのであります、斯る世界の趨勢は我邦の產業に對する一大脅威でありますので、我邦たるものは此際其經濟政策を立て直して大に努力する所がなくてはなりませぬ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二　我邦貿易の將來と支那南洋

以上の如く觀察しますれば日本は今後進んで支那及南洋の貿易に向つて一層の努力を注がなければならぬと云ふことが考へられるのであります、此處で私が南洋と申しまするのは假りに英領印度及濠洲を除きました支那の南に散在致して居りまする群島竝に支那に續きまする所の大陸地方を指すのであります、即ち比律賓群島、蘭領東印度諸島、英領馬來半島、佛領印度支那及暹羅等の地方を假りに南洋と言ひます、勿論是等の地方を南洋と云ふことに就ては地理學上種々の議論がありますが、便宜上是等の地方を指して南洋と申す次第であります、勿論私は將來日本の貿易は支那南洋に限ると云ふ意味ではありませぬ、日本の貿易は多々益々歐米に向つて發展しなければなりませぬが以上申すやうな傾向が現はれて居ります以上は一層今後は支那南洋に力を注がなければならぬと云ふことを申すのであります、と申しますのは日本の現在の貿易は昨年の統計に依つて見ますると輸出貿易は約五割一分が亞細亞に對する貿易でありますが、其內英領印度が約一割を占めて居りますから、英領印度を除きました支那南洋其他の亞細亞貿易は日本の全貿易の四割一分に當つて居るのであります、即ち五割九分は支那南洋以外の貿易であります、殊に輸入貿易から觀察致しますれば日本に這入りまする諸外國の商品は六割が亞細亞以外の地方から輸入されるのであります、尙ほ其內英領印度を除きますれば支那南洋から輸入される貿易額は全貿易額の僅に二割三分にしか當らないのであります、斯の如く日本の貿易に最も關係の密接なる支那南洋に對する輸出貿易は僅に四割一歩、輸入貿易が二割三分と云ふやうなことになつて居るので、今後は一層此方面に向つて貿易の發展に努力しなければならぬと云ふことを主張したいのであります。

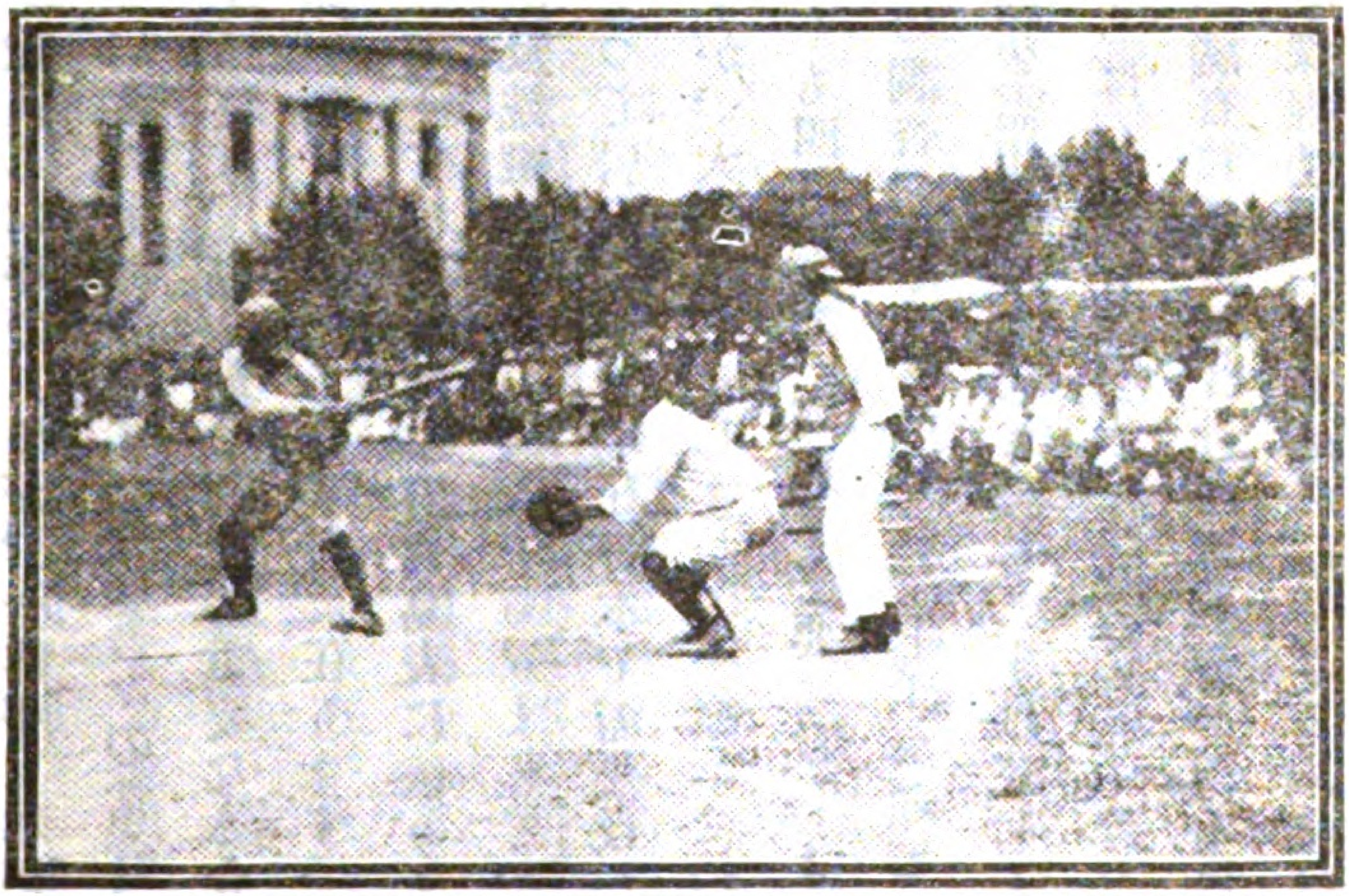
殊に日本の輸入貿易上から觀察致しますれば遺憾なるかな我邦は其領域が極めて狹く開發すべき天然資源

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

が頗る乏しい爲に多くの原料品を海外の供給に仰いで居るのであります、其が單に工業原料のみならず、吾々が一日も無くてならない所の食糧品すらも常に海外の供給に俟つて居るのであります、一昨大正八年は日本が過去に於て最も多くの食糧品を輸入した年であるが、一昨年日本が海外から輸入しました食糧品は全部で三億六千七百萬圓の多額に達して居るのであります、其內吾々の常食品たる米が約三百八十萬石、一億六千二百萬圓の多額を占めて居るのであります、斯の如く國民の重要なる食糧を海外の供給に俟つと共に、多くの工業原料は總て海外より供給を仰がなければならぬ狀態に在ります、苟くも工業の發展を圖らんが爲には其基礎たるべき原料は鐵と石炭であります、鐵は昨年の貿易表に依りますと約二億七千九百萬圓の輸入を海外に仰いで居ります、是は單に鐵鑛及銑鐵としての輸入でありまして、機械若くば汽船等となつて製品として輸入されたものは非常な巨額に上つて居ります、現在日本で需要致しまする鐵材は戰時中の非常な好景氣の時と現在とに非常な差がありますが、大體平均致しまして一箇年に約二百萬噸內外を需要致すのであります、二百萬噸の鐵を製しますには少くも四百萬噸の鐵鑛を必要と致します、然らば日本の國內に幾許の鐵鑛が存在致すかと云ひますと、從來學者の調査に依りますれば約七千萬噸と稱せられて居ります、假りに每年二百萬噸の銑鐵を製造し四百萬噸の鐵鑛を需用するものと致しますれば七千萬噸の鐵鑛の埋藏量は僅に十數年を支ふるに過ぎないのであります、然らば石炭は如何でありませうか、幸ひにして現在の所では大體に於て自給の狀態に在ります、併し是も從來の調査に依りますれば埋藏量が四十億或は七十億と言はれて居るのでありますが、此石炭に於きましても將來採掘法に一大革命の起らざる以上は長くとも五六十年、短きに於ては三四十年を以て其生命が終はると云ふことは從來屢々專門家に依つて主張されて居る所であります、現在に於きましても品質其他の關係上每年少くとも七八十萬噸內外の石炭を海外から輸入致して居るのであります、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一箇年に二百萬噸の鐵を製るには少くも五百萬噸の石炭を要すと稱せられて居ります、然るに遺憾にも日本の石炭は製鐵用に供するには最も不適當であると言はれて居るのでありまして、卽ち粘着力の强い粘結性ケイキングパウアーに富んだ石炭は日本には極めて乏しいのであります現在に於きましても此種の石炭は外國の輸入に俟つて居る譯でありまして、到底五百萬噸の製鐵用の石炭は日本に於ては自給することは不可能と云ふ狀態に立つて居ります、鐵石炭既に斯の如き狀態でありますが、尙ほ進んで吾々每日着用して居ります所の衣服の原料である棉は如何でありませうか、之も一箇年に約八億萬斤の棉花を海外から輸入致して居ります、昨年の如きは此爲に約七億二千萬圓の國帑を海外に流出致して居るのであります、此棉花に至りましては殆と日本に產出の望みがないと云つてもよい狀態であります、唯だ僅に朝鮮の一部に產出致しますが、其產額は一億斤に充たない額であります棉花に亞ぐものは羊毛でありますが、之も日本では自給する事は愚か每年羅紗として輸入される數が相當なる額に上るのみならず、近年多少日本でも毛織工業が發達した結果如何に少くも五千萬斤以上の羊毛を輸入して居ります、日本の地勢は殆と畜產國として望みがないと言はれて居るので、現に全國に飼養されて居る所の羊は僅に十萬頭內外にしか上りませぬ、假りに一頭當り十封度の羊毛が採れると致しましても一箇年僅に百萬封度の產額に過ぎないのであります。



米艦ニューオルレアンス選手と全臺北軍との野球競技

斯の如く國民に無くてはならない重要なる工業原料を總て海外の供給に俟つて居ります、而も其供給地たるや多くは歐米の各國若くは其の植民地であります、鐵は戰前に於きましては主として英吉利、戰時中は亞米利加から供給を仰ぎました、石炭は現在多額の輸入はありませぬが之も一箇年に八十萬噸內外の供給を佛領印度及支那から受けて居ります、棉花は印度及亞米利加から主として供給を仰いで居り、羊毛は戰前は濠洲から輸入を仰ぎましたが戰時中は南阿及南米から供給を仰ぎました、米は主として佛領印度支那及英領印度より供給を仰いで居ります、斯の如く日本の食糧及重要なる原料は總て歐米若くば歐米の植民地から供給を仰いで居ります、言ひ換へますれば日本の産業は全く歐米に賴つて居る、即ち歐米に其基礎を託して居ると云つても宜いやうな狀態になつて居るのであります、隨て言はゞ日本の産業の生命は歐米に握られて居ると云ふても過言でないのであります。

併し幸ひにして過去に於ては是等の原料を日本は自由に輸入して居りましたが、將來も同じく歐米より自由の供給を受け得るや否やに就ては爰に多少の懸念が存在して居るのであります、それは何故かと言ひますれば御承知の如く戰爭中各國は共に其國の經濟を可及的自給たらしむることに努力致したのであります、即ち成るべく自分の國內で需要致しまする物資は自分の國內で生産すると云ふ一種の自給政策を各國共に執つたのであります、是は戰爭中獨逸が豫想外に耐久力があつたが爲めに戰爭が自然持久戰になりましたと共に成るべく自分の國の經濟を自給自足たらしめんと努むるに至つたのであります、戰後此自給政策が尙ほ長く繼續致しますか否は大なる疑問でありますが、先程申しました如く歐米各國は何れも其領域內の富源を出來るだけ開發して産業を盛んならしむるにあらずんば戰時中に受けました所の大きな經濟上の打擊を挽回することは出來難いと云ふ狀態に立つて居りまする以上、或は一種の此自給政策なるものが今後尙各國の經濟政

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

策を左右するではなからうかと云ふ懸念があるのであります、勿論自給政策と云ふが如き經濟政策は昔未だ人類の生活が向上致しませず交通の便が開けない時代に行はれた經濟でありまして、今日の如く國際交通の發達した時代に於きましては到底實行出來ない政策だとも言ひ得るのであります、言ひ換へますれば斯る政策は世界の經濟の進歩に逆行するものと申して差支ないのであります、併しながら前申す如く各國が各々國內の事情に餘儀なくされまして斯る政策を執らなければならない狀態に立つて居ると云ふことに就きましては、日本の如く原料の大部分を海外から仰がなければならぬ國としては大に考へなければならぬ問題であります、假りに斯る自給政策が長く繼續しないものと假定致しましても、今後世界各國の經濟を平時に還へしまする爲にはどうしても歐洲の疲弊して居る經濟力を囘復しまして歐洲の製品を盛んに亞米利加に輸出する、言ひ換へますれば亞米利加が此疲弊して居る所の歐洲の經濟を助けてやらない以上は世界の經濟を平時に戻すと云ふことは困難であると云ふやうな狀態になつて來て居るのであります、更に繰返して申せば現在の世界的不景氣を挽囘致しまするにはどうしても歐洲の經濟界を救つてやらなければならないのでありますﾞ、亞米利加は戰爭前に於きましては歐洲に對しては一種の債務國でありました、卽ち借金を背負つて居つたのであります。其額は約百二十億圓に上つて居つたのであります、所が戰爭中に亞米利加は御承知の如く非常な經濟上の大發展を遂げまして現在は反對に歐羅巴に對して約二百四十億圓の債權を有つて居るのであります、此債權を持つて居りまする以上は出來得るだけ歐羅巴各國は亞米利加に對して商品を輸出して其債務の償還に充てると云ふ方法を執ることが必要であります、所が遺憾なるかな歐洲の經濟界は戰爭に依つて非常な打擊を受けて居りまするが爲に亞米利加が需要致しまするやうな製品を亞米利加に向つて輸出することは困難であると云ふやうな狀態に立つて居ります、して見れば各國としては其代りに亞米利加に向つて供

給すべきものは彼等が有して居る廣大なる植民地の天產原料品の外はないのであります、即ち其植民地の有して居る所の豊富なる原料品を亞米利加に供給して以て債務の辨濟に充てると云ふ外に途はないのであります、又亞米利加としても現在の不景氣を回復して國際經濟界に優位を保たんが爲には出來るだけ歐洲を助けてやらなければならない、助けるが爲には歐洲の工業が必要として居る所の原料を供給してやらなければならないのであります、斯の如く歐米が原料の交換を致さない以上に於ては大體に於て世界の經濟を回復することは困難である狀態に立つて居るのであります、さう云ふ點から觀察致しますれば戰前と同じく日本が歐米各國及其殖民地の原料の供給のみを賴りにすると云ふことが或は困難となりはせないかと云ふ懸念が起るのであります、斯る點から考へて見ますれば日本の輸入貿易、即ち食糧品工業原料品を輸入する點より見ましても今後大に支那南洋に向つて更に努力しなければならぬ必要が起つて來るのであります。

三　支那南洋の經濟力

然らば支那南洋なるものが此日本の貿易上の要求に對して十分に應ずるだけの力があるや否や、即ち日本の商品を十分に輸出し得るだけの購買力を有するや否や、日本が所要する所の食糧品原料品を供給する力があるや否やと云ふことが次に現はれて來る所の重大なる問題であります、先づ日本の輸出貿易の上から觀察致しますれば、現在支那は每年歲に依りまして非常に差異がありますが、昨年の如きは一箇年に十八億圓の商品を外國から輸入致して居ります、先程申しました南洋地方も亦た約十二億圓內外の商品を海外から輸入致して居るのであります、合計致しまして少くも三十億圓の購買力を持つて居るのであります、斯の如き大きな購買力を有して居るに加へ、而も戰時中歐米の對東洋貿易が非常なる打擊を受けまして貿易額が非常に減少致しましたに拘らず、日本は今日未だ支那の輸入貿易に於きましては僅に二割七分餘、南洋の輸入貿易上に於

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

きましては一割五分の數を占めて居るに過ぎませぬ、日本の商品が戰爭中には殆ど東洋の市場を獨占したかの如く傳へられましたが事實は決して然るにあらずして、南洋の輸入貿易の僅に一割五分殘りの八割五分は依然として歐米の商品が輸入されて居りましたのであります、隣國の支那に於てさへも僅に二割七分を占むるに過ぎないで、殘りの七割三分は歐米其他より輸入されて居るのであります、是を以て見ますれば日本の商品を輸出すると云ふ點から申しまして支那南洋にまだ／＼大きな市場が殘つて居ると云ふことが言ひ得るのであります、殊に支那南洋は共に未だ民度が低く十分文化の發達して居らない土地でありますから、今後益々文化の發達致しますに伴れ其購買力たるや愈々增加されるに相違ありませぬ、此點から見ますれば日本の商品市場として支那南洋が立派に是に應じ得るだけの經濟力を有つて居ることが明かであります。

次に然らば原料及食糧品の供給力如何と云ふに、先づ第一に支那から言ひますれば支那は現在吾々が食料と致して居りまする重要なる米は幾許の產額がありまするか、正確なることは統計がありませぬから解りませぬが、私が觀察して居りまする所では約一箇年米は少くも二億萬石を生產して居るものと信じて居ります、支那の農產物は如何に少く見積りましても一箇年に八十億萬圓のものを生產して居ると云ふことは各種の方面より觀察して推算されるのであります、尙先程申しました日本に缺乏して居ります鐵石炭は如何であるかと申しまするど、是は御承知の如く現在支那で採掘致して居りまする鐵山は湖北省には大冶、安徽省には桃冲山があります、山東省には近年日本で手を下さんとして居る金嶺鎭、滿洲には御承知の通り鞍山站及本溪湖の鐵鑛があります、是等現在採掘して居る鐵鑛のみでも埋藏量は數億萬噸に上ると稱せられて居るのであります、尙は現在殆ど著手致されて居りませぬ所の鐵鑛で有名なるは山西、河南の兩省に跨つて石炭脈に沿ふて橫たはつて居る所の大鐵鑛であります、其他福建雲南には廣大なる鐵鑛があると云ふことは從來屢々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

外國技師の調査された所に依つて明かであります、石炭は如何かと申しまするに既に稼行されて居りまするものには湖南には萍鄉の炭山があり、直隷省には唐山の炭山があり、山東省には坊子其他の炭坑があり、更に滿洲には御承知の如く撫順の大炭坑がありまして非常に豐富なる炭量を有して居りまするのみならず、先程申しました山西河南の兩省に跨る炭脈の如きに至つては非常な廣大なるものでありまして曾て有名なる獨逸人技師リヒトホーヘン氏が具さに調査致しました報告に依りますと其埋藏量は全世界の需要に應じて百箇年の生命を保つことを得ると斷言して居るのであります、尙ほ最近如何なる根據から調べたものか解りませぬが英國人でドレークと云ふ人が支那が石炭を埋藏することが九千九百六十六億千二百七十萬噸に上ると云ふ數字を現はして居ります、兎に角支那は石炭に於ては無盡藏と申しても差支ない分量を有して居ると云ふことは疑なき事實であります、然らば次に棉花羊毛は如何と申しまするに、棉花は既に一箇年に少くも十億斤の產額を擧げて居ります、英領印度は世界著名の棉花の產地でありますが一箇年の生產額は十三四億斤と稱せられて居ります、して觀れは支那は印度に劣らない棉花國と謂ふことが出來ます、一體支那の農產物は殆ど其生產額を計上することは出來ないのであります、何故かと申しますと幾多の棄てられてある所の沃野が澤山あるのでありまして一度び或る物產の用途が擴大されて値段が騰貴致しますれば殆ど吾々の想像も出來ないやうな場所から盛んに輸出されるのであります、七八年前に支那の直隷山東附近に於て棉花が盛んに產出されるなどと云ふことは誰も想像しなかつたのでありますが、近年支那の紡績業が盛んに勃興致しましたに伴れて直隷山東一帶の地方から現はれて來る棉花は夥しい數に上つて居ります、曾て獨逸が約十數年前に支那の胡麻に眼を注ぎまして本國に輸出して搾油の上色々の化學工業に使ひました結果、漸次胡麻の產額が增加して五六年ならずして其の輸出額が約二三千萬圓にも上つたのであります、左樣な狀態で支那の農產

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

額は殆どどの位に上れるかは計算することが出來ないのであります、米の如きも如何に少くも一箇年二億萬石に上りつゝあると云ふことを申しましたが、御承知の如く支那には防穀令と云ふ法律がありまして米の輸出を禁止して居ります、勿論一昨年でしたか日本との一時的協定の下に於て多少輸出致しましたが、此米の如き將來支那が防穀令を廢止しまして日本に對する輸出を自由にしますれば何億石の米が支那に生產されることになるか圖ることが出來ないと思ひます、何故かなれば支那が米の輸出を禁止して居るが爲めに比較的支那の米の値段が上らないのであります、他の農產物の如きは海外に盛んに輸出されるが爲に年々其價格が騰貴して居ります、從つて農民は自然に値段の高い輸出物を栽培することになるのであります、其の爲めに支那の米の產額は年々餘り增加致して居らぬ模樣であります、夫れで唯今申しまする如く一朝輸出を許しますれば其產額がどの位增加するか殆ど豫測することが出來ないと云ふ狀態になるのであります、それから日本に缺乏して居る羊毛、是は現在支那では直隸山西甘肅四川と云ふやうな土地から盛んに出ます、遺憾なるかな現在支那の羊毛は質が極めて粗惡なる爲に日本などに於きましては軍用毛布か然らされば極く粗末な洋服の原料にしか使はないのであります、さう云ふ關係上支那の羊毛の輸出は增加しませぬが、將來改良の餘地が多々あるので今後改良致しますれば決して濠洲の羊毛に劣らないものが出來ると云ふことは從來幾多の實驗に依つて證明されて居ります、近年調査されました東蒙古だけに於きましても飼養されて居りまする所の羊の數が四百八拾萬頭と云ふことになつて居ります、一箇年の產額は少くとも四千萬斤に上ると言はれて居ります、斯の如く支那は日本が先程申しました缺乏して居る原料を總て供給し得るだけの大きな力を有して居るのであります。

續いて南洋は如何と申しまするに過去每年日本が凶作の時に於ては吾々に無くちやならない所の米を供給

して居るのは勿論、殊に南洋一帶が御承知の如く熱帶に位して居る關係上其產しまする物資は極めて多種多量であります、多くの方々が南洋と申しますれば蠻雨瘴癘の地であると共に今日に於ても動もすれば人をも殺さんとするやうな蠻人が生活して居る處の如くに想像されて居りますが、勿論南洋に於ても左樣な土地は無きにしもあらずでありますけれども、日本の全領土の約五倍半に當ります所の百五十萬平方哩の廣大なる面積を有して居りまする、其中で到底蠻雨瘴癘の地で以て人の住居に堪へないとか、或は生蕃の如き蕃人が住んで居ると云ふ土地は全面積の中の一割にも足らない位であります、勿論現在はまだ多く南洋の土地は開けて居りませぬ、併し十分開けて居らぬにも拘らず現在既に此南洋から如何に少くとも十五六億萬圓の物資を海外に輸出して居るのであります、遺憾なるかな日本の工業が此物資を十分に利用するだけに進んで居りませぬが爲めに、僅に日本が利用して居るのが二億萬圓內外にしか當りませぬ、殘りの十數億は總て亞米利加及歐洲に輸出されてあります、日本の如く國內に於て先程申す如く工業の基礎原料となるべき鐵石炭と云ふが如き重要な物資に缺乏して居る國に於てはどうしても化學工業の發達に俟たなければならないのであります、此化學工業の原料を供給する土地として南洋熱帶圈が最も有望なる地位に立つて居るのであります、今日までは工業發達の要件は鐵石炭に在る、鐵と石炭を產しない國は工業發達の望みかない、英吉利か何を以て世界一の工業國となり得たかと言へば鐵と石炭の產額が豐富であり而も其の產地が相接近して居る之か最も重要なる原因であると言はれて居つたのであります、近年外國の學者は恐らく鐵石炭の時代は遠からず過ぎ去つて次いで現はるべき時代は恐らく石油と護謨の時代であらうと云ふことを提唱致して居るのであります、護謨は近年技術が發達致しました結果殆ど自由に如何なる物にでも造り得ると云ふことになつて居ります、殆ど鐵に近い位まで之を固め得ると云ふことであります、石油は石炭以上の燃料として重要であるこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とは御承知の如くであります、果して若し鐵石炭の時代が去つて石油護謨の時代が次いで現はるゝものと致しますれば即ち世界の工業に最も多く貢献する土地は南洋熱帶圏と云ふことになるのであります、御承知の如く現在日本の海軍が石油の供給を仰いで居るのは南洋ボルネオの一角からであります、最近は彼斯からも受けて居りますが從來は主としてボルネオから受けて居ります、石油の產地として南洋一帶が非常に豐富なる寶庫であると云ふことは既に周知の事實であります、護謨が殆ど世界に產しまする產額の九割以上を南洋が占めて居ると云ふことも皆さん御承知の通りであります、其他熱帶から產しまする所の原料品は色々な種類のものが澤山あるのでありまして、恐らく今後熱帶の物產を利用する所の工業、殊に熱帶化學工業の如きものが世界の工業界に於て必ずや重要なる地位を占むるに至ると云ふことは疑ひのない事實であります、是等の點から見まして南洋及支那の豐富な原料を日本が更に進んで利用すると云ふことは將來日本の立場として閑却すべからざる最も必要な點であらうと考へるのであります、先程申した如く現在日本が海外から輸入し利用して居る所の原料約七割以上は支那南洋以外の供給に俟つて居るのであります、今後はもう少し支那南洋の原料及食糧品に對して日本が注目することが必要ではなからうかと云ふことを痛切に私は考へる次第であります、斯様に觀察致して行きますれば日本の產業と支那南洋の土地とが非常な重大な關係があると云ふことは十分御解りだらうと考へます、極言しますれば日本の產業の生命を左右するものは將來支那南洋であるとも言ひ得ると考へるのであります。

　唯だ爰に一言附加へて置きますのは先程英吉利と各植民地間に特惠關稅問題なるものが起りつゝあると云ふことを申上げました、尙は歐米各國が戰後の國力發展を圖らんが爲に各々其の植民地の資源を開發して極力物資の利用を圖るに至るだらうと云ふことを申上げました、是に於て多少疑問が起りますのは然らば即ち

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

將來支那は借て措いて南洋も旣にそれ〳〵各國の植民地であるから或は是等の南洋の植民地に於きましても日本が自由に商品を賣附け自由に原料を取來ると云ふことが出來難くなりはしないかと云ふ懸念であります、併し此點に就きましては私は斯る懸念は恐らく無からうと考へるのであります、何故かと申しますれば南洋に於きましても英領は御承知の如く新嘉坡と云ふ港を中心として出來上かつて居る所の馬來半島が主たる土地であります、此新嘉坡は全く自由貿易港として發達して來た土地でありまして、現在に於きましても新嘉坡の生命は所謂通過貿易であります、新嘉坡に輸入された商品は南洋各地に分配され、南洋各地方の物資が此地に集つて海外に輸出される所謂通過貿易を生命として居るのでありますから、恐らく英吉利に於きましても他の自治植民地との間に於ては特惠條約を締結致しましても之を新嘉坡其他の馬來半島に及ぼすことはなからうと考へるのであります、勿論現在に於ても南洋の中で差別的の關稅法を施行して居ります地方が多少あります、佛領印度及比律賓の如きが夫れであつて、日本から輸入する商品と本國の亞米利加若くは佛蘭西から輸入しまする商品との間に差別的の關稅を課して居るのであります、本國から輸入されるものは無稅若くは非常に安い稅率を課し日本其他の諸外國から輸入されるものに對しては比較的高い稅率を課すると云ふやうな差別的取扱を爲して居るのであります、此が爲めに此兩地方は開發が最も遲れ今に到るも文化の普及されない土地であります、夫れで頃來佛領の如きは現行制度の改正が問題とならんとして居るのであります、併しながら南洋で最も大きな部分を占めて將來最も有望であります所の蘭領東印度一帶に於きましては現在及過去に於て何等斯の如き差別的待遇はなく、全然世界に向つて其資源を開放致して居ります、恐らく將來も差別的待遇を設くると云ふが如きことなく又其經濟資源も開放されるだらうと思ひます、何故かなれば如何に和蘭が其植民地たる所の東印度地方に對しましても特惠關稅を施行致さうとしましても貧弱なる和蘭陀工業

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の程度を以てしては到底東印度地方の使用する商品を十分に供給することは出來ませぬ、若し強いて致しますれば自然輸入商品の價格を暴騰致させまして蘭領東印度住民の生活を壓迫すると云ふやうな結果に陷るのであります、又蘭領東印度の經濟資源は過去に於て全然世界各國に向つて開放して來たのでありまして、既に各國の資本が十億以上も蘭領東印度に放資されて居るのであります、從て今後之を閉鎖すると云ふことは却つて蘭領東印度の開發を妨げる基でありまして、恐らく將來獨占的に資源の閉鎖を爲すが如きことはなからうと考へるのであります、さう云ふ點から見ますれば先づ大體に於て南洋殊に有望なる蘭領及英領は將來日本の市場として將又日本に對する原料の供給地として先程申しました如く歐米に於けるが如き懸念はなからうと見て差支ないと考へます、斯樣に觀察致しますれば將來更に進んで日本は支那南洋と密接なる關係を結ばなければならぬのでありますが、日本が支那南洋を日本の產業の生命を左右すべき土地として大に發展を圖らんとするが爲に爰に橫たはつて居る所の障害があります、それは何かと申しますと第一に皆さん御承知の如く支那の日本に對する一種の排斥熱であります、即ち排日思想であります、第二には支那の產業革命であります、言換へますれば支那に於ける事業の勃興であります。

四　支那の排日思想と產業革命

支那の排日思想なるもの、沿革は相當に古いのでありまして從つて其根抵も可なり鞏固であります、爲めに之を芟除すると云ふことは却々困難であります、併し此支那人の排日思想なるものが日本人の支那發展を阻害致しまする許りでなく更に進んで南洋一體の地方に對する日本人の發展をも阻害すると云ふ結果を來たす虞があるのであります、何故かと言ひますと南洋一體に於ける主人公は全く支那人であります、米領の比律賓に於きましても英領の馬來半島に於ても佛領の印度支那に於ても蘭領に於きましても日本の五倍半もあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るやうな此大きな面積に於きまして支那人が殆ど經濟上の實權を握つて居るのであります、どう云ふ意味に於て實權を握つて居るかと言ひますと、勿論是等の南洋地方も商品を輸入致しまする者は日本人及歐米人でありますが、輸入したる商品を南洋百五十萬平方哩の彼の大きな領域に分布致しまする者は主として支那人であります、南洋に於ける主たる住民は御承知の如く馬來民族であります、其數約六千萬と稱せられて居りますが、此六千萬の馬來民族は未だ文化の程度が極めて低く殆ど商業上に於きましては何等の能力をも有せないと云つても宜しい位の狀態に立つて居るのであります、夫れで輸入外國品を需要消費するものは主として馬來民族でありますけれども之を取次ぐ所の仲介者たる商人は多く支那人であります、それと同じく南洋の此熱帶の富源から產出致しまする所の先程申しました一箇年十六億からの大きな物產を誰が外國へ輸出するかと言ひますれば直接輸出する者は日本人や歐米人でありますけれども、彼の擴大なる面積から是等の物資を集めて外國人の手に渡す者は誰かと申せば主として支那人がやつて居るのであります、夫れで言換へますれば南洋の經濟界に於て多くの貨物の分布集散の實權は支那人が握つて居ると申して差支ないのであります、約其數三百萬と稱せられて居るのであります、此支那人が約三四百年間に於て殆ど牢として拔くべからざる根柢を植附け南洋の經濟界を左右するに至つたのであります、一度び支那本國に排日熱が勃興致しまして先年の如く日貨排斥事件が起りますれば直に南洋の全土にそれが波及致しまして支那本國と同じく日本商人は手を措いて之を傍觀しなければならないと云ふ遺憾な狀態に立つて居るのであります、折角日本から商品を持つて參りましても支那人が日本の貨物を排斥致しますれば如何ともすることは出來ないのであります、斯の如く排日思想なるものは單に日本の支那內地に對する發展を阻害するのみならず、此有望なる南洋の市場に於ても矢張日本人の發展に非常な大きな妨害を與へるのであります、此排日思想なるものを取除か

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ない以上に於ては日本の支那南洋の發展を達成せしむることが出來ないと云ふことになるのであります。

　第二に支那の産業革命であります、支那は御承知の如く國土が極めて廣大でありまして南は熱帶に接し北は寒帶に跨ると云ふが如き土地でありまするが故に、殆ど國内に産せざる物なしと云ふ位に物産は豐富であります、斯の如き天然の沃土を有して居りますが爲に支那は四千年の間燦然たる文明を以て殆ど孤立經濟を營んで來たものであります、他國の厄介にならなくても自分の國だけで立派に自足自給の經濟を營んで行けるのが支那の特點であります、さう云ふ關係に立つて居りまするが爲に從來鎖國主義を以て國是として來たのであります、左樣な國情でありますから十九世紀頃から歐米各國に起りました産業革命の影響を殆ど受くることなくして依然として支那は四千年來の固有の文明を抱いた儘進んで來たのであります、併しながら日清日露北清其他の事變を經まして更に最近に於ては革命事變が勃發して帝政が共和政に變りましてからは流石の支那人も漸次覺醒致しまして、利權囘收國産獎勵の必要を痛感することになりまして、愈々産業革命の大事業に著手せんとするの氣運に向つて來たのであります、遺憾ながら爰に之を委しく說明致す時間がありませぬが、若し支那の民衆が大に覺醒して其の豐富なる物資と學力とを利用して産業革命なる事業を遂行することになりましたならば、其結果日本が如何なる影響を被りますか、單に想像するだけでも心を寒うせざるを得ませぬ、其結果日本の對支輸出品は殆ど死活的打擊を受けまするのみならず、日本の對歐米貿易に迄も至大の影響を受くるに相違ありませぬ、一例を申しますれば日本の現在歐米に對する重要なる輸出品は何かと申しますれば御承知の如く生絲と茶であります、勿論戰爭中に於ては色々の物資が歐米に輸出されましたが是は戰時中の一時的現象でありまして、工業程度の低い日本の現狀では將來も生絲及茶の如きもの以外に適當なる輸出品がありませぬ、處が此生絲及茶の本場は何處かと申しますれば寧ろ支那であります、現在

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に於きましても支那の生絲は家蠶繭に於て約一億萬斤、野蠶繭として約三四千萬斤の產額に上つて居るのであります、日本は御承知の如くに僅に產額が五六千萬斤にしか過ぎませぬ、既に日本の數倍の產額を持つて居りますがつい色々の原因の爲に支那の生絲貿易と云ふものは今日と雖も依然振はないのであります、又茶にしましても其產する所は約一箇年少くも五億萬斤に上ります、日本の茶の產額は臺灣を加へましても一箇年に約八千萬斤內外の額にしか過ぎませぬ支那の五億萬斤の此大きな產額に對しましては極く微々たるものであります、若し一朝先程申すが如く支那が覺醒致しまして一大產業革命を遂げましたならば到底日本の歐米に輸出致しまする生絲にしても茶に致しても支那の品に對抗することは出來ないのであります、勿論支那の革命が果して日本の產業に至大の打擊を與へる程度迄に遂行せらるゝや否やは尙疑問たるを失はないが、近年著く如上の氣運が支那に熟して來て居るのでありますから、我邦としては漫然此の趨勢を看却することは出來ないのであります、兎に角日本の對支那南洋の關係は極めて重要なる地位に立つて居りますが、以上申しまする如く支那に於ける排日思想と支那の產業革命なるものが日本の南洋支那發展の一つの大きな障害物として横はつて居る問題であります、此問題を解決しない以上に於ては到底對支那南洋發展も徹底的に之を遂ぐることが出來ないのであります。

五　我邦の對應策

然らば如何にして此問題を解決するかと言ひますれば、私の考では進んで日本が支那の產業革命を助成してやると云ふ所の策に出づるより外途はなからうと考へるのであります、支那の產業が何故先程申す如く生絲の如き既に一億數千萬斤の產額を有し茶の如きも五億萬斤の產額を有して居るに拘らず、日本の茶生絲の尙ほ後へに立つて居るかと言ひますれば、殆ど擧げ切れぬ位に色々の原因がありまするが大きく分けまして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三つに分けることが出來ると考へます、第一は支那の國民の個性に伴ふ所の缺點、第二が從來の施政宜きを得なかつたと云ふこと、第三が支那の産業組織の缺陷であります、此三つが重要なる原因を爲して居るだらうと考へるのであります、第一に支那人は産業上に於きましては智識が極めて幼稚でありますと共に元來頗る保守退嬰的でありますから、依然として舊習を墨守して居るに過ぎないのでありまして何等産業上に對して進歩改良を圖ると云ふ觀念を有して居りませぬ、尙ほ殊に近世の産業革命に於て缺くべからざる所の共同一致の公共心に至りては最も缺如して居るのであります、具體的に申しますれば支那の如き資金に乏しい國では凡ての功業は之を株式組織と爲すを適當とするのでありますが、株式組織の會社を造るやうな公共心を基とした所の事業は最も支那の國民性に相反して居る所の點であります、第二は支那の施政宜きを得なかつたと云ふ點でありまして是は種々の方面に現ばれて居りますので、四千載の久しきに亙る文化を有しながら經濟上に於て發達しなかつた多くの事由は玆に胚胎して居るのであります、殊に最も其産業の發達を阻害して居る點は支那の税制であります、假りに生絲及茶に例を取りますれば殆ど何等の標準もないと云つても宜いやうな課税の方法を致して居るのであります、茶の如きは其生産額の如何に拘らず單に一定の面積に對して一定の租税を課して居ります、從つて支那の茶を栽培する農民は成るべく澤山に粗製濫造すると云ふやうな狀態に陷るのであります、且つ其出來上りました茶は支那の內地を運搬されるに方つて到る處に一種の通過税を課せられて居りますのみならず、偶々其商品が開港地に現はれますと更に沿岸貿易税と云ふ一種の税を課せられます、進んで貨物が外國に輸出されると輸出税を課せられます、殆ど税金苛めと云つて宜い狀態になつて居るのであります、其他法制の不備なるを始めとして貨幣其他諸般の制度が紊亂の極に在ると云ふが如きも勿論支那の産業發達を阻害して居る重要なる原因であります、第三は産業組織の上に於て種々の

缺陷を有して居る點であります、就中主要の點は支那の組合制度であります、現在に於ても昔し歐洲に於て中古時代に存在致しました一種の組合卽ち日本の德川時代に於ける座に少しも變らない所の一種の組合制度が支那の經濟社會に偉大なる勢力を有して居ります、實例を以て申せば支那の各地に同業者間に於て同業組合なるものを組織して居ります、生絲の如きは生絲商の組合を有し茶商は茶商の組合を有して居ります、此組合なるものは其取扱つて居る所の產業を左右して居ると云ふても宜しい特殊的地位を占有して居るのであります、假りに茶に就て申しますれは茶を植ゑました農民は組合以外には作つた茶を絕對に賣ることは出來ない制度になつて居ります、又輸出商人は組合から茶を買はなくては茶を買うことが出來ないと云ふ制度に出來上つて居ります、而も其組合は鞏固な團結を造りまして成るべく組合員の數を限つて增加せんことを防いで居るのであります、さうして利益を壟斷せんことを努めて居るのであります、此組合制度なるものは一面に於ては總ての經濟界に非常な大きな利益を與へて居るので、委しく申す時間がありませぬが現在の支那では言はゞ一面政府の代りになつて種々の規定を設けて居る重要の機關でありますが、併しながら半面に於て前申す如く殆ど支那の產業を左右致しまして獨占的利益を貪つて居るが爲に著しく支那の產業の發展を阻害して居るのであります、併し此組合制度なるものは他日若し支那が自力を以て產業上の大革命を實行することがありますれば恐らく此組合なるものが中心となつて革命を遂げるだらうと考へるのであります、非常な鞏固な團結を造つて居りまする爲に場合に依つては產業革命を爲し遂げ易い點が其處に潛在して居るのであります、隨て日本などに於きまして到底現代の支那人の力に依つては產業革命と云ふが如き大事業が成し遂げられないと云つて支那の經濟界の前途を閑却することは出來ないのであります、支那の產業革命の完成は假令前途遼遠であるにしても可能性は此組合制度が經濟界の中心を爲して居ると云ふ點に在るのであり

ます。

以上申しました如く支那の產業は色々の原因からして現在に於きましては發展致して居りませぬので、之が將來盛んに發達されまして遂に產業革命を行ふに至ることは却々困難なる事業には相違ありませぬが、併しながか近年斯る傾向が段々現はれて居るのであります、殊に注意すべきは近年漸次歐米人が支那に事業を興しまして支那の產業革命を助けんとしつゝあると云ふ傾向であります、支那在留の歐米人は近年日本の長足の發展を見まして到底吾々は支那に來て仕事をするに於ては此日本に對抗することは容易でない遠い本國の商品を支那に輸入して日本商品と競爭することは漸次困難となるは當然の結果である、寧ろ吾々は支那の豐富なる原料を利用して支那に於て事業を行つた方が日本の事業に對抗する上に於て遙かに利益であると云ふことを考へる樣になつて來たのであります、從つて或は將來支那の產業革命なるものは在留歐米人の助けに依つて促進達成せしめられることになるかも知れぬと云ふ虞があるのであります、現に生絲の如きは矢張支那の生絲も日本と同じく亞米利加が主たる顧客でありますが、近年亞米利加人が支那內地に進んで生絲の檢査所を造り製絲工場を興すと云ふが如きことをして支那生絲の利用と商權の占握とに對し著々計畫を施して來て居るのであります、支那人恐るゝに足らずとして袖手傍觀して居りますれば知らず識らずの裡に或は歐米人の手に依つて支那に事業の勃興を見るに至らぬとは限りませぬ、從つて私は日本は何れの日に於てか支那の產業革命が成し遂げられるものならば寧ろ進んで今日に於て自ら進んで支那の產業革命と云ふ大事業の遂行に對し日本人が分擔すると云ふことが寧ろ得策ではなからうかと考へるのであります、即ち日本人が盛んに支那に行つて支那の事業を助けてやる、尙ほ之を具體的に申しますれば將來若し支那の生絲業が發達致しますれば日本の生絲業の如きは到底競爭に堪へられないのでありますから、今に於て日本人が支那の生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

絲業なるもの、實權を握り、日本人の手に依つて支那の生絲業を立派な產業に革命してやる、さうして一方日本の生絲業なるものは支那の生絲業以上高級の生產業に進めて行くと云ふ方法を執る方が一番得策と考へるのであります、又一歩退いて支那の產業革命が容易に行はれないものと假定致しましても何時までも日本の工業が從來行はれて居る如き低級の工業では到底國運の發展にはならないのであります、何處までも日本の工業は漸次高級に進めて行く即ち生絲と云ふが如き半製品を輸出することを以て滿足しないで、織物とし尙は更に染めて外國に出すこと、し、紡績業なれば從來の如き十六手とか二十手とか云ふ太い絲をのみ製らないで更に進んで四十手八十手二百手と云ふやうな細い絲を造つて行くやうにする、粗成のや太番手の綿絲を製るならば支那に行つて製造する、日本では更に高級品を製造する樣に常に技術の進步を圖り、支那の生絲や綿絲を我工業の原料に利用すると云ふ風にしたいと思ふのであります、斯樣にして日本と支那の共通的ならしむる、即ち言換へれば共通の基礎の上に置く樣にしたいのであります、日本人が支那の生絲業の實權を握りさへすれば兩國の生絲の各特質に應じて自由に特徵のある製品を出すことが出來、且つ永く世界の生絲市場を左右することが出來るのであります、夫れには進んで日本人の手に依つて支那の產業革命を遂行せしめたならば延いて日本が支那產業の實權を握ると云ふことになるので又そうなれば將來如何に支那の事業が發展しても憂ふるに足らないと云ふことになるのみならず、豐富なる支那の資源が開發されて支那の購買力を培養すること、なり、延て日本の輸出貿易も旺盛となり、爰に支那人と日本人と離るべからざる關係が結ばれ如何に日本人を排斥しやうと思つても到底することが出來ないことになるのであります。

　尙此點に就て委しく申上げたいのでありますが、最早時間も切迫致しました爲めに却て肝心の結論が簡單になり所謂龍頭蛇尾に了ることになりましたが、要するに私の主張は支那の如き物資と勞力の豐富なる土地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

では、多額の資本を固定する必要なく進歩した技術を要せない低級工業を盛に日本人の手に依て興し夫れと共に日本の工業を更に高級生產的たらしめて可及的支那の原料を利用し、尚日本の固有產業にも產業革命を施し、此等の製品は凡て支那と共通の需要に充てることゝし、成る可く歐米人の企及出來ない東亞固有の產業の開拓に努力することが必要であると申すのであります、此方針を以て進めば自然日支兩國民の生活も共通的となり、製品の販路が共通となれば大量生產にも適し產業革命をも遂行し易くなる譯であります、一體支那は事業を起して產業革命を助成すると云ふことは、現在已に利益の上より觀て免ることの出來ない當然の歸結であります、卽ち支那の貨幣制度の改正されない以上何時迄も日本の如き金貨國から支那の銀貨國に貨物を輸出することは殊に銀價が低落の大勢を有する場合に於て不利益たるを免れないので、夫れだけ支那に於ける事業と競爭上不利となるのであります、又支那の關稅改正は過去に於ても度々問題になりましたが、恐らく近き將來に於て必ずや實現すべき問題と考へるのであります、既に或る點までは支那の關稅を改正する保障を各國が與へて居るのであります、のみならず支那の財政狀態は關稅の增收にでも依るに非ざれは到底之を救濟することは出來ないやうな窮境に陷つて居るのであります、それ等の點から考へまして支那の領土保全日支親善を標榜して居る日本の立場として何處までも支那の關稅改正を排斥することは出來ないのであります、必ずや早晚起つて來る問題であります、是等の點から見ますれば先程申した問題を除外致しましても自然支那に於て原料を利用するやうな事業は日本人が進んで支那に行つて事業を興すと云ふことが利益となるのであります、殊に先程申しました如く支那の產業革命が非常に大きな影響を與へる點から觀察致しますれば寧ろ進んで日本が之に着手して日本の產業を支那と共通の基礎の上に置くと云ふ樣に劃策しましたならは一種の日支經濟同盟が自然と結はれることになるので、斯樣になりますれば如何に支那人が排斥せんと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しても自然出來難いことになるのであります、先程申した如く排日思想は相當根抵が深いので根本から之を取除くと云ふことは容易でありませぬ、日本の對支政策としては或は支那に資金を供給するとか或は支那に病院學校等を設くるとか饑饉に對して救濟してやるとか色々の策がありますけれども、熟々支那の四千年の歴史を顧みて見ますれば支那の國民性なるものは吾々日本の國民の考へるやうな單純な國民性では決してありませぬ、吾々が殆ど豫想出來ない程現實性に富んで居るのであります、從て單に支那人に恩惠を施すとか財政上の援助を與へるとか云ふことに依つて排日思想を緩和しやうとか日支親善を圖らうとか致しましても、其は殆ど百年河淸を待つと同じいことで、支那の國民性を理解せない淺果敢な考へから出た政策に過ぎませぬ、私が觀察する所に依りますれば日支親善は一つに利害關係に依つて結び附けるより外に策はなからうと考へて居ります、それには前申す如く日本と支那との產業の基礎を共通的ならしむるより外に途はないと思ひます、既に支那は二十億の外債を背負つて居りますが、其内で鐵道布設に使はれました四五億萬圓のみが多少有效に使用されたばかりで、其他の借款は如何なる用途に使はれましたか殆ど支那の政治上經濟上の發展には何等寄與して居ないと言つて差支ないのであります、徒らに金を貸付けて財政上の援助をしても、益々政治を腐敗せしめ政界を紛亂せしめ統一を妨ける基となるのみであります、寧ろ所謂國民外交を以て日本人と支那人とが個人的に密接なる關係を結び利害の上に於て手を握ると云ふ外に解決の途はなからうと考へるのであります、要しまするに私は過去數年間支那南洋に住んで居りまして非常に日本と支那南洋が密接なる關係があるのみならず今後非常な重大なる關係が其間に存在するにも拘らず、比較的日本の國民がそれを了解して居ないやうな感がありますので、聊か以上の如き題を掲げまして御淸聽を煩はした次第であります、（完）

辮髪に對する史的研究

總督府囑託　鷹取田一郎

八　剪辮反淸の諸英雄

余は前章に李成棟の事實を擧げたる序を以て、玆に剪辮反淸の諸英雄を擇ひ、之れを綜合して當時の形勢を審かにすべし。夫れ薙髮垂辮の改俗が中國人の本意に非らざるは既に論を俟たざる所、畢竟朝廷の威力を恐怖して之れを已む無くせるのみ。是を以て機の乘すべきあらは、多數の中國人は直に辮を剪つて反淸軍に應するを喜ふ。將軍都統の類も亦た此の眞相を知悉せざるは莫し。故に身、武職に在つて淸朝の恩顧を厚ふする者と雖も、苟も機の乘すべきあらは則ち其の辮を剪るに躊躇せざる也。李成棟の剪辮反淸以後、此類の英雄固より少なからず。其の最も偉大なる動亂を起したるは平西親王吳三桂なるべし。

吳三桂は寧遠總兵を以て曾て明朝邊防の要職に膺りたり者、崇禎の末流賊天下に横行するに及ひて山海關の守備を命せられ、李自成既に燕京を陷れ帝位を奪ひたるの後、其父吳襄を殺したるを以て恨みと爲し援を滿州に乞ふて遂に世祖を關内に招き入れ、其結果天下を擧げて愛親覺羅氏に獻するに至らしめたる者なり。されは吳三桂は淸朝創業の元勳にして、其の類例を求むれは唐の魏徵に非らざれは則ち明の徐達ならさる可からず。淸朝固より之れに報ゆるに平西親王の尊號を以てし、之れに任ずるに邊境守備の重職を以てしたり。其他淸朝創業の功臣少なからずと雖も、其重もなる者は僅に二三にして、孔有德は定南王に、耿仲明は靖南王に、尙可喜は平南王に封せられ、各々地方鎭撫の任に補せられたり。是れ實に順治六年五月にして後來所謂藩鎭の患は之れに生するに至りたり。中にも耿仲明は同年七月江西の軍中に自盡し、其子耿繼茂をして其

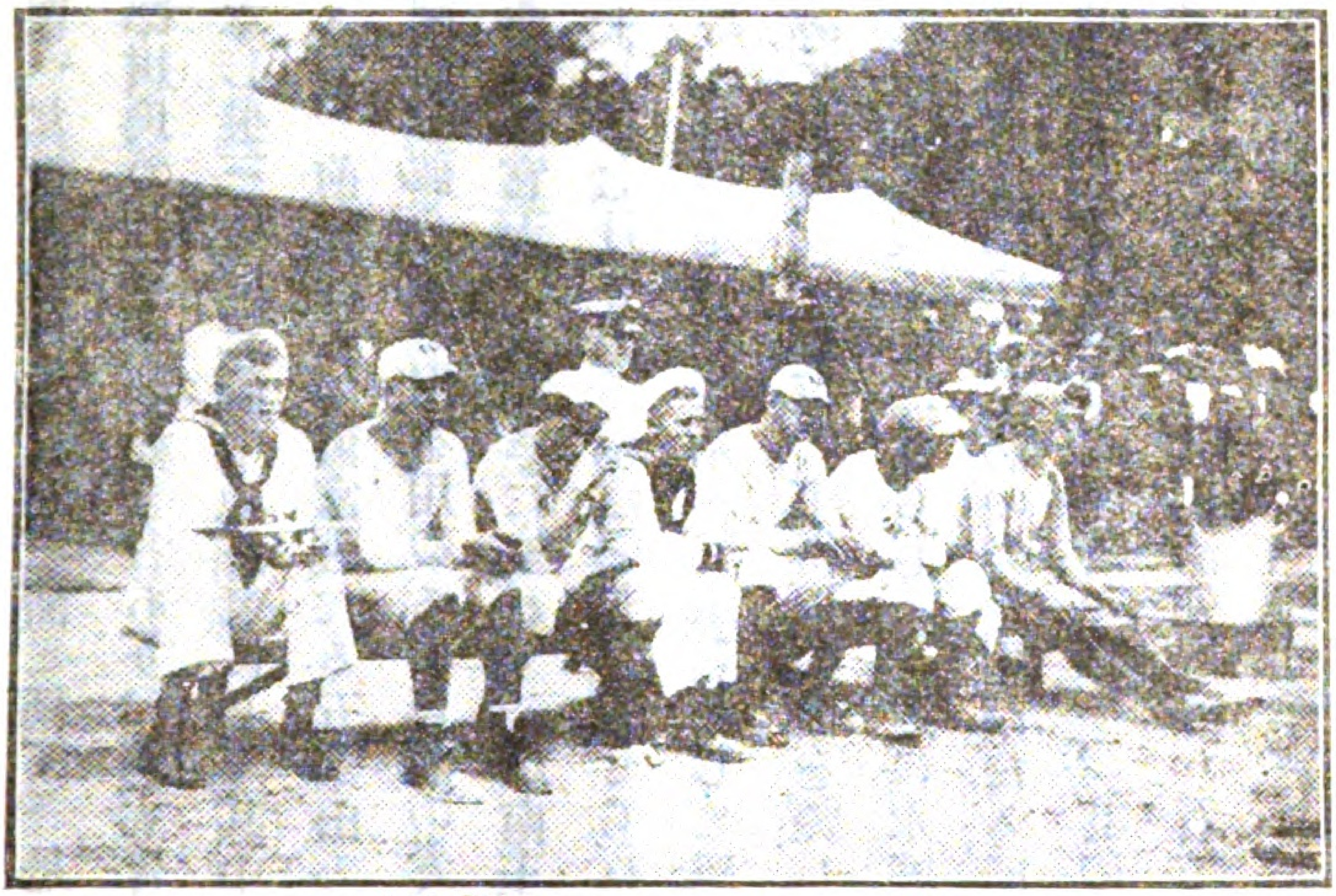
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の王號を繼承せしめたるも、孔有德は順治九年李定國の叛亂に戰死し、嗣子無くして其跡を絕てり。斯くて西南各地は剿撫の功を奏して天下漸く定まるに及び、平西親王を雲南に、平南王を廣東に、靖南王を四川に駐劄せしめ、以て分茅列土の封を與へたり、世に之れを三藩と稱す。是れ實に順治十六年春三月也。

三藩の勢威を張ること恰も我が德川氏の御三家の如き者あり、孰も皆な閫外寄託の權を掌握せるを以て、其の甲乙を論する能はずと雖も、蓋し吳三桂は三藩中の長老にして其中最も盛名を負ひたるは爭ふ可からざる事實なり。其の雲南に封せらるゝや、前朝桂王の舊宮殿たる五華山の地を相して、此に輪奐壯麗なる藩府を設け、人を用ゆるに吏兵兩部の掣肘を被らず。財を用ゆるに戶部の考察を受けず。金を散し士を結ひ、各省の要地に腹心の徒を置き、所謂西選の官天下に徧きに至れり。靖南王は一旦四川に封せられたるも、閩境鎭撫の急なるか爲めに、其翌順治十七年七月を以て福建轉封を命せられ、其の藩府を福州に置きたり、今其の三藩の清朝に貢獻したる功業を數ふれは是れ亦た殆んど際限なしと雖も、永曆帝を廣東廣西の間に驅逐し、彼の李成棟をして信豐の戰地に自滅せしめ、金聲桓、王得仁の徒を斃し李定國、孫可望等を追擊して遂に之れを剿滅し、鄭成功をして其の雄を陸上に震ふ能はざらしめ、遂に永曆帝をして緬甸に蒙塵して其の終を知る能はざるに至らしめたる者、皆是れ直接間接に三藩の力を用ひたる所、其の功業の偉大なるは固より言ふを俟たざる也。隨て清朝の之れを優遇すること頗ふる厚きを以て、其の勢力を地方に扶植すること極めて深く、威望侮る可からず、根抵拔く可からざるに至つては、清朝も亦た看て以て後患の大なる者と爲し、終には之れを掣肘せんとするの意思を生するに至れり。偶々康熙十二年三月平南王尙可喜、其子之信を留めて廣東を守らしめ、自からは遼東に歸臥して老を養はんことを請ふ。朝廷之れを以て後來藩鎭の患を除くの好機と爲し、其請を允し藩兵を撤して歸鄉することを命したり。三桂精忠の二藩之れを聞きて心に安んする能はす、互

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に上疏して試みに兵を撤せんことを請へり。此事たる勿論朝廷の意志を探らん爲めに外ならず、撤兵は斷して彼等の希望する所にあらざる也。廷議其の許否に關して各々其の主張を異にし、互ひに是非を爭ひたりと雖も聖祖久しく藩鎭の後患を未然に防ぐ志あり。且つ彼等の子弟家眷の京師に在るあり。以て駕馭自から道ありと爲し、斷乎として藩を山海關の外に徙すことを命したり。初め三桂の撤兵を奏請するや、心中暗に鼎の輕重を問ふの志あり。結局明朝の沐英か世々雲南を守りたるの例に倣ふて、自己を此に留むるの外無かるべしと豫期し居たり。然るに報を得るに及んで、詎んぞ料らん事意外に出てたり。是に於て蹶然意を決して辮を剪り、衣冠を改め、自ら天下都招討大元帥と稱し、以て自立せんとす。是れ即ち康熙十二年十一月にして彼は其の翌年を以て周王元年と稱したり。



米艦ニユーオールレアン號野球選手

嗚呼當年の中國人をして薙髪して辮を垂れしむるは難し。之れに反して剪辮して髪を蓄へしむるは、恰も水の卑きに就き、火の燥けるに就くより猶ほ易きものある也。平西親王此に剪辮を命して淸朝反對の旗幟を鮮明にし以て檄を四方に飛はすや、貴州巡撫曹申吉、貴州提督李本深、雲南提督張國柱等辮を剪つて之れに應じ、翌年正月四川巡撫羅森は四川を以て、二月廣西將軍孫延齡は桂林を以て、三月襄陽總兵楊來嘉は襄陽を以て、孰れも皆な辮を剪つて之れに應したり。朝廷吳三桂の反を聞くや、即ち閩粤三藩の撤兵及び徙封の命を取消し、

京師に在る三桂の子應熊を獄に下し、荆州四川の兩道より雲南を討たしめたり。賊將吳應麒岳州の守備を固くし勢當る可からず、官軍未た江を渡る能はず。湖南の常德、長沙、岳、澧、衡の諸州皆な辮を剪つて清朝の羈絆を脫するを相慶せり。

靖南王耿繼茂は康熙十一年六月を以て卒し、其子精忠之れを繼き、清朝の爲めに臺灣の鄭氏を制壓するを以て其の責任と爲し居たるも事、此に至つては坐視する能はず。福建總督范承謨を幽し、辮髮を剪つて反意を明にし、臺灣の鄭經と款を通し、鏈を踰へて閩粤の地を侵略し、其民をして辮を剪らしむ。其勢亦た破竹の如し。

是に於て吳三桂は兵を分ちて二と爲し、一は長沙を發して江西を窺ひ、耿精忠の軍と連絡を保ちて直に三十餘城を降し、一は四川より陝西を窺はしめ、別に兵を廣東に送つて平南王之信の嚮背を問はしむ。之信は其勢の盛なるを以て、又た剪辮反清の意を明ならしめたり。

南方既に斯の如し、剪辮反清の勢力は殆んど天下を風靡せんとす。陝西提督王輔臣も亦た辮を剪つて亂を寧羌に作し、經略使莫洛を斬つて漢中を陷れたり。吳三桂此の報に接するや、銀二十萬を遣つて其軍を犒はしめ、蜀中の叛將をして之れと相策應せしめたり、其翌十四年秦州、蘭州皆な王輔臣に應して清朝に反し、輔臣自から平涼に制據し、部下をして各郡に分屯せしめ、隴右一帶又た辮髮を剪れり。三桂此の機に乘して路を秦蜀に取り、劒閣を越へて直に進んで京師を犯さんとす。偶々撫遠大將軍圖海之れを平涼の城北に邀へ、激戰して之れを防ぐ、三桂進む能はず。王輔臣遂に清軍に降れり。三桂是より復た中原を窺ふ能はずと雖も、長江を限つて天下の三分の一は既に其の勢力範圍に在り。遂に湖南の衡州を定天府と改稱し、自から帝位に即きて昭武と改元し、百官を置き諸將を封し、以て國號を周と稱す。實に是れ康熙十七年三月なり。

吳三桂が多年胸中に收めたる欝勃たる覇氣は、遂に發して此に至れりと雖も、既に春秋高くして老境頓に加はる者あり。是歲八月永興を圍み、勝敗未た定まらざるに、享年六十九を以て陣中に病歿し、十月其孫世

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比島新總督ウッド將軍（略歴）

去月十二日、米國の比島新總督として赴任の途次本島を訪はれたるウッド將軍の略歴に就ては本年九月三日の馬尼剌タイムスに其の概要を報じて明かなり即ち左の如し（内外情報第十號）

比島次期總督たるレオナルド、ウッド少將は米國の政治家中最も傑出し亦最も人望ある人にして、若し過般候補者を協議選定せる共和黨の國民大會に際し二三代議士の無能だに無かりしならんには、恐らく彼は今日合衆國の大統領たりしならん。第一回及第二回の秘密投票の際他の大統領候補者よりも多くの投票を得たるも第十一回の投票に於て遂に和解成立し上院議員ハーディング氏の當選を見るに至れるなり。

ウッド將軍は故テオドル、ルーズヴエルト大佐の親友にしてルーズヴエルトに次ぎ國民の輿望を博せり。世界大戰に於て合衆國をして赫々たる榮譽を得せしめしプラッツブルヒの士官學校を創設せしは實にウッド將軍なりき。彼の合衆國が大戰に參加するに先ち將校等の反對あるにも拘らず、頑として參戰準備を主張したるが爲めに米國人の參戰準備に卓越せる好結果を與へ、遂に勝利を得るに至れるも亦彼の智能に因る。

彼が一流の統治者として功を立てたるは特に玖瑪に於ける統治事業にして、同國をば米西戰爭後、間もなく斷乎として改造したる結果、合衆國政府をしてプラット修正案に依り同島に自治制を認可するを適當なりと認めしむるに至れり。玖瑪領有當時一行政官として又た其後植民地統治に於て示したるウッド將軍の功績は世界的賞讃を博し遂に最善にして最も進歩的思想を有し又た政治家として行政官として圓熟せる世界的人物と稱せらる、に至れり。

ウッド將軍は六十一年前の十月九日ニューハムシャー州のウインチエスターに生れ、田舎醫者チャールス、シユエットウッド氏の息なり。マサチユセット州ミッドルボルのピーヤス大學を卒業の後ハーバード大學に入り千八百八十四年卒業と共に藥學博士の稱號を得たり爾來エル、エル、ディ（法學博士）の名譽稱號をハーバート、ウイリヤムス及ペンシルバニヤの三大學より授與せらる。

千八百八十六年一月合衆國陸軍の軍醫見習に任命せられ、西部のインデイヤン討伐に參加し行政的手腕のみならず多方面に才能あるを見出された

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る、之れ實にウ將軍出世の緒なりき千八百九十一年陸軍大尉に昇進したるが、此間彼は故ルーズヴエルト大佐の信任を受け、米西戰爭の勃發と共にル大佐と協力してルーズヴエルト、ヲフ、ライダーとして有名なる第一義勇騎兵隊を組織せり。玖碼に於ては大佐として同聯隊を率ゐラス、グアシマスの戰鬪有名なるサン、ユアン丘の奪守に參加せしが、此間彼の勇敢なると其卓越せる功績とに依り副少將に、拔擢せられ、其後數箇月にして少將となれり。

玖瑪が米西戰爭の結果米國の領有に歸するやウ將軍は總督として同地に赴任し統治組織を改造し確固たる自治制を設定せり。總督就任は千八百九十九年十二月十二日より、千九百二年五月同島の玖瑪人の手に讓渡さるゝ迄なり。

千九百三年當時米國の比島統治に最も苦惱の種たりしモロ州の知事に就任し千九百六年四月迄此紛糾常なき地方の鎭定、改革に成功したる爲め、比島駐屯軍の司令官として馬尼拉に差遣せられ、千九百八年ガヴアナー島に本部を有する東洋局の事務を見るべく米國に召喚せられたり。千九百十年四月八日より同年七月十五日迄アルゼンチン共和國駐剳の特命公使たりしが、歸國後直ちに合衆國陸軍參謀總長に任命せられ、千九百十四年四月まで在職五月再び東洋局々長に任ぜらる。同局長在任は米國の世界大戰參加當初まで、ガヴアナー島在勤のフランクリン、ベル少將と交代し、戰線に於て活動する米國軍隊の改造及養成に專ら努力し第八十九國民軍團、第十常備軍團及各種の特科聯隊の養成に努めたり。千九百十九年一月十五日より比島事情調査委員長に任命せらるゝ迄はシカゴに本部を有する合衆國陸軍中央局々長なりき。

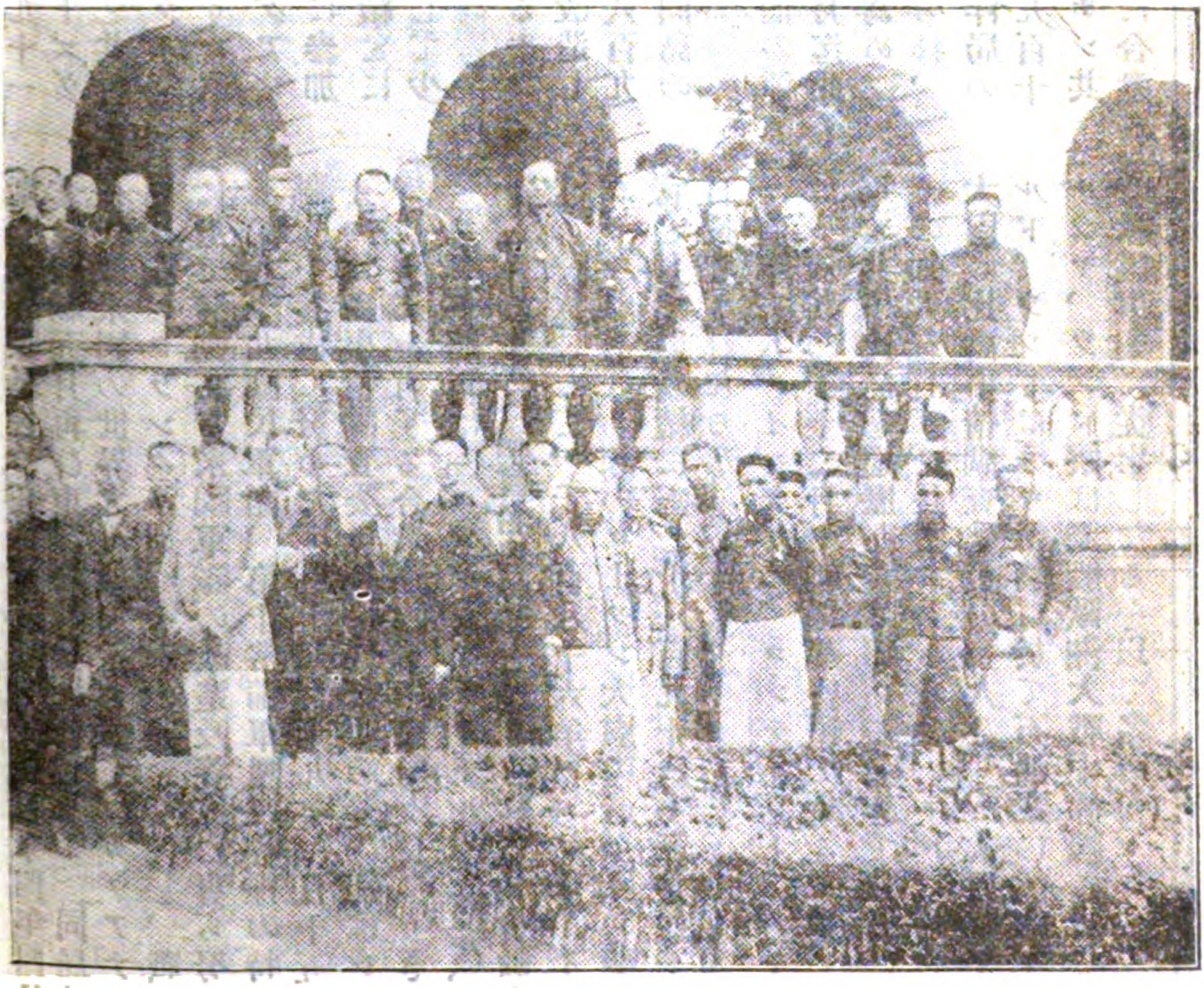
ウッド將軍は「コングレッショナル、メダル、オブ、オーナー」(國會名譽牌)を授けられたる少數人士の一人にして、千八百八十六年アパシエ、インディヤン討伐の際のローソン大尉の遠征隊の藥劑官としての功績に對し千八百九十八年三月二十九日授與されたるなり。

將軍夫人ルイシア、エ、コンデイツト、スミスは一八九〇年十二月十八日華盛頓に生る。曾て將軍と共に比島を巡歷したる事あるを以て比島に多くの知人を有す。長男オスボルン、エル、ウッド大尉は比島事情調査委員の一人なり。次男レオナルド、ウッドはテキサスに於て石油業に從事す。ルシヤ、ウッド孃は過般歐洲大戰中佛國に於て戰時救護事業に從事したるを以て名あり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總督官邸に於ける全臺詩人の茶話會

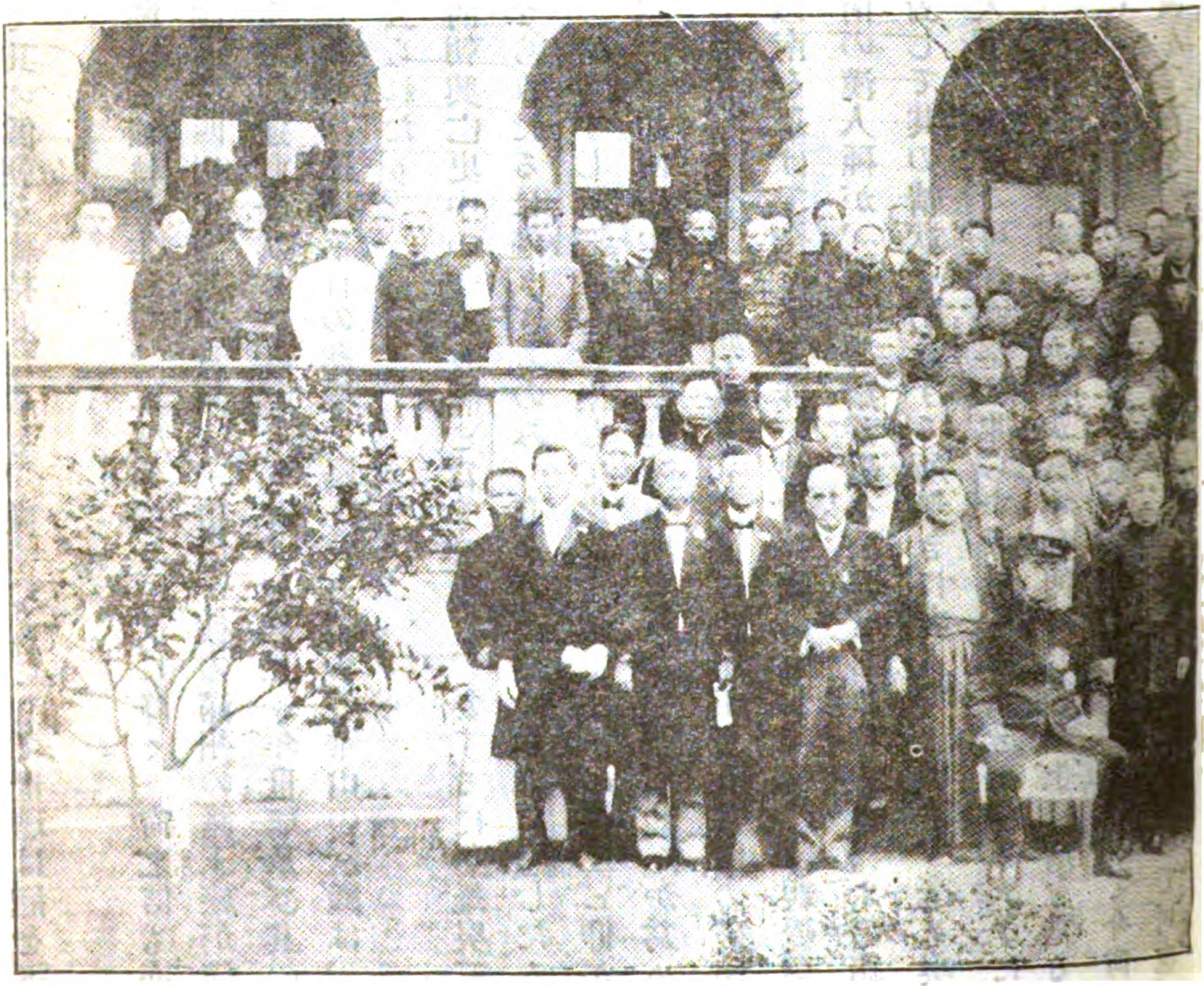
讓山總督閣下溫厚淳雅の資を以て翰墨の嗜好最も深く文人詞客を愛することは殊に厚きは既に世人の知悉する所、咸な謂ふ大雅を扶輪するは全く此人に在りと、其の遠からずして茂林修竹の勝會を催されんことは既に已に人の豫期せし所なりき。果せる哉、去十月二十四日東門街なる總督官邸に於て全臺詩人の茶話會を催されたり。先是、顏雲年、謝汝銓等諸氏全臺詩社聯合大會を發起し、檄を四方に飛はして遠く文雅の士を招き、卽ち十月二十三日を以て擊鉢吟會を春風得意樓に催したり。此日會合する所の詩人は臺北の瀛社を以て中堅と爲し、大稻埕の星社、基隆の小鳥吟社、桃園吟社、竹社、櫟社、彰化の崇文社、古月吟社、嘉義の玉山吟社、臺南の南社、之れに來賓兩三名を加へて總員八十六名、蓋し近來稀有の盛會なりき。總督閣下豫め此の大會あることを聞召され、之れを官邸に招請して臺灣風雅の爲めに聲援を與へ以て休明を鼓吹し風俗を轉移するの機會を作られたり。其の趣旨既に斯の如し、全臺詩人の面白蒐



總督官邸に於ける全島詩人茶話會參列者（其一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し之れを過ぐるは莫し。斯くてこそ當日午後三時といふに拘はらず定刻に先きたつて車を官邸に停め、服装を清ふし欣然眉を舒ふるの詩人續々刺を通じ、前日春風得意樓に集りたる全臺詩社の諸員は殆ど殘らず總督官邸に參集したり。當日末松内務、川崎殖産、吉田遞信、下瀬醫院長、齋藤稅關長、片山高商校長、池田專賣、武藤市尹、赤石臺日社長等孰れも招待に應じて列席せられ檻に倚り茶を酌み以て時の到るを待つ。蓋簪の盛未だ曾て有らざる所也。此日半晴半陰秋涼最も人に適し、林泉清輝殊に詩興を湧かさしむるものあり、爲めに金谷蘭亭の舊事を追懷して席間自から幽晴を暢叙するの感あり。斯くて讓山總督出席せられ、詩を賦して之れを衆賓に示さる。是に於て吟聲を撚る者各々榻に凭り、韻府を敲く者孰れも座に滿ち、幾くならずして珠玉案に堆し。午後四時食堂を開き是に立食の饗應あり、宴半はにして總督閣下の挨拶あり、顏雲年臺灣語を以て答辭を述べ魏潤菴之れを通譯し以て此の會を終れり。寫眞は即ち當日の盛況を撮影したるもの掲げて以て木鐸鳴盛の資に充つといふ。



(其二)　前方椅子に倚れるは田總督

璠を雲南より迎へ踐祚せしめ、洪化と改元して其の僞朝を維持したるも、幾くならずして世璠は柩を護して雲南に還れり。

吳三桂の歿後、雲南復た振はず。耿精忠は鄭經と確執を生して、再び薙髪して淸に降り。尙之信も亦た是に先つて薙髪し、福建、江西、廣東、廣西、湖南、四川、雲南、貴州の一帶は、彼の滿州の諸王族が漢滿百萬の兵を動かし、獅子奮迅の勢を以て奮鬪せる蹶起運動の爲めに蹂躙せられ、康熙二十年世璠及び其の謀將郭壯圖は自殺し、夏國相、馬寶等の猛將俘虜と爲り、孤城落日の悲境に陷りたる彼の五華山の宮殿は、是歲十月淸軍の提督趙良棟の爲めに、全く破壞し去られたり。

前陳の事實は、世に三璠の叛亂と稱して、淸朝興亡史中の一大波瀾と爲すと雖も、要するに梟雄吳三桂の自立にして、靖南平南の二璠畢竟之れに飜弄せられたるに過ぎざるのみ。其他諸英雄の之れに應したる所以の者は、剪辮反淸の好機を得たるを喜ふのみ。必らずしも三桂を尊崇して之れを以て中國の興主と仰かんとしたるに非らざる也。余は惟た剪辮蓄髪の公認が、如何に中國人の歡迎する所なるかを明にせんか爲めに、此處に之れを略述したるのみ。康熙十二年十一月を以て始めて反旗を飜へし、同二十年十月五華山の破壞に至る迄、前後通して約九箇年に亙れる間、長江以南を擧げて全く吳三桂の勢力範圍に歸し、毫も愛親覺羅氏の政令を奉せさりし所以の者、看來れた長江以南の漢人種が、單に剪辮蓄髪を公認せられたるを喜ふの結果に外ならざる也。余は此の剪辮反淸の諸英雄に對して其の情狀を酌量する所無きに非らずと雖も、毫も吳三桂の自立に同情する者に非らず。實に吳三桂は天下に王たる可き德器に非らず。然も尙辮を剪つて天下に呼號すれは、天下の之れに響應すること斯の如し。支那四百餘州の漢人種が當年如何に其の頭上に辮を垂るゝを以て男子の恥辱と爲し居たりしぞ。想ふて此に至れは淸朝の薙髪令なる者、二百年後の吾人をして今尙ほ慨然之れを久ふせしむる無くんはあらず。史を讀んて古今の治亂興敗を考ふる者深く意を此に留めて可也。

調査研究

臺灣の鐵道

鐵道部事務官　橫光吉規

(甲) 官設鐵道

一　運輸營業

大正九年度に於ける運輸營業は頗る良好にして空前の成績と稱せし前年度に比し更に優良の成績を收めたり、年度末營業哩は宜蘭線の內礁溪大里間及海岸線の內王田淸水間の開通に依り三百九十六哩となり前年度に比し二十六哩八分を增加せり、年度中に於ける走行哩は列車三百十六萬四千七百哩、車輛四千五百五十四萬七千五百哩にして前年度に比し列車は四十六萬九千五百哩、車輛は三百七十六萬三千六百哩を增加せり、旅客は千四百四十八萬五千八百人貨物は二百六十九萬四千二百噸、運輸收入は千百八十二萬四千三百圓にして前年度に比し旅客は百八十一萬七百人、貨物は九萬二千七百噸、運輸收入は二百二萬七千九百圓を增加せり各線の概要左の如し

線名	營業哩	走行哩數 列車	走行哩數 車輛	乘車人員	貨物噸數	收入 客車收入	收入 貨車收入	收入 計
本線（縱貫線・淡水線・潮州線・瑞芳線・海岸線）	三〇七・三哩	二、九一九、九五五哩	四三、〇七四、九九四哩	一三、〇八四、六二九人	二、四八三、八〇七屯	六、〇七四、六四二・七六円	五、二一三、四三九・〇九円	一一、二八八、〇八一・八五円

宜蘭線	三三・六	九一、二四二	七三七、三七二	八二七、二四七	九〇、一九五	一五七、八六五・六六	四一、九〇八・六九	一九九、三七四・三九
臺東線	五五・一	一五六、五九八	一、七三五、一三九	五七三、九一三	一三〇、一八四	一七八、八五三・〇七	一五七、九七七・一八	三三六、八二九・二五
合計	三九六・〇	三一六、四七三五	四五、五四七、五〇六	一、四四八、七八九	六六九、四八六	六四二、三六〇・四七	五四二、六九二・四九六	一一、八二四、二六五・四五
前年度比較増減	二六・八	四六九、五四六	三七八、三六二七	一八一〇、七三三	九二、六九六	一、四六〇、八一一・〇一	五六七〇五六・九三	二〇二七八六七・九四

（備考）縦貫線中基隆臺北間十七哩八分は複線なり、海岸線は大正九年十二月二十五日始めて營業を開始せり

年度中に於ては本線（本線と稱するは縦貫線、淡水線、瑞芳線、海岸線、潮州線なり以下同じ）を始め各線とも數次の水害を受けて甚大の打撃を受け又經濟界不振の影響を蒙りしも兎に角如上の成績を擧げ得たり、年度中に於ける施設としては四月一日より貨物の特定割引運賃及運賃拂戻の廢止、五月一日より旅客賃金の増加竝宜蘭線に於ける礁溪大里間海岸線に於ける王田清水間の開通等其の主なるものにして運輸收入増加の一因は又之に基くものなり、

一日一哩收入は本線百三圓六十九錢宜蘭線二十一圓一錢二厘臺東線十六圓七十四錢八厘なり

各驛中十萬圓以上の收入ある驛は臺北、高雄、基隆、臺南、臺中、嘉義、彰化、新竹、屏東、桃園、員林、萬華、新營、豐原、斗南、二水、苗栗、竹南、五堵、斗六、番仔田、鶯歌、板橋、大稻埕及田中の二十五驛にして、最高は臺北の百四十萬二千四百八十一圓三十七錢、最低は田中の十萬七千五百四十六圓八十二錢なり、之を前年度に比するに大林の一驛を減少し新に五堵、鶯歌、板橋及大稻埕の四驛を増加せり

各驛中二十萬人以上の乘降驛は臺北、基隆、臺南、臺中、嘉義、彰化、新竹、高雄、屏東、宜蘭、桃園、板橋、松山、士林、北門、北投、苗栗、豐原、汐止、鳳山、員林、斗六、淡水、萬華、南港、中壢、岡山、斗南、羅東、瑞芳、圓山、鶯歌、楊梅、竹南、新營、大林、二水、田中、後里、四脚亭、新北投、雙連、九曲堂、紅毛、樹林及花蓮港の四十六驛にして最高

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は臺北の二百八十一萬二千八百六十人、最低は花蓮港の二十萬六千九百八十七人なり之を前年度に比するに瑞芳、後里、四脚亭、雙連、樹林及花蓮港の六驛を増加せり

各驛中五萬噸以上の發著驛は基隆、高雄、臺北、臺南、嘉義、臺中、大稻埕、五堵、屛東、彰化、猴硐、新營、九曲堂、瑞芳、員林、斗南、竹南、萬華新竹、二水、壽、桃園、番仔田、八堵、豐原、田中宜蘭、後里及七堵の二十九驛にして最高は基隆の八十九萬三千七百七噸最低は七堵の五萬九百三噸なり之を前年度に比するに橋子頭の一驛を減少し新に竹南、猴硐、宜蘭及後里の四驛を増加せり

重要貨物中五萬噸以上の種別を見るに石炭、砂糖肥料、米、甘蔗、木材、煉瓦、金屬物及セメントの九種にして數量最も多きは石炭の六十七萬四千四百九十噸最も少きはセメントの五萬九千六十七噸なり之を前年度に比するに食品、土器類を減少したるも金屬物及セメントを増加し數量に於て石炭は七萬二千三百七十九噸肥料は四萬五千九百九十五噸、木材は二萬六千百二十一噸を増加し砂糖は六萬百九十九噸甘蔗は五千三百七十三噸を減せり

附　鐵道旅館

九年度に於ける宿泊人員は七百六十一人、宴會回數は二百六十六回、食事人員一萬四千五百四十九人にして之を前年度に比するに宿泊人員二百五十九人宴會回數十九回を増加し食事人員千三百十八人を減少せり

收入總額は十九萬九千三百八十六圓三十一錢、支出總額二十一萬八千百四圓四十五錢、差引損金一萬八千七百十八圓二十四錢にして前年度に比し收入は三萬八千五百三十九圓十二錢、支出は三萬五千四百十七圓八十一錢を増加し差引損金三千百二十一圓を減少せり而して本年度の補償金は二萬八千八百圓なるを以て結局營業者の利益は一萬八千一圓七十六錢なり

二、運轉機關

九年度末現在車輛數は機關車百三十六輛客車三百十一輛貨車二千三百八十四輛にして前年度に比し機關車二十三輛客車二十二輛貨車四百二十九輛を増加せり其概要左の如し

	機關車	客車	貨車

本線	一一七	二九九	二、一八五
宜蘭線	六	二五	六六
臺東線	一三	二七	一三五
計	一三六	三五一	二、三八四

營業線十哩に對する本線の平均輛數は機關車三輛八分一厘客車八輛五分貨車七十三輛二分にして前年度に比し、機關車五分二厘、貨車十三輛二分七厘を増加し客車二分三厘を減せり宜蘭線に於ては機關車二輛三分客車九輛六分貨車二十五輛三分八厘にして前年度に比し、機關車二分一厘客車一分八厘を増加せり、臺東線に於ては機關車二輛四分客車四輛九分貨車二十四輛一分四厘にして前年度に比し機關車二分五厘を増加し客、貨車増減なし

機關車運轉哩は三百五十二萬五千七百十五哩、車類運轉哩は五千九十四萬二千九百二十哩にして前年度に比し前者は五十四萬五千四百六十八哩、後者は五百五十六萬六千八百六十五哩を増加せり消費石炭一億四千八百七十六萬四千八百十四斤、消費油は八萬六千二百七十二升にして前年度に比し前者は千四百四十萬九千四百四十五斤、後者は二萬二千百六十五升を増加せり概要左の如し

	機關車運轉哩	車類運轉哩	消費石炭	消費油
本線	哩 三、二七一、九九〇	哩 四八、九九四、〇〇四	斤 一四〇、〇七五、〇三〇	升 八一、二三一
宜蘭線	九三、一八二	七〇三、五七二	二、一八〇、一七〇	一、七七五
臺東線	一六〇、九四三	一、二四六、三四四	六、五〇九、六三四	三、二六六
計	三、五二五、七一五	五〇、九四二、九二〇	一四八、七六四、八一四	八六、二七二

三　工　作

製修工作の主なるものは臺北工場に於ける諸車輛の大修繕三百四輛小修繕八十四輛、組立改造四百三十九輛、製造七十九輛、高雄工場に於ける大修繕二百四十四輛、小修繕九十七輛、花蓮港工場に於ける大修繕四十八輛、小修繕百二十九輛なり、更に諸車輛の工場出入狀態を見るに臺北高雄花蓮港の各工場を通して入出場共に六百八十一輛一日平均在場數は五十五輛二分八厘一車平均在場日數三十日一分六厘にして、前年度に比し入出場十一輛を増加し一日平均在場數十二輛七分一厘、一車平均在場數七日一分四厘を減少せり而して製修品費は二百六十六萬三千八百六十一圓四十錢にして前年度に比し百六十萬一千百七十五圓七十錢を増加し工作に要したる間接費は

十八萬七千百圓五十七錢にして前年度に比し六萬五十四圓三十九錢を增加せり

工場職工の一日平均現在人員は四十二千三百一人、其の延人員は四十二萬二百二十九人、賃金四十五萬三千四百一圓四十二錢にして前年度に比し一日平均現在人員は二百四十七人、延人員は四萬八千百二十九人、賃金は十九萬四千四圓三十六錢を增加せり、一人一箇年の平均勞働日數は三百二十三日、一人一日平均賃金は一圓七錢九厘にして前年度に比し前者は三十圓を減じ、後者は三十八錢五厘を增加せり

四　工事

九年度中に於ける建設工事は宜蘭及海岸線なり、宜蘭線は大正六年度以降五箇年の繼續事業にして枋寮線と共に起工せられたるものなり、本年度は前年度の殘工事たる礁溪頭圍間の線路引延し及頭圍石城子間土工及伏樋工事並頭圍大里間橋梁コルベルト等の建設工事を完了し礁溪頭圍間は大正九年四月二十五日頭圍大里間は大正九年十二月十日何れも運輸營業を開始せり

附屬小學主催教育研究大會に於ける末松局長の演說

猴硐三貂嶺間一哩三十鎖は九年五月に線路の引延を了したり、三貂嶺隧道工事は兩坑門口より各三十鎖の區間は大正十年二月末迄に完成し目下盛に工事を進めつゝあり本隧道は兩側とも坑內の地層複雜を極め岩質の硬軟錯綜し屢々多量の出水層に會し殊に其北側は線路勾配水平なるが故に瀦水常に脛を沒し作業困難なり隧道前後諸工事は現場地方降雨多く低氣壓の襲來每に工事手戾りの厄に遭ひたるも雨中猶作業を督勵し豫定の工事は竣工せしめたり三爪子隧道は十年二月竣工せり

枋寮線　同線は本年度豫算の都合に依り一時休止したるを以て記すべきものなし

●●●海岸線　縱貫線中山線と稱する苗栗、後里間四十分一の最急勾配は輸送上難關なるを以て之が調節の必要上縱貫線竹南驛を起點とし後壠、通霄、苑裡、大甲、清水、沙鹿等を經て縱貫線王田驛に接續する五十三哩餘の海岸線建設の計畫を樹て大正八年度以降四箇年繼續事業として經費總額一千五十五萬圓を計上し第四十一帝國議會の協贊を經て確定せり、爾來南北の兩端より起工し著々進捗せしが九年度に於ける工程概要左の如し

(一)竹南房裡間

(イ)竹南後壠間　八年度よりの繼續工事にして零哩より九哩十七鎖迄は何れも豫定の通竣功し只軌條布設、橋桁架渡竝停車場及官舍の建築を殘すのみなり

(ロ)後壠房裡溪間　線路及停車場土工は約八步通進工せり橋梁工事に在りては後壠溪橋梁徑間六十呎十連橋臺橋脚總て混凝土作りにして基礎井筒は圓形とし徑十二呎六吋深さ三十呎とせり而して井筒沈下は土木局依託の道路橋基礎を併せて其數三十四箇にして内沈下濟のもの八箇所其他は著々進工中なり、三叉河橋梁は後壠溪橋梁と同一構造にて徑間六十呎十二連内三箇所は井筒沈下を了れり、通霄溪橋梁は三十呎四連、苑裡溪橋梁は四十呎三連にして井筒コンクリート施行中なり、隧道工事は公司寮白沙屯間に三箇所あり北より數へて第一、第二、第三白沙屯隧道と稱す、構造は總て拱煉化石積側壁混凝土作とし掘鑿は地質に徵して逆法を採用せり第一隧道南口は溪谷に臨み隘路にして絕へず海岸砂丘より飛砂を送りて閉塞するを以て明捲き隧道二鎖六十節を繼足し總延長十四鎖七十節とせり、第二隧道は豫定延長八鎖五節六分近く竣功すべく、第三隧道延長二鎖八十節は全部竣功せり

(二)大肚大安溪間

(イ)大肚清水間の工事は八年度末に於て九分通を竣成し九年度に入りて鋭意工事の進捗を圖り九年四月三十日完成せり、停車場は從來の大肚驛を廢し更に王田驛を設置し順次大肚、龍井、砂鹿、清水の四驛を設け十二月二十五日王田清水間の運輸營業を開始せり

(ロ)清水大甲溪間の土工工事は九年十二月竣工せり、大甲溪橋梁は第一區第二區とし第一區各橋臺橋脚掘方及基礎工事は全體に對し各九分通基礎以上の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

部分は同三分五厘の成工にして第二區各橋臺橋脚掘方及基礎工事は何れも成工し基礎以上部分は四分通の成工なり、大安溪橋梁も各橋臺橋脚掘方及基礎工事何れも九分通基礎以上部分は三分五厘通成工せり

營業線に於ける災害復舊、補充工事、保存工事は之を省略す

五 經理

九年度に於ける歳入歳出の決算額は歳入千二百二十二萬千八百二十六圓歳出千二百四十萬四千七百四十五圓にして之を豫算に比するに歳入は八萬七千四百十六圓歳出は四萬九千二百四十六圓を減せり

特別事業費たる鐵道建設費（宜蘭線、枋寮線、海岸線）の決算額は五百七十二萬八千七百二十六圓、事業費たる線路調査費は二萬九千五百二十八圓なり其他臨時手當金、內國旅費補足金、災害費等の決算額は省略す

九年度に於ける物品賣買契約總額は金千二百四十七萬九千三百二十六圓、製作受負契約總額は金百三十九萬九千五百五十五圓、賣却契約總額は金二十萬八百三十七圓にして前年度に比し賣買契約は金六百五十萬九千四百九十圓、製作受負契約は金六萬九千二百十九圓、賣却契約は金六萬四千三百九十八圓を增加せり而して納入物品の總金額は金一千十三萬二千十八圓（內修繕費金二萬九百八十七圓）にして本島品金三百四十八萬八千四百七圓內地品金五百七十八萬三千四百四十四圓外國品金八十三萬九千百七十九圓なり之を前年度に比するに本島品は金百二十九萬五千九百五十二圓內地品は金二百二十五萬三千五百六十四圓を增し外國品は金十七萬五千六百四十一圓を減じ差引合計に於て金三百三十八萬四千八百九十八圓を增加せり、納入物品中の主なるものは本島品にては石炭、セメント、石材內地品にては諸車、諸車用品、線路用品、地金類、外國品にては地金類、諸車用品、油類、線路用品なり而して納入物品の百分率は本島品三十五、內地品五十七、外國品八の割合なり

六 職員其他

九年度末職員は專任千九百六十八人俸給月額は金十五萬三千八百十四圓一人平均月額七十八圓なり

臺灣總督府鐵道部救濟組合は實施以來既に十二年に及べり九年度末現在組合員は甲乙丙の三種を合して二千四百七十一人にして責任準備金十六萬四千百

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九十一圓危險準備金九千二百九十二圓別途積立金二萬六千百九十八圓に達せり

（乙）私設鐵道軌道

一 私設鐵道

大正九年末現在線路は營業線三百十一哩一分、專用線八百十九哩七分（内百三十七哩九分は不定期貨物線）計千百三十哩八分にして前年に比し營業線に於て三分を減じ專用線に於て十六哩を增し計に於て十五哩七分を增加せり車輛は機關車百六十四輛、客車百九十二輛、貨車一萬九百七十一輛にして前年に比し機關車十一輛客車九輛貨車七百二十七輛を增加せり、乘車人員は三百十五萬四千百四十六人營業貨物は二十七萬八百十七噸にして前年に比し前者は八萬七千六百四十三人を增し後者は四萬七千八十九噸を減せり、運輸收入は百十萬八千百五十一圓にして前年に比し十二萬四千六百五圓の增加なり、貨物の減少は經濟界の不況、收入の增加は賃金の增率に依る、鐵道從事員は三千百六十九人、俸給月額金八萬七千七百九十圓九十三錢にして前年に比し前者は二百八人、後者は一萬二千四百四十圓五十三錢を增加せり、各營業者の概要左の如し

	哩程 營業	哩程 專用	哩程 計	旅客 人	貨物 噸	收入 円	一日一哩平均收入 円
帝國製糖	18.8	54.9 ※4.4	73.7 ※4.4	41,741	77,235	168,430.01	24.53
新高製糖	40.5	45.3 ※10.0	85.8 ※10.0	53,983	38,897	134,404.47	13.15
林本源製糖	18.3	39.2	57.5	160,409	24,928	204,846.50	10.31
大日本製糖	50.0	8.0 ※65.8	58.0 ※65.8	571,059	36,693	136,698.65	11.571
鹽水港製糖	27.8	95.3 ※10.8	123.1 ※10.8	203,437	20,057	78,968.15	5.74
東洋製糖	58.9	126.4	185.3	348,873	70,841	135,536.06	9.55
明治製糖	69.5	79.1	148.6	768,954	62,688	567,105.01	10.55
臺灣製糖	39.1	191.3 ※46.9	230.4 ※46.9	232,085	77,723	105,678.76	9.761
新興製糖	11.5	3.8	15.3	33,536	440	5,205.15	1.55
臺東製糖	27.0	6.5	33.5	36,571	1,558	19,752.47	2.004
臺南製糖	—	21.5	21.5	—	—	—	—
淺野セメント	—	0.5	0.5	—	—	—	—
計	311.1	681.8 ※137.9	1,130.8	3,154,146	270,817	1,108,150.76	9.75
前年比較增減	△0.3	16.6 ※△0.6	15.7	87,643	△47,089	124,604.65	1.18

（備考）※は不定期貨物營業線 前年比較增減中△は減

私設鐵道

大年九年末軌道は五百五十哩五分（内十三哩二分は複線なり）にして前年に比し二十八哩を減せり、此の減少は主として鐵道の開通に依り撤廢したるに依る、臺車は六千

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二百八十八臺にして前年に比し七百四十一臺を減少せり、臺車使用數は三百四十五萬七千七百九十二臺旅客は四百四十四萬四千四百九十四人、貨物は九億三千七百八十八萬六千八百九十九斤、運輸收入は二百二十八萬四千七百十五圓にして前年に比し使用車數三十萬八千百一臺、旅客四十三萬三千百四十九人貨物四百八十二萬八千三百十六斤を減し運輸收入は二十八萬四百六十一圓を増加せり旅客貨物の減少は經濟界の不況運輸收入の増加は賃金の増率に依る概要左の如し

經營者		哩程	乘客（人）	貨物（斤）	收入	一日一哩平均收入
桃園軌道株式會社	×	三〇・〇 七・九	三七〇、三七〇	七五、八八一、七九〇	一八六、四五〇、九五〇	三、六八四
臺南製糖株式會社		一三・六	九五、三八一	一八、〇八七、四五八	四四、五〇四、五七〇	八、五五四
臺灣軌道株式會社	×	九七・一 六八・三	九六三、五一三	七七、〇三四、八〇〇	九八七、七〇四、〇〇〇	一〇、六八〇
大目降輕便鐵道組合		五・五	一〇〇、五〇六	三、二八七、八〇〇	一三、六五七、六三〇	一〇、五〇六
帝國製糖株式會社		一五・三	一三一、五八四	一七、四六五、五九六	五一、四一七、〇九〇	五、六六四
沈賜記		六・五	五三、〇五四	五、三三四、四〇〇	七、八七三、七九〇	五、四三四
臺北鐵道株式會社	×	一四・六 一・三	三五九、三〇七	四七、八五五、〇〇〇	一四四、三三三、六〇〇	五五、〇三六
展南拓殖株式會社		一三・三	一〇三、五三八	五七、〇四一、四五五	七七、〇三〇、六三〇	三、六九八
新竹拓殖軌道株式會社	×	二一・四 八・一	一一五、一六四	三九、八五一、八九〇	七七、一五七、四〇〇	七、一六四
宜蘭殖產株式會社		二五・七	三九六、四四四	五〇、三七七、六〇〇	二七、五四五、七四〇	一五、五四五
臺中輕鐵株式會社	×	五六・〇 七・四	七一五、九〇五	九五、四四六、六七〇	五五三、一八七、一六〇	一四、四四一
郡松一造		一三・四	七五、一〇〇	一〇、〇四九、〇〇〇	五七、一五五、八八〇	八、三〇五
東洋製糖株式會社		五五・三	四七、八七六	六、五三七、一四〇	九六、七六一、一四〇	五、四〇〇
明治製糖株式會社		一・五	四四、九一六	四五五、六〇〇	三、四五七、一〇〇	五、一五六
基隆輕鐵株式會社	×	〇・六 八・六	四六、〇七八	九六四、三四〇、八五六	五七六、七七六、七一四	八三、四三五
臺灣輕鐵株式會社		一六・五	一六五、二二八	一〇、八三六、三三七	六八、五三三、五四〇	二、四六六
楊梅壢輕便鐵道公司		五・七	五六、八〇四	四、四五一、六〇〇	一六、六六五、八四〇	八、〇三五
阿公店興產公司		七・七	六八、六六三	一、六八八、四〇〇	一五、三三四、四三〇	五、四一七
范姜新裁		五・五	二一、六七一	九、五四七、一六五	五、〇二一、八五〇	四、一八六
烏樹林製鹽公司		七・九	五一、九〇五	七、〇七五、一五〇	一五、六〇〇、五四〇	五、四五八
林圯埔產業株式會社		五・〇	五五〇	一、五〇四、八〇〇	三、五五七、五五〇	一、三六三
雲泉商會		四・四	一五、四六三	五一、五八九、六〇〇	一〇、〇五〇、八九〇	六、三五八
洪炳		〇・五	九、八一四	七一八、五〇〇	七六五、八五〇	四、一六六
王福外一名		〇・八	—	九、五二二、五六〇	四、〇四八、五六〇	一五、八六四
成福輕便鐵道公司	×	四・七 三・五	一三〇、一八七	四〇、五六〇、五三〇	五五、〇七〇、八八四	五一、〇五七
南投輕鐵株式會社		二二・四	一八、一四六	一三、〇五五、六五〇	一七、〇八五、五五〇	四、一〇六
陳復禮		三・〇	一三、一六五	一、四一七、六〇〇	一、六七五、三二〇	三、一五五
黃東茂		六・六	五六、五七四	七、五八一、〇〇〇	三二、七五三、一七〇	六、三〇一
丸田治太郎		四四・〇	三四、三五五	五、八三五、六〇〇	四五、四五〇、一三〇	一、八八八
臺灣鳳梨罐詰株式會社		四・三	五五、四九六	三、三七八、八八〇	三三、三〇三、九四〇	七、八七〇

大安軌道株式會社	七・八	四、三二二	一、九六七、九二〇	五、〇三五、六二〇	一、七六五
中龍輕便鐵道公司	一五・六	五八、九九六	七、一七五、四〇〇	二一、〇七五、六九〇	四、二三六
臺灣製糖株式會社	×三五・四 一・六	四五七、七七六	七九、〇〇四、一四四	五三三、二八七、九九〇	一六、四五五
阿緱勸業株式會社	五・六	五、九六〇	三五七、七四五	六五八、三三〇	五、七九三
大日本製糖株式會社	〇・五	一〇九	九二〇、〇〇九	四六九、六八〇	五、五七四
總計	×四〇七・五 四五・五	四、四四三、四四四	九五七、八八六、八九八	二、一六四、七一三、一六八	一一、三七七

（備考）阿緱勸業株式會社軌道は大正九年十二月一日營業開始に付營業日數三十一日間なり

輸入米國材に就て

營林所營業課長　淺野安吉

要旨―輸入米國材には三種あり―本年は日本への輸入量最も多し―米國材はその形體の長大なる點に於て臺灣檜の强敵なり―米國材はその品質に於ては日本產の類似材に及ばず―價格は格段に低く競爭力に富む―大量輸入の近因は運賃の暴落なり―最近には價格强氣配に傾く―輸入擊退には日本產材の價格低下を圖るを要す

近時米國產木材の我國に輸入せらるゝ量が激增した爲に、我國の木材相場は著しく世界化せりとは、新聞雜誌等に屢論議報導せらるゝ所である。大勢より觀れば是は動かす可からざる事實であるが、一と口に木材と言つても樹種の異なるに從ひ又同一の樹種であつても產地の異なるに從ひ各その品質、木取に相違があり、延いてその用途が區々に亘るのみならず、我國に於ては木材用途の大部分を占むる建築材料には、素木の儘之を用ひてその木肌の美を觀賞する風がある爲に、木材の使用上に嗜好とも謂ふべき一種の要素が濃厚に加味せらるゝ傾があるから、米國材の爲に被れる影響は樹種によつて、必ずしも一樣でない。臺灣產扁柏（以下臺灣檜といふ）の取引上、如何なる點に影響あるかを推論し得べき材料として、米國材に關し調査せる結果を少しく次に述べて見やう

一　米國材の種類及輸入量

現在日本に輸入せられつゝある米國材は主として米松(Douglas Fir or Aregon Pineと稱するもの)であつて、米檜(二種類ある様で我國に輸入せらるゝものはその何れなるや調査が届かないが、木材業者等はWhite Cedar と呼んでゐる)及米杉(Red Cedarと稱するもの)も可なり多量に輸入せられつゝある今、昨大正九年中の日本への輸入總數量は調査未了なれども、其の大部を占むる在シアトル太平洋木材檢査所太平洋岸木材業者組合の手を經て英領コロンビヤ、ワシントン州、オレゴン州の三箇所から日本に輸出せられた量を觀るに、七八、五五七、〇三六ボールド呎、即ち約六十五萬二千石で英國及大陸への、一四六、二六八、六三八ボールド呎、支那への、一三六、五〇三、八四六ボールド呎、濠洲への、一〇六、一一〇、九九二ボールド呎、南米西海岸への、九八、一八九、三九一ボールド呎に次いで第五位にあるが、本年に入りては一月より三月迄の輸入量に於て日本の、二五、四一七、一三九ボールド呎が第一位に上り支那の、二二、二五〇、五一七ボールド呎、南米西海岸の、一六、四三九、七二三ボールド呎、英國及大陸の、一六、二六四、九八八ボールド呎、濠洲の、八、六五〇、三四一ボールド呎といふ順位を示し、その荷動き狀態に著しき變化を來せる趨勢を察知することが出來る(在沙市佐藤帝國領事代理報告の記事に據る)而して本年中の總輸入量に就いては、正確な調査は到底行き届かないが、一般の想定は約一百二十萬石に達すべしといふに一致してゐる(米國材は現今三箇月先物の契約が行はれてゐるから九、十月の交には、大體當該年度内の輸入數量を想定することは可能である)而してその内大阪、神戸の兩港に入荷するもの、七十萬石(内米松五十萬石、米檜米杉合せて二十萬石)と想定せられ殘餘は主として横濱に入荷するもので東京、大阪の兩市場に於て最も多く取引せらるゝのである。臺灣にも最近臺北の和田材木店其の他の手で少量の移入を見た様だが、未だ市場に影響する程度には達して居ない。顧つて臺灣檜の内地移出量を觀るにその殆んど全部は營林所經營の三事業地の産出材で年度により相違はあるが、海軍工廠等直接需要者向けの分を除き、東京、大阪の兩市場仕向けを合して、平均年額約四萬石内外と觀れば大差はない(内約四分の三は大阪仕向け)此の點に於ては臺灣檜の取引上に被むる影響は意外に僅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

少である

二　米國材の木取、品質及用途

米松、米栂、米杉の三種を通じて其の木取を觀るに丸太の儘輸入せらるゝものもあるが、そは水中に長時間浸されたるものを直ちに炎天に輸送する爲、長途の輸送途中割裂、歪みを生ずるを虞れて外皮付の儘運搬するを利とするからで、かゝる必要なきものは皆荒削りの角材の形で輸入せられる。その寸法は米國で木材貿易業者が、普通 Jap. Square と稱するもので

幅	幅	長
十八吋	十八吋	二十呎乃至四十呎
二十吋	二十吋	
二十二吋	二十二吋	
二十四吋	二十四吋	

のものが最も多い其他

幅	幅	長
十二吋	十二吋	二十呎乃至四十呎
十四吋	十四吋	
十六吋	十六吋	

のものも輸入せられる。如此き長大材は從來日本の木材市場に在つては臺灣材の獨占であつて、他に比儔を見なかつたのであるが、米材の輸入に因り有力なる競爭品が現はれた次第である。元來運賃關係から言へば仕上げ材を輸送する方一層有利なるに拘らず、この Jap. Square が多く輸入せらるゝ理由は

一、厚さ六十五「ミリメートル」以上にして荒削りの木材は無稅輸入なること

二、普通木材は仕向け港の沖渡しなるを以て若し柱、板其の他の精製品に仕上げて積み出し長距離の航海の爲、割裂、歪みなど生じた場合仕出し人は荒削材に比して一層高價の負擔となること

三、仕上げ材とするときは用途が一定して何れの方面にも任意に賣捌くことが困難だが、この角材の形ならば此の點に於て彈力性に富めること

の三點に存する樣である

次に品質であるが米國材の品等區分は上物から漸次に

1. Clear　2. Select　3. Merchantable
4. Common

の大別四種ある。而して米檜に在りては Clear に屬するもの、輸入多く、米松に在つては輸入品の大部分が Merchantable に屬し少量の Common 其の他を交へてゐる樣である（米杉は輸入量も少く問題がな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いから未だ調査が行き届かない）從つて米檜と米松とを比べて見ると、啻に樹種の相違に基く品質の差異あるばかりでなく、米檜は上物米松は並物以下であるから此の兩者が日本の市場に上るときは其の間に非常の差がある譯である。臺灣檜はその形體の長大なる點に於て造船材、橋梁材、大建築材としては從來日本の木材市場を濶歩せる姿であつたが、米國材の輸入旺盛となつて以來米國材亦是等の用途に向くが爲に、近時此の兩者を取扱ふ木材業者間に於ては、その優劣に就て可なり深く研究せられつゝある様だが米松と臺灣檜とに於ては價格の點を度外視せば殆んど比較にならない様である。例へば橋梁材に用ひるにしても米松ならば防腐劑の注入を行はなければ到底臺灣檜だけの壽命を保つことが六ケ敷く一旦防腐劑の注入を行ふと此の材は建築材其の他の小割物等の資材に振り充つることが出來ないといふ様な嫌がある。元來その材質そのものが内地松よりも劣り纔に北海道松と對抗し得る程度のものであるから各種の用途に向つて臺灣檜とは餘り交渉がない様である。只米檜に在りては材質そのものが檜と對抗し得るもので、その等質にして加工容易加工後狂ひの生ずること少きこと、木肌の白きこと、内部に潜在する傷、腐れの少なきが爲に、取引上安全なること等は臺灣檜に優れるが如く木理の稍々不鮮明にして色澤鈍く日光の爲赤變し易く節の黑きこと、質の柔軟なることの如きは臺灣檜に劣るもの、様に論ぜられてゐる結局目下の所では果して品質上何れが優等なるかは俄に斷定し難く、各その長短があるから一に消費者の態度如何に依るものである。然るに初めに述べた通り木材取

附屬小學主催教育研究大會に於ける野田督學官の演説

引には我國では嗜好的色彩が强いから所謂「食はず嫌ひ」とでも呼ぶべき傾向があること、材質に對する一般的概評としては臺灣檜が尙上位に在るが爲に目下臺灣檜は餘り甚しい壓迫は受けてゐない乍併將來建築材に塗料を用ひること頻繁となり此の嗜好的要素が漸く薄らぐ樣な事になり又種々な方面に米檜が試錬を經て來ると如何なる結果を招來するか容易に逆睹し得ざるものがある。注意すべきは現今東京大阪等の大市場に出入する木材業者は價格の關係上米國材を取扱はざれば立ち行かぬ狀況で有力な同業者が盛に之を取引してゐるから供給が需要を喚起して消費者側にも意外に早くその聲價を擧げる形勢の見えることである

三　米國材の價格

本年九月下旬大阪市場に於ける米材の價格を觀ると

種類	長	徑	單位	相場
米松	二四呎上	一五吋上	立方呎	円 一、〇五〇
米檜	一三呎	二呎	同	二、〇四〇
米杉	同	同	同	一、四〇〇

で更に本年五月下旬及六月上旬の市價を觀るに

米松は一圓二〇〇、一圓一〇〇、米檜は三圓一〇〇（單位立方尺）二圓五〇〇、米杉は一圓五〇〇（五月分不明）で下落一方の形勢を示してゐる

更に又東京方面の市價を觀るに米松の本年五、六月頃相場石一三圓五〇〇同じく九月頃相場一三圓〇〇〇米檜の九月頃相場十八圓乃至二十圓を示してゐる東京と大阪とでは取引の仕方に多少の相違もあり僅少ながら兩市場の相場に開きはあるが以てその大勢をトすることが出來る。之を臺灣檜の市價本年五月下旬大阪に於ける市賣値尺〆一本平均三十一圓弱に對し米檜は二割内外高値を示して居つたにも拘らず今日に於ては反對に三割内外下値になつてゐる。抑々如此き安値を以て多量の木材が輸入せらるゝに至つた原因は

一、歐洲大陸其の他諸外國に於ける需要の減少
二、日本に於ける需要の增加
三、原産地に於ける木材價格の低下
四、運賃の低下

に歸することを得るので就中運賃の低下は其の最も直接の原因とも認むべきものであらう。昨年一月乃至三月の交にはシアトルより橫濱に至る一千ボールド呎の運賃四十弗、四月五月の交には三十五弗であつたが爾後低落して十七弗五十仙に至り本年初頭に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は十五弗三月には十二弗五十仙となり四月頃になると東洋向船腹に多大の餘剩を示した爲に日本內地の廻漕業者等が米國よりの復荷の關係上盛んに木材輸入に手を染むるに至つた。そこで船主側にも貨物の爭奪戰を惹起し一時十弗迄低下して終つた。且つ各船會社の運賃協定が破れて各自別々に運賃を定め三箇月先積みの契約に應じたから本年五月の調に據ると是等の輸入業者は五月の現在相場よりも三割安位で輸入の引合に應じて居つた樣な實狀である。此の如く木材に對しては素人である此の種の人によつて輸入せられるので所謂玄人筋は餘程惱まされたのであるが大勢は如何ともしがたく續々輸入を增した。そこで玄人筋も今日では自ら之を取扱はなければ立ち行き難き破目となつて終つたのである。然るに爾後運賃は漸騰して十二弗五十仙となり殊に合衆國船舶局が八月二十日附を以て東洋行の木材を同局所屬の船舶によつて運送することを禁止したので運賃は愈々强調となつた、この船舶局の命令は同局の引續きての損失に鑑み運賃引上げの前提として行はれたものと推斷せられ、その效果如何に就ては大分議論もあつた樣だが兎に角爾來運賃は上向きの形勢である。唯その效果は早速に現はれることは困難で本年中は先づ木材相場現狀維持と見て差支ないであらう本年五、六月の交運賃十弗の際の相場を觀るに Fir $ 30 @ 1.000 Board ft. cif. Yokohama. で資材價が $ 20 に當つてゐる。之が最近の報導によると米國木材トラストは來年一月より F. O. B. $ 22 と二弗方引上げに協定したと言はれてゐる。尙原產地に於ける資材價の消長に關しては本誌九月號所載永山事務官の調査もあるから玆には反覆しない。(山林彙報大正十年十月號にも好參考資料があるから序に紹介して置く)。如此く米國材の大量輸入は主として運賃の低下により素人筋から餘儀なくせられて此の形勢を馴致したもので之が爲に內地松の如く材質の似たものが直接に打擊を被つたばかりでなく設令材質は別異であつても用途の似通つた材は尠からぬ影響を受け生產制限による市價の維持策に餘程動搖を來した樣に見受けられる。殊に今日の如き經濟界不況の際であるから品質が少々劣つてゐても價格の割安なものを欲する實情である爲に臺灣檜の如きも此の點に於て米松材の壓迫を免れることは困難である。財界好況の當時內地造船事業殷賑を極めた際には臺灣檜

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の貢行は殊の外好況であつたが造船事業の衰微と共に今日ではその大部が建築材に向くのである。然るに日本內地の建築で極く上等普請になると矢張り尾州檜の聲價が高く、安普請となると米松の市價が格段に低い爲に昨今では都會にも地方もに盛んに之が入り込んで臺灣檜の販路を侵蝕するといふ狀況である。殊に米檜の價格が今日の如く低下した事は臺灣檜に取つては少なからぬ打擊である

四　結　論

以上述べた如く米國材はその形體の長大な點に於てその品質の等質で機械製材に好都合な點に於て、その價格の格段に低い點に於て日本の木材界に尠からぬ影響を與へた。而して此の形勢は當分の間は依然持續すべく想像せらるゝ、臺灣檜亦之が爲に多少の打擊を受けては居るが、その供給量が米國材其の他內地産材のそれに比して比較にならぬ程少量であるから現在産出量の消化上直接には大打擊はないと覩て差支ない

最近米國材は原産地の價格も强氣配に轉じ運賃も追々硬調に向つて居るが目下の處日本內地産材との間に餘りに大なる値開きがあり、近き將來に於ては米國材の方からその價格が內地材の現狀に接近する迄に昂騰することは先づ望まれない。そこで內地材の方で Wage cut 其の他の方法を以て生産費の節約を遂げ漸次その價格を引き下げて兩方から相接近するに至る迄は設令價格が上向いたとしても急にその輸入量に減少を來すべしとは考へられないのである

（終）

香港々灣の設備（上）

稅關事務官　井出季和太

（要目）本文は英領香港の港灣及海陸連絡の設備として次の綱目に依り槪說す（一）序說（二）港灣の形勢（三）繫船設備、棧橋、浮標（四）倉庫（五）貯炭場

一　序　說

香港は英國皇領殖民地の一に屬し、香港島及九龍附

馬地(約三平方哩)並に其の後方九龍半島の全部新租借地(約三百平方哩)を包含して居る。

香港島は北緯二十二度九分及十七分の間、東經百十四度五分及十八分の間に亙り廣東を去ること約九十哩、葡領澳門を隔つこと四十四哩で九龍半島の尖端と相對し、周回二十七哩、面積約三十方哩を占め、海拔一千乃至一千八百呎の片麻岩系の山丘が其の骨骼を形成して其北岸を埋立て、東西五哩間は「ヴィクトリヤ」市と云ひ、政廳會社銀行等を中心とし、之れに支那人街を併せて大都市をなし、滿山緑樹の裡に高樓綺羅海を壓し絶景恰も一大畫圖を開いて居る。

香港々は香港島の「ヴィクトリヤ」市と九龍の尖端との間にある面積約十方哩内外の港灣で、西には島嶼散在し東は狹隘なる鯉魚門水道に依つて外海に通じ風波を避くることが出來る天然の良港である、加之英國は夙に香港を東洋に於ける軍事上の根據地としたると同時に貿易の集散場として鋭意築港し來つた爲に今日人工的設備としても充分特筆すべき價値がある。

蓋し香港は英國が領有した一八四二年南京條約前には海賊の住居した一漁場であつて又領有後數年を經るも統治上の困難は想像以外のものがあり、當時の新聞紙に「天使と雖も香港に滿足を與ふることは出來ぬ」と云ふ實情であつたが、人口增加には著しきものがあり、一八四一年の人口僅かに二千餘人が一箇年を經ぬ内に忽ち一萬五千人を超え、其後蘇士運河の開通、海運業の進歩、自由貿易策の實施及各種行政の整備と同時に一方支那大平亂其他不斷の國難騷擾の結果から移住者の密集著しく、九龍半島を租借した翌一八六一年には約十二萬人(内外國人約三千人)に上り、次で其後方新殖民地を租借した翌一九〇〇年には約二十六萬人(内外國人一萬四千七百人余)を過ぎ、遂に昨一九二〇年には總て六十一萬餘人に達したのである。

次に入出港汽船の發達を見るに香港領有後一八四四年には五百餘隻十八萬九千餘噸に過ぎなかつたが二十箇年後には約十倍し、其の後四十箇年の一九〇四年には隻數は四倍噸數は十倍に近く、領有以來五十箇年に於て隻數は四十倍、噸數は百倍以上に達し、歐洲戰前に於ては二萬隻以上、二千萬噸以上に突破した、但し戰時中殊に噸數を減退したれば、戰後一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九一九年以降は其の大部を占めて居る英國船其の他外國船の入出港を增加し、昨一九二〇年には二萬一千四百九十八隻、二千百五十七萬六千余噸に上り、之に戎克貿易船を加ふれば外國貿易船の總計は實に四萬三千三百餘隻、二千四百十九萬四千餘噸に達するのである、就中英國船大部を占め日本船は一時一九一八年には增加したれど一昨年以降減退したのは戰後の大勢である、貿易額增進の趨勢は古來統計の徵するに足るものが無いに依つて前記入出港船舶に準して推量すべきのみ、元より戰前に比して戰時に於ては減退したれど戰後一九一八年以降漸次增進し一九一九年の輸入九千餘萬磅、輸出一億三百九十餘萬磅、合計一億九千四百五十九萬餘磅なりしもの、一九二〇年には輸入一億三千五百六十八萬餘磅、輸出一億五千三百六十六萬餘磅、合計二億八千九百三十四萬九千餘磅に增加して居る、而して呑吐貨物の噸數は近年約一千萬噸餘と見れば大差ない、卽ち其の入出港船舶及貿易價額は元より貨物の數量に於ても神戸又は橫濱を超過すること少くないのである。

香港は元より自然的港灣であるが爲めに人工的設備は神戸橫濱等に對して劣るものあるが、東洋に航海する各種の大船巨舶も多くは同港に寄港し平素港內に數十隻の船艦が悠然として碇泊して居るのは一偉觀である、香港は由來土地狹隘で地代高騰の上に支那內地の發達せざるがために石炭鐵等の不足の結果工業の發達を見ない、其の生命は一に海運業であつて貿易貨物を仲繼し單に同種製品を呑吐するが故に香港全體として「ブロカー」の役目を演じ來つて其の殷盛を見たのである、此點からして能く香港を形容して一種の保稅倉庫であると云ひ「手形交換所」であると稱した、例へば香港の價値を高唱して倫敦「デイリーメール」紙は「香港は世界一の港なり英國王冠の中にて最も輝ける寶石なり世界過半の「クリアリングハウス」なり若し英國にして香港を失はんか倫敦の大半は破產に瀕すべし」と迄賛し、又某支那人は「支那は英國に一の花崗岩を讓り渡し其の代りに黃金の山を受取りたり」と評したのは蓋し溢美ではないのである。

終りに蕞爾たる香港が今日の大をなした所以は何故なるか、其の主たる原因を訪ぬれば凡そ左記の如くであると思ふ。

（一）香港の地位が發展の素地をなしたること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(二)英國の自由貿易策が香港の發達を促進したこと英國は夙に香港を中心として英國の東洋貿易に覇を唱へんとして歷代聰明の總督を任命し殊に當初一八五九年迄は貿易總監の職を兼攝せしめた如くであつた、而して英國は香港を最近迄絶體的自由貿易地帶とし只今日に至り獨り煙酒の輸入税を徵して居るのみである。

(三)英國の國民性は能く勤勉にして低廉の勞働に堪ゆる支那人民を利用し共同に事業の發達を圖りたること、英國人は支那人に對しては香港に於て極端に寛大の取扱をなして居たのであつた。

(四)英國は香港に於ては印度其の他東洋殖民地に試みた實地の經驗を應用したこと。

(五)英國は香港領有前、東印度會社を經營した當時より海運界銀行業等に非凡の人物を輩出せしめ、香港を中心として活躍し、牢固の地盤を作つた、例へば香港銀行•怡和洋行•太古洋行等の支配人の歷史は香港の歷史であり香港の歷史は卽ち彼等の歷史である、彼等は支那の商業界には無冠の帝王總督であつた、香港大學教授「ミッドルトン、スミス」氏は「ジャーデンマヂソン」會社なしに東洋を想像することは不可能である、又王家の如くに特權を得た同會社が一朝にして其の聲價を失墜したならば東洋に於ける生活上の樂を破壞するに至ると言ふて居る。

(六)阿片の特許制又は專賣制に依り政費を支辨し港灣道路家屋築造其の他各種の文明的設備を完成し一方關税其の他課税の負擔を免除し又は輕減し得て同港の發達を促進し、尚戰時に於ては本國に對し軍費を支出したるが如く阿片の收入は總歲入額の約五、六割を占めて居る。

(註一)香港の地名は支那名 Heung-Kong にして卽ち Good Harbour, Fragrant Stream より來り原名は葡萄牙人の附したもので Ladrones 卽ち海賊の群が住居したる Kwantailo から起きたのである

(註二)同時碇泊船は平和狀態に復した一九一九年十一月十九日には外國貿易船のみで六十三隻九萬一千七百二噸を占め日本船は九隻米國船は三隻であつた、一九一四年以降の最高記錄を示した

(註三)香港の人口は同政廳に於て每十年一回實地調査を行ふ慣例なるが本年五月新たに人口調査を遂行した其結果に依れば總數六十一萬六千七百四十九人にして十年前に比すれば約十六萬人を增加して居る、今一九一九年八月二十九日「チャイナ、メール」に揭載したものに依つて其の種類別を擧ぐれば左の如し(括弧内は同年行政年報に依る但し同年末の結果より多し)

支那人たる市民(山丘ヲ含ム「ヴイクトクヤ市」) 二九九、四五〇(三二〇、〇八〇)

支那人以外 一三、五〇〇(一三、六〇〇)

田舍に住せる者（香港） 一五、三〇〇（一六、五二〇）
九龍（新九龍を含む） 八〇、二〇〇（八六、五五〇）
新殖民地 九三、〇〇〇（九七、一〇〇）
水上生活者 五九、〇〇〇（六四、二五〇）
計 五六一、五〇〇（五九八、一〇〇）

次に一八四一年以降凡そ十箇年を隔つ内外人人口の統計を掲ぐ（一九二一年「チャイナメール」第七十六回記念號附錄に依る）

年次	支那人	外國人	計
一八四一年	五、六五〇人	—人	五、六五〇人
一八五一年	三一、四六三	一、五二〇	三二、九八三
一八六一年	一一六、三三五	二、九八六	一一九、三二一
一八七一年	一一五、五六四	八、四二一	一二三、九八五
一八八一年	一五〇、六九〇	九、七一二	一六〇、四〇二
一八九一年	二二四、三二〇	一〇、四九四	二三四、八一四
一九〇一年	二八〇、五六四	二〇、〇九六	三〇〇、六六〇
一九一一年	四四五、三八四	一八、八九三	四六四、二七七
△一九一七年	五二一、六〇〇	一三、五〇〇	五三五、一〇〇
△一九一九年	五八四、〇〇〇	一四、一〇〇	五九八、一〇〇

△は一九一九年同行政年報に依る

商業區たる「ヴィクトリヤ」街區域のみの建物は官公署を除き間數一萬三百五十四間、其居住者約三十二萬人餘、實地調査の上は遙に多數に上るべしと云ふ。一平方哩の人口は香港一九一九年末の數を基とせば新殖民地人口及軍人等を除き一千二百八十四人となる。

外國人人口を見るに前記一萬三千五百人の中 英國人大部分を占め印度人葡萄牙人及日本人之れに次ぐ 日本領事館の一九一九年六月末調査に從へは在留邦人一千八百十三名（戸數三百三十一）で一九一八年同期に比すれば十九名の增加あり戸數は九戸減少した、過去十年間を徴するに邦人增加率は毎年五分以上なれど 同年は僅に一分强に過ぎない、邦人職業は約六十種で無職業者は十三名あつた、卽ち香港は彼の上海（邦人二萬人）天津（同五千人）漢口（同二千六百人）北京（同二千人）靑島（同三萬五千人餘）等の下位にあれども無職業者の少きは一特色で 蓋し海運に從事する者多きを注意すべきである。

二 港灣の形勢

香港港卽ち「ヴィクトリヤ」港の港界は香港島の北側と九龍半島の尖端と及靑州島(Green Island)灣竹島(Stone Cutter Island)との間に形成する海峽の自然的海港を指す、而して全港界は南は香港島の北岸、東は同島の東端鯉魚門 (Lee Munpase)の西部 Siu Chan Wan より Kungan の一端に引いた線を以て東界とし、西は Green, Island の西端より南東へ向け香港島の西角 Skihtong Tsai 迄の一線と同じく(Green Island の西端より北東に向て Stone Cutter Island の西部を過ぎ Lai Chi Tok の Torpedo Pier 迄引いた一線とを以て西界として居る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

北は九龍半島の南岸一帶に亙り其の尖端は大陸より香港島に向つて南方に突出すること約二哩半で東側に九龍灣(Kowloong Bay)がある、同灣の南東側に紅磡灣(Hung Ham Bay)を抱き東方は一見開展し最廣部は南北十二哩に亙るが鯉魚門に至つては再び兩岸相迫つて其の間は僅かに二十鏈四分の一に過ぎない、當港北方九龍半島に面する部を除き他の三面は大小の島嶼に依つて圍繞せられ風波を防ぐが爲めに「タイフーン」季の外は平素好錨地をなすのである。

港内面積は平潮時約十平方哩に亙り、約四平方哩は二十七呎以上の水深を有し最深六十餘呎に達するも陸岸に接すれば多くは二十呎乃至三十呎なれば主として二十噸級迄の汽船を繋留して居る。殊に海傍東街(Praya East)の前水面である灣仔灣(Wanchai Bay)の如きは平潮時には露出することがある爲め後述の如くに最近埋立計畫に著手した、但し九龍棧橋又は鐵道停車場地先に在る青筒汽船棧橋附近は三十二呎余の水深であつて大型汽船を繋留するに適して居る

更に港灣の區劃を見るに投錨海面は便宜左記の如くに十二區に分つて居る。

(一)自青州島　至瓦斯會社　　(二)自瓦斯會社　至渣甸棧橋
(三)自渣甸棧橋　至港務局　　(四)自港務局　至市場
(五)自市場　至ブレーキ棧橋　　(六)自ブレーキ棧橋至海軍工廠
(七)自海運工廠　至青屋　　(八)自青屋　至東端
(九)自東端　至ケレツト島　　(十)自ケレツト島　至北端
(十一)ジャーデン棧橋　　(十二)青筒汽船會社棧橋

前記(一)より(五)迄は一般貨物船の錨地とし(六)及(七)は海軍錨地とし(八)は石炭船の錨地に指定して居る、危險物積載船の錨地は港内に存せずして外海に碇泊することに定まつて居るが酸類の如き商品を積載する船舶は特別許可を得ば港内に碇泊することが出來る。

更に船舶の航路別より碇繋の區劃を分てば、歐洲船及米國船は九龍棧橋及中央沖合に西貢・盤谷・新嘉坡及蘭貢船は「ウイストポイント」に、甲谷陀・孟買船は九龍棧橋に、甲谷陀航路船中「ブリテイシユ、インヂアン」船は渣甸棧橋又は中央沖合に、海防・東京船は多くは上環中央沖合に、麻尼剌船及天津船は中央沖合に碇泊するのを最近の例として居るのである。

戎克船其の他小船の避難錨地としては香港側にては港東部銅鑼灣(Causeway Bay)の防波堤内竝に港の西北部灣竹島の對岸油蔴地の附近 Mong Kok Tai 九

龍七角咀と稱する海面防波堤内の水面を充て、居る要するに香港港附近には暗礁又は淺瀬等少きが爲に船舶の出入には比較的安全であつて假令前述の如くに東方の鯉魚門水道は幅員僅かに四分の一哩に過ぎないが潮流は急激でないから入出港に困難を感ずることがなく且つ港内は平素靜穏にて雨天又は曇天でない限りは夜間と雖も比較的光明で船舶又は浮標等を發見することが出來る、尤も三、四月頃から六月頃迄は時々海霧あり、六月末から十月頃迄は往々强烈の颱風が襲來するを常とし、船舶の入出港に困難を來し荷役不可能に陷ることあれども其は一箇年に二三回に過ぎないのである。

同港灣の大潮昂降の差は約六呎乃至九呎で潮流は鯉魚門青島間航路及港内に於て速力約二三節である。

（註一）前述の如くに港灣一般は尙水深比較的淺く大船の自由碇泊に充分でないに依つて香港經濟調査會委員の意見に從へば將來多くは三十五呎に浚渫し九龍尖端冲を深くし北航路及中央航路の西端を浚泥し大浮標を設置し且つ香港々の西端 Stone Cutter Island 附近には吃水三十呎以上の巨船の碇泊處を增置し又現在軍艦碇泊處は吃水深き船舶の繫留所として頗る好適なるが之を九龍灣に移轉するは最も望ましきことである。

三　繫船設備

香港には繫船設備としては海軍船渠及大古並に黃浦船渠等の岸壁を除き他に見るべきものがない、依て左に棧橋及浮標を擧ぐることにする。

第一　棧橋　香港側の陸岸には花崗石を以て築造した小規模の三十有餘の棧橋がある、九龍側には大船を繫留するに足る九龍倉庫會社及大古汽船會社に屬するものが數個ある、後者は大貨物の積卸に適し「エムプレス」の如き大型の航洋汽船を横附し、棧橋上には軌條を布設し貨物は臺車に依つて授受して居る前者は政廳設置の二三棧橋の外に多くは私設に係り沿岸航路及河船所屬の專用に供し、後者の如くに公開して居らぬ、多くは有蓋で雨天貨物の積卸又は船客の昇降に極めて便宜である繫船棧橋の重要なものを表示せば左の如し。

名稱	長（呎）	幅（呎）	水深（呎）	起重機	最大起重機（噸）	潮流	綫路數	所有者	備考
九龍倉庫棧橋一號	五〇〇	四五	二五	一	一	緩	六	九龍倉庫會社	
同　二號	四七七	四〇	二七	一八	二〇	同	六	同	
同　三號	五六九	五〇	二八	一	一	稍急	六	同	
同　四號	六二	六四	一	一	一	一	一	同	丁字型トス
同　五號	六五七	五一	三〇	一	一	同	六	同	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大古汽船棧橋	六〇〇	四七〇	三二	一	五 同	—	大古汽船會社
同	一二〇	四〇〇	三三	一	三三 緩	—	同
同	一二〇	四〇〇	三二	一	二六 同	—	同
同	五〇〇	四〇〇	二五	—	—	—	同
ドーグラス棧橋	三六〇	三〇〇	一七	—	—	—	「ドーグラス」會社
大阪商船會社棧橋	四五八	四五	一八	—	—	—	大阪商船會社
廣東汽船會社棧橋	五五六	六六	一九	—	— 緩	—	香港廣東澳門汽船會社
招商局碼頭	三〇〇	三二	一五	—	— 同	—	招商局
美孚棧橋	一〇二	一一七	一七	—	— 同	—	「スタンダート」石油會社

今後築造すべき新棧橋は埋立の部に述ぶ

第二浮標●● 從來私有の浮標、六十有餘個の外に海軍用浮標三十個ある、一九一五年より一九一六年一月に亙り政廳は私有に係るもの丶買收を了し其の標識及料金に關し同二月十一日の官報を以て左の如くに布告したのである。

(一)官有浮標は總て紅色を以て官有浮標とGovernment Buoyと記し黑色を以てA、B、又はC字を記す

(二)A級の浮標は長さ四百五十呎乃至六百呎の汽船に使用す、B級の浮標は長さ三百呎乃至四百五十呎の汽船に使用す、C級の浮標は長さ三百呎又は其の以下の汽船に使用す

(三)官有浮標の使用に對しては左記の料金を徵す

A級 一日又は一日以内に對し 八弗
B級 同上 六弗
C級 同上 四弗

(四)港務局長は自由裁量に依り官有浮標一箇月の料金を二十一日分より少からざる率に定め貸與することを得、月極借受人は之を更に第三者に貸與することを得ず、而して同浮標を現に使用し居らざる場合には港務局長は他の船舶に對し一時之を使用せしむることを得 (Merchants Shipping Ordinance 1899.: 1916) 前記浮標は總て五十個あり其の中、A級十一個、B級十五個、C級二十四個とし、一般船舶を繫留せしむ、其の多くは港内中央部に在り、一部は灣仔沖及ウイストポイントに在るのである、海軍浮標は海軍工廠前面及九龍半島西方の海軍錨地に在つて英國軍艦及外國軍艦の繫留に充て居る、

(註)浮標の收入は一九一七年に六一●一五六弗、一九一八年に五九●五九四弗、一九一九年に六九●四四〇弗あつた。

四 倉庫(貨倉)

倉庫が港灣設備中重要缺くべからざるもの丶一に屬

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

することは疑なきが特に香港に於ては東洋の大仲繼港として一箇年約一千萬噸餘の貨物を呑吐するは一に其の力に依るが如く卽ち倉庫業の發達に依つて香港が今日の大をなしたと稱することが出來るのである、香港の主たる倉庫は英人經營の二大倉庫棧橋會社に屬するもの及支那人の經營する十數個の貨倉なるが尙ほ外に汽船會社專屬のもの及香港置業株式會社其の他私有に屬する賃貸倉庫數個が東方灣仔方面に散在して居る。

今日の香港に於ける倉庫能力は九龍方面を合せば優に七十萬噸を越ゆるの盛觀を呈したのであるが、抑々其の濫觴は同島領有當初に在り、彼の一八四二年に「ジャージン」博士及「マヂイソン」氏は其の商會の本據を廣東より香港に移し「エースト、ポイント」の邊陲一海角を買ひ取り「スクナー」や其の他小舟の曳揚又は修理の目的を以て先づ倉庫住家及船臺を作つたと云ふ (P. A. Middleton Smith, The British in China P. P. 189-190)香港現在の倉庫を大別すれば九龍側と香港側とに分たれ後者は西は西營盤に在るものと東は灣仔に在るものとあるが大規模のものでない、反之前者は後者と異り家屋が密集しないので敷地廣大である、殊に二階以上の建物多きが故に其の收容能力が大であることは注意すべきである、就中九龍倉庫會社の設備帶は自ら倉庫街を形成して居る、以下各倉庫の狀況を述ぶることにする。

一 九龍側倉庫

第一 九龍倉庫會社倉庫 (Hongkong and Kowloon wharf & Godown Co.'s Godown)香港九龍碼頭及貨倉公司貨倉九龍倉庫會社の倉庫は大部は香港島の對岸九龍半島の尖端に在り、其の分庫は同島の西部西營盤及香港の東部灣仔に在り、同倉庫の創設は殆んど香港の開港と同時であつて同港港勢の開展は同倉庫に負ふ所が多く、故に其の發達は香港の革命であると云はれて居る、當初は個人經營に係り一八八五年始めて倉庫としての形式を備へ、當時 Hughes, Chanter 兩氏に依つて組成せられた際には僅かに現在の第一第二倉庫及第一棧橋のみであつて一八八七年漸く株式組織に改めた、同倉庫は香港に集散する貨物の大部を收容し其の位置は港域の中央に在り、附近一帶水深最も深く九廣鐵道の終點に近接し水陸貨物は地理上自ら同倉庫に吸收せられ又狡黠なる支那人を相手として安心して入出貨の處理をなして居るのは其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の特色とする、殊に同倉庫は各船會社と一定條件の下に所謂 Free Storage Godown, System の契約を結び、主たる船會社所屬船の載貨は必ず一旦該倉庫に藏置し荷主は其の貨物を寄託し毎日埠頭に繋留し貨物の積卸をなす船舶は三四十隻に上つて居る、貨物の種類は米糖の外に雜貨綿布及酒煙草阿片等の特殊商品迄殆んど包含して居る故に同倉庫の利益も少なくない、例へば一九一九年の營業成績を掲げば左の如きものがある。

資産の部		負債の部	
純益金	八九九・一七九弗	株主配當金	六〇・〇〇〇弗
前期繰越金	四〇・五二四弗	減價償却資金	一五二・七九七弗
計	九三九・七〇三弗	計	九三九・七〇三弗

現在の資本金は三百萬弗（一株五十弗六萬株全部拂込濟）とし近年の配當は六分乃至七分である、以下倉庫會社の内容を敍說せんに、

A貨物收容能力　一九一九年の調査に依れば同社所有敷地は九四三、四七九平方呎（約二萬七千坪）で現に使用の分は八八二、九九二平方呎（約二萬五千坪）を占めて居る、其の建物は本倉庫のみで二十八棟（五十有餘號）收容能力二九一・〇四一噸である（米一噸を五十三立方呎とすれば二一九・六五三噸を藏置することが出來る）分庫としては香港側の西營盤及灣仔にあつて前者は八〇・三四五平方呎にして第一號より第十號迄とし砂糖及麥粉を藏置し六八・九一七噸に達し後者は石造平家一棟を鐵の倉入れのみをして居る（因みに九龍倉庫は構造堅牢にて床一坪當普通四〇〇噸新設の分五〇〇噸迄の重量を積載するに足ると云ふ）

B倉庫の種別

（一）普通倉庫（General Godown）

普通倉庫とは阿片・酒・煙草等の特殊品及有税品以外の一般貨物を藏置するもので更に左の如くに分たれる

（イ）普通品倉庫（Non Hazardous good's G.）は凡て危險品以外の貨物を庫入する倉庫で附表に掲げたるが如く例へば主として綿絲類を收容する第一號乃至七號其の他九號、第十六號、第十九號乃至二十一號、第二十三號、第二十八號乃至三十一號、第四十八號、四十九號、五十一號等大部に亙つて居る。

（ロ）特別危險品倉庫（Extra Hazardous good's G.）は危險の程度最も濃厚の貨物を收容する倉庫で例へば九龍側の第八號、九號、十七號、二十四號、四十七號五

十號B・E・D其の他西營盤の一A、六A號等である。特別危險品中には炭酸瓦斯酸類鹽類鹽酸加里爆竹燐寸硝石硝酸曹達酒精等の如きものを含み就中罐入酒精の倉入れは可能なれど其の函入は貯藏最も困難で別に油麻地の三益倉庫に藏置して居つたが昨年二月十四日出火の後は九龍倉庫に收容すべきものなきに依り艀積の儘に存置するか又は他に藏置場を指定すべきである、蓋し今日其の倉入に適し得べき場處は油麻地の謙利行倉庫（Henly & Co.）のみであるが其の收容能力は僅かに三百函に過ぎないのである。

（ハ）危險品倉庫（Hazardous Good's Godown）は危險の程度前者に及ばないが尚普通品と併置することの出來ぬ貨物を收容する倉庫で例へば九龍側の第十四、十五、十八、二十五及二十七號、西營盤の第十二、十三號である。同品中には晒粉樟腦蠟燭比麻子油炭棉花麻蓆「ペイント」油松脂硫黃タール木柚等を含むのである。

（二）特別倉庫（Special G.）

（イ）保稅品倉庫（Bonded G. G.）は阿片煙草及酒類の如き有稅品の輸入稅未拂品を收容する倉庫である。

（註）保稅倉庫には普通保稅倉庫（General Bondedwanhouse）及特許保稅倉庫 Licensed Wanhouse）の二種あり前者は倉庫會社の所有に係り（Government-in Council）の承認を要し後者は個々の私有倉庫につき特別に許可せらるゝものて總督承認の下に海 監督署長の特許を受くるものである

（ロ）爆發物倉庫（Dangerous G. G.）は爆發物中獨り（カーバイト）を藏置する倉庫で其の收容數量は十二噸半に限つて居る。

（ハ）木材貯藏場（Tinberyard）香港には大河川なきが故に淡水貯藏の便なきを以て木材の藏置上最も困難を感じて居る西貢、盤谷方面よりの（チーク）材及び米國材の如きも悉く海上に貯藏せざるを得ざる情況である、故に九龍倉庫內の廣場は此の目的の下に使用して居るが重量大の木材貯場としては寧ろ狹隘に失する。

（ニ）貨物藏置通路荷造不完全の危險品は通路（Passage）を藏置場に充て野天の儘に函入酸類などを貯藏して居る

（ ）附屬設備

（一）棧橋は九龍倉庫會社の分は九龍側に五台、香港側に一台あり、九龍棧橋の繫船料は一回六十弗として居る前者の寸尺、其他に就いては旣に前に揚げた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

故に茲には之を省略する

(二)其他陸揚設備は艀及起重機である、會社は艀船八十三隻一萬噸以上を有して居る、其の種類は左の通りである

(イ)艀及曳船會社所屬の艀にて荷主及船會社の使用に供するもの左の如し

鋼鐵製有蓋艀	重量噸	一五〇―二五〇噸	五隻
木製	同	一〇〇―二〇〇噸	三隻
無〃蓋艀	同	五〇噸	六九隻

外に曳船用小蒸汽船八十數隻を備へて居る

(ロ)起重機同會社所屬のもの能力は左の如し

十噸及至十五噸のもの	一臺
二噸同五噸のもの	一〇臺

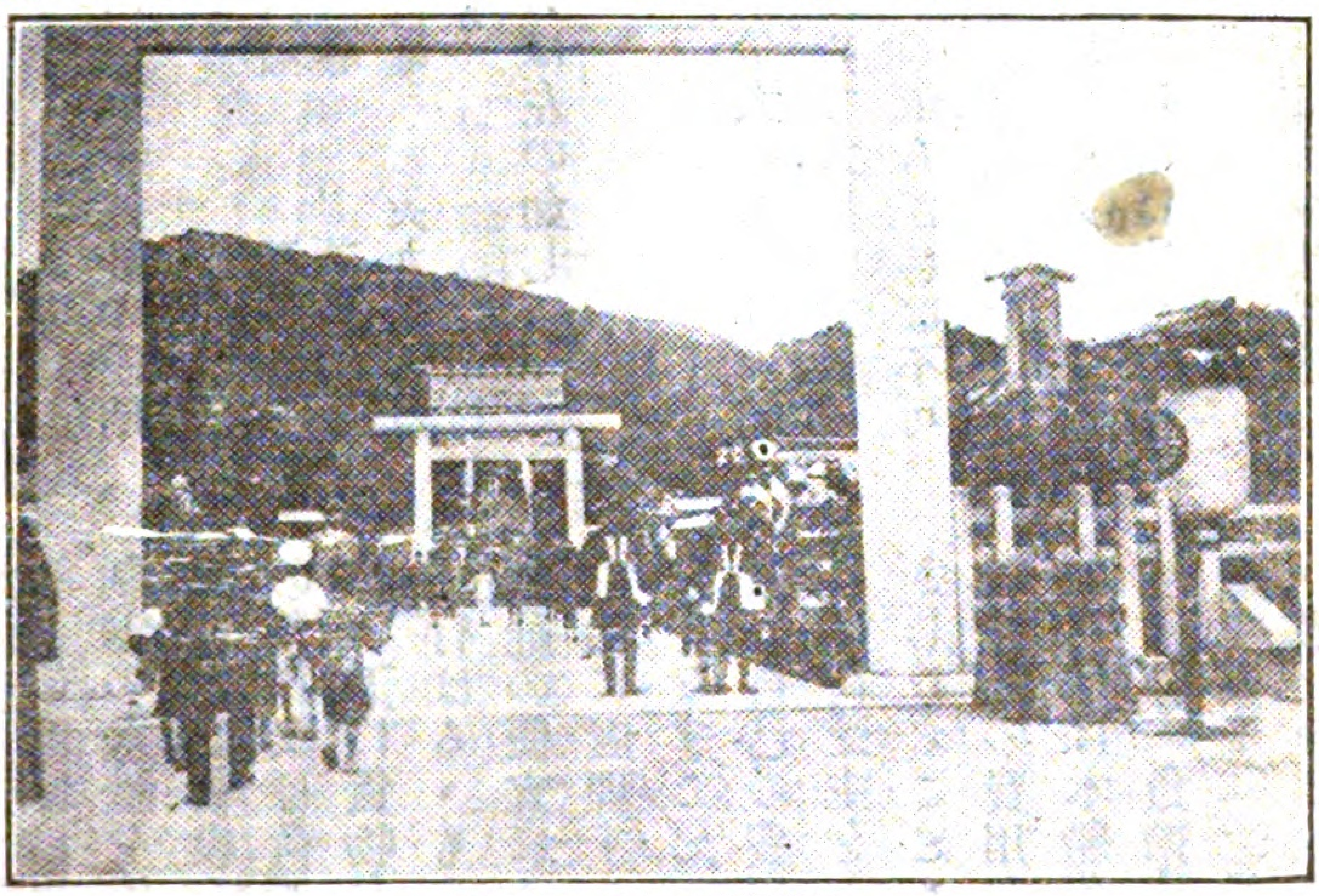
悉く小型の起重機に限るが爲に重量大のものは本船の起重機を利用して居る、但し極めて大量の貨物の處理は海軍其他船渠に屬するものに依らざれば不可能の狀態である、船艙よりは二十五噸を曳き得る ster-er legs と起重機とを利用し假倉庫の庫入には上層を接して貨物の置臺を造り各室へは斜路に依つて移して居る

D. 庫入及荷役　香港の各船會社は一部は各自專屬の倉庫を利用すれど英、米、日、其他の大會社は多くは九龍倉庫會社の倉庫を使用し同會社とフリー、ストーレージ、ゴーダウン、システム Free storage Godown System の契約を結んで居る輸出入手續上倉庫と荷役との關係は又重要なる事項の一なるが故に左に該制定の大體を述ぶることにする、該制度は船會社の爲に本船荷役を迅速ならしむる必要よりして船會社の費用又は荷受主の危險に於て荷卸し一週間特別條件の下に貨物を藏置し多くは航洋汽船の貨物に對して行はるゝものである、更に分說すれば卽ち(一)船會社の便宜によるものなれば必ずしも其の貨物を同方法に處理するを要せず例へば荷受主に於て自己艀取をなすことが出來る、又或は船會社が特別事情に依り自己の費用を以て庫入することを欲せざるときには荷受主をして其費用にて本船側に於て艀取をなさしむることも出來る、但し棧橋荷役の場合は必ず船會社の費用を以て庫入するものとしてある(二)其の目的は本船荷役を迅速ならしむる必要に基く故に船會社の負擔する費用は艀賃水地賃及一週間の庫敷量である(三)船會社の負擔するは本船入港後七日間の庫敷料であるが故に七日以内に荷受主は之を本倉庫に庫移することを要する、若し同期間を經過せば

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

高率の庫敷量を支拂ふことになる(四)同七日間以內は荷受主の危險に於て庫入する、此種倉庫に庫入中は荷主は本船內にあると同一なれば荷損紛失等の危險負擔は船會社にあれど火災其の他偶然の事故に對する危險負擔は荷受主側にある、故に荷受主は此の場合は適宜擔保の方法に出ることを要する(但し火災の危險は普通海上保險に於て陸揚後の擔保條項があるから足るのである)(五)本制度は主として大洋航行船のみに行はる、故に他の南支沿海航路、佛領印度支那航路等の船舶に對しては實施されて居ないのである。

次に船會社の損害に對する責任の限度を見るに三十有餘の會社の多くは十萬弗見當なれど、日本郵船會社及大阪商船會社各自五十萬圓である、其の他二三十萬圓乃至五十萬圓內外のものが少くない。



臺灣神社祭日の參拜者

九龍倉庫會社の倉敷料其の他業務の大體は他の各倉庫會社の標準となるので得意の船會社其の他常客に對して前記の如く特別契約を結び庫敷料又は苦力賃は一般に低率である、其料金及營業方法等の詳細は最近本年一月一日同會社發行の案內靑書に讓るも左に營業時間を擧ぐることにする。

營業時間は日曜の外は午前七時より正午迄及午後一時より五時迄である、特に交涉せば下記例外を設く(一)日曜は普通日と同じく(二)夜業は午後六時より十時迄及午前零時より六時迄として居る、但し事務の受付は午後四時迄である。

●第二　大古貨倉藍烟通輪船貨倉(Holtts Wharf) 本倉庫は九龍倉庫會社の設備に次ぐ大仕掛の倉庫で九廣鐵道停車場の地先半島の南端「ブラックヘッドポイント」に設立せられ當地大古洋行 (Butterfield & Swire) に專屬するが餘地あ

る場合には一般荷主の寄託をも引受く、但し其の地位は商業中心地に遠かつて居るが故に一般荷主の倉入を申込む者は少ないで自ら主として青筒船(アリコトフアンネル)積の貨物を收容して居る。

本倉庫は構造に於ては九龍倉庫會社の倉庫に優つて極めて完備して居る、而して其の收容能力は左表の通りで總計二七七・五〇〇平方呎三〇・〇〇〇噸に達する

名稱	構造	建物敷地面積(平方呎)	收容能力(噸)
第一號	鐵筋四階建	四九、〇〇〇	五、〇〇〇
第二號	同	四九、〇〇〇	五、〇〇〇
第三號	同	四九、〇〇〇	五、〇〇〇
第四號	同	四九、〇〇〇	五、〇〇〇
第五號	「レインフオースド、コンクリート」五階建	三八、〇〇〇	四、〇〇〇
第六號	同 二階建	一五、〇〇〇	二、〇〇〇
第七號	同 同	一五、〇〇〇	二、〇〇〇
第八號	「クーチングシイツド」鐵造平家、二階建	四、五〇〇	一、五〇〇
第九號	危險品藏置鐵造二階建	四、〇〇〇	〇、五〇〇
計		二七七、五〇〇	三〇、〇〇〇

附屬設備としては前に述べた如くに廣大の棧橋は二個あり長さ四百五十呎に達し青筒大型船は自由に横付することが出來る、各庫に昇降機が裝置してある。

但し棧橋及埠頭には九龍倉庫の樣に軌條なきが爲に大量貨物の搬入出には稍不便である、而して本倉庫にも荷物專用の鐵製艀十六隻及完全の曳船三隻を備へ又貨物轉送の請負業をもなして居る。

尚同會社は九龍倉庫と同じく酒類等を藏置す政廳の認定した保税倉庫を有し又砂糖條例一九〇四年第十四號に準據して同品貯藏の倉庫をも有し九廣鐵道と連絡を保つて居る。

・・・・・・

第三　油蔴地の倉庫

油蔴地は九龍倉庫所在地の北方東海岸の遠隔地に在つて概して大倉庫なく大部支那人々家を倉庫兼工場に充當し我邦の假置場の如くに利用して居る、艀の便も悪しく大量貨物の藏置に適しない、主として皮類牛骨獸毛等を庫入し、之が精製に使用して居る、左に各倉庫に就て述べる。

(一)A貨倉香港土地埋立會社　本倉庫は海岸「トタン」葺平家建で雨漏濕氣波浪浸入等の危險あるが故に普通貨物の庫入に適しない、三井物産會社は安南鹽を藏置する爲に從前九龍會社より之を一時借入れたることがあつた、木材鐵材を收容して居る、庫敷料は月極五百弗見當で收容力は二二〇〇噸である

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(二)合益貨倉(所有者瑞記)　本倉庫は海岸通りに在り新築煉瓦造二階建て第一號乃至第四號に區劃し雜貨類は元より總ての貨物の庫入に適し第一號第二號は瑞泰工廠に貸與し Redwood の倉入れに使用して居る第三及第四號は借主不明である、其の倉敷料は百五十弗見當で收容力は八二〇噸である。

(三)瑞香園貨倉　本倉庫は廣東路に在つて支那人家屋を充當し主として牛骨を藏置して居る收容力は一六〇〇噸である

(四)巨福倉　本倉庫は同じく廣東路の人家を充て平家煉瓦造で第一乃至第四號に區劃し貸倉を目的として居るが海岸に遠き上に支那人家屋中に在れば危險も多く借主は主として羽毛及牛皮の倉入をなし又其の精製選擇をして居る倉敷料は五百五十弗見當で收容力は一・六四四噸である。

(五)三益貨倉(所有者瑞記)本倉庫は從前九龍倉庫會社が借倉し主として函入酒精等の特別危險品の倉入に使用して居たが一九二〇年二月十五日の火災に依り再び煉瓦造三階建を新築し美和公司が借入したと云ふ、最近在庫品なけれど共同社所有船の積載する貨物又は轉送貨物を倉入して居る倉敷料は三百五十弗とし向ふ三十箇年の契約收容力は一・九五三噸である。

(六)漢山貨倉(Pacific Mail S. S. Co.)本倉庫は廣利洋行貨倉(Mond Kot)の海岸に在る煉瓦平家建で同社船の轉送貨物のみを倉入れして居る其の他在庫品は不明である收容力は各倉六七六噸である。

(七)成興貨倉(所有者成興)　本倉庫は煉瓦造平家建で主として羽毛の精製竝に之が倉入に使用して居る收容力は一・二六三噸である。

(八)益昌貨倉　(Akwai & Co Godown)本倉庫は海岸に在る新築煉瓦造であるが貸倉なるや否やも不明である、收容力は一・一五〇噸である。

(九)謙利行貨倉(Henly & Co Godown)　本倉庫は海岸支那人家屋を以て充當し煉瓦造二階建で四區劃に分たれ專ら函入酒精の庫入のみに使用し、而して現時は同行の酒精に限つて居るが今後は一般の函入酒精をも倉入れにも應ずると云ふ。倉庫に附屬した物置場があつて空ドラムを搬入して居る收容力能力は一區劃一千函なれば二階共全部では八千函に達するのである。

前に述べた通りに九龍倉庫は三益貨倉を借りて酒精

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の倉入をしたが火災の結果將來は或は同倉庫を使用することゝなるべしと云ふ、

要之是等倉庫は其の位置が遠隔である外に海岸遠淺なれば滿潮時に非れば艀船を横付することも出來ないのである。

二　香港側倉庫

第一　西營盤・堅尼泥方面の倉庫

西營盤(West Point)は市の西隅に在る支那人商業の中樞地で倉庫に櫛比して居る、殊に米糖麥粉等の大量貨物は從來當地に於て取引せらるゝ慣行がある、故に自ら是等商品は該方面に在る倉庫に庫入して居るの情態なるに依つて當地方の倉庫は九龍倉庫に亞ぐ重要の設備である殊に均益貨倉(China Provident Loan & Mortgage Co.)の如きは其の最も著しいものに屬するのである。

(一)均益貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建で四棟に分れ主として米糖麥粉の庫入をして居る、收容力は三六・五四〇噸である。

(二)九龍貨倉　本倉庫は九龍本倉庫の分庫で海岸 Connaught St. に在る煉瓦造二階建で一號乃至十號に區劃され、主として米糠麥粉等を庫入して居る。

(三)輪船招商局貨倉(China Merchant S. S. Co.)本倉庫は煉瓦造二階建一棟で主として近海航路に從事して居る、同社所屬船の貨物を庫入し時としては一般貨物の庫入をなして居る、收容力は九三二五噸である。

(四)中國康平人壽貨倉(China Insurance Co.)本倉庫は煉瓦造二階二棟で其の一棟は福泰祥に貸與して居る、收容力は五・〇四〇噸である。

(五)公安貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建二棟で主として米糠を庫入して居る、收容力は九・八四〇噸である。

(六)源々貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建一棟で同じく米糠の庫入れに使用して居る、收容力は九・〇〇〇噸である。

(七)大古貨倉　本倉庫は大古洋行の經營に係る煉瓦造二階建一棟で三區劃に分たれ主として China Navigation Co. の沿海航路の貨物を庫入し、又時に一般貨物の庫入れに應じて居る、收容力は九・二〇〇噸である。

(八)西海貨倉　本倉庫は乾泰隆行の所有にて煉瓦造二階建であつて二區劃に分たれ同じく米糖の倉入れに使用して居る、收容力は一〇・三一〇噸である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(九)普安貨倉　本倉庫は煉瓦造三階建一棟を三區劃に分ち米及雜貨を倉入れして居る、收容能力は一三四・七五〇噸である。

(一〇)和隆貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建一棟で同じく米及雜貨を庫入して居る、收容能力は八・四三七噸である。

(一一)西榮貨倉　本倉庫は陶園酒店の階下を以て充當し貸與して四區劃に分ち米糖及雜貨を庫入れして居る、收容力は三・八一九噸である。

(一二)China Vegetable Co. G.(所有者葉中安堂)本倉庫は金陵酒店の階下を以て充當し貸與して居る主として野菜類を庫入する收容力は六四九噸である。

(一三)均益分庫　本倉庫は煉瓦造平家建四棟を麥粉及雜貨を庫入して居る收容力は一・九〇〇噸である。

(一四)遂億貨倉　本倉庫は煉瓦造三階建一棟で廣順・興元發行に貸與し主として米を庫入して居る、收容力は七・四三八噸である

(一五)昌言行貨倉　本倉庫は煉瓦造平家建一棟で同じく米を庫入して居る收客力は三・〇三六噸である。

(一六)恰和泰貨倉　本倉庫は煉瓦造平家建で米及雜貨を庫入して居る、收容力は四・五〇〇噸である。

(一七)寶文洋行貨倉　本倉庫は石造二階二棟で主として米の庫入をして居る、收容力は六・五〇〇噸である。

(一八)大有豐貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建一棟で同じく主として米の庫入をして居る、收容力は三・〇四〇噸

(一九)同孚泰永興永安公司元成發貨倉　本倉庫は大有豐貨と人家との間に在る私設のもので各自專屬の貨物を庫入し同孚泰の如きは其の販賣の安全燐寸を藏置して居る、收容力は六・五〇〇噸

(二〇)同益貨倉　本倉庫は海岸通に在つて煉瓦造二階建一棟で二區劃に分ち、主として米を庫入して居る、收容力は八・七〇四噸

(二一)海興長貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建で從前は漢山倉と稱したことがあつた、主として米を庫入して居る、收容力は七・六一六噸

(二二)漢濱貨倉(所有者招貯)　本倉庫は煉瓦造二階建で同じく米倉に充てゝ居る收容力は七・三九八噸

(二三)東洋汽船會社倉庫(所有者新中和)　本倉庫は煉瓦造二階建一棟で主として同會社船舶の貨物又は轉送貨物を庫入して居るが今後其の他一般貨物の收

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

客にも應ずると云ふ

(二四)寳興泰貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建二棟で米倉に供して居る收容力は四•三五二噸

(二五)和隆貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建一棟で元成發添和成に貸與し雜貨及米を庫入し又香檀木をも藏置して居る。

(二六)成昌貨倉　本倉庫は煉瓦造二階一棟で主として米を庫入し昨年三月三井物産會社は西貢長粒三•九一〇俵を庫入れたことがあつた收容力は五•二二二噸

(二七)茂豐貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建一棟で三區劃に分ち主として米及麥粉を庫入して居る、收容力は三•〇三六噸

(二八)泰順間貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建一棟で米及雜貨を庫入して居る收容力は三•〇四〇噸

(二九)裕發貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建五棟で四號及五號は榮發に貸與し兩者共主として米を庫入て居る、收容力は一一•四八〇噸

(三〇)九龍貨倉　本倉庫は九龍倉庫會社の分庫で煉瓦造二階建一棟を十一號より十二號に分ち主として砂糖の庫入れをして居る、收容力は二二•四一四噸

(三一)花旗公司貨倉(Pacific mail s/s Co. G)　本倉庫は同會社の私設に係り煉瓦造二階建二棟で主として同社船舶の貨物を庫入して居るが危險品の藏置には應じない、收容力は三•三六四噸

(三二) Thor sen 貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建であるが收容貨物の種類は不明、收容力は二•四六四噸

(三三)泰和公司貨倉　本倉庫は煉瓦造二階建三棟で鐵類及雜貨を庫入し專ら貸倉に供して居る、收容力は七•一一六噸

(三四)美孚貨倉(Standerd Oil Co. G)　本倉庫は會社の所有に係り煉瓦造平家建でＡＤに分ち同社の貨物のみを庫入して居る、收容力は一一•六二六噸

(三五) Cheong lee貨倉　本倉庫は海岸通りに立ち煉瓦造二階建一棟で鐵米及雜貨を庫入して居る、收容力は八•四八〇噸

(三六)宏泰貨倉　本倉庫は西營盤商通りに立ち二階建一棟で同じく鐵類雜貨を庫入して居る、收容力は三•〇〇〇噸

(三七)泰和行倉　本倉庫は電車通りに立ち煉瓦造二階一棟で主として穀類を庫入れして居る、收容力は七•五〇〇噸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二　灣仔（Wan shai）の倉庫

灣仔の分を表示すれば左の如きものがある

一、	廣生行貨倉	能力不明
二、	卜内門貨倉	三・〇〇〇噸
三、	興饑貨倉	三・〇〇〇噸
四、	庄社生貨倉	三・四〇〇噸
五、	源和貨倉	三・〇〇〇噸
六、	安發銅鐵倉	三・〇〇〇噸
七、	成安貨倉	三・四〇〇噸
八、	嗹咽廚吐吧貨倉	四・〇〇〇噸
九、	志利貨倉	七・五〇〇噸
一〇、	九龍倉	三・〇〇〇噸
一一、	民國公司貨倉	三・〇〇〇噸
一二、	萬興祥貨倉	三・〇〇〇噸
一三、	英和貨倉	五・〇〇〇噸
一四、	陽喜露貨倉	三・〇〇〇噸
一五、	慎昌貨倉	三・四〇〇噸
一六、	怡興鐵倉	二・四〇〇噸
一七、	大平洋貨倉	一・四〇〇噸
一八、	德記洋行倉	七・五〇〇噸
	計	六二・〇〇〇噸

以上倉庫能力を綜合すれば左の如くなると思ふ

（一）九龍側	一、九龍倉庫會社		二九一・〇四一噸
	二、大古貨倉		三〇・〇〇〇噸
	三、油蔴地貨倉	約	一〇・〇〇〇噸
	計	約	三三一・〇四一噸
（二）香港側	一、西營盤堅尼地倉庫	約	三三〇・〇〇〇噸
	二、灣仔	約	六二・〇〇〇噸
	計		三九二・〇〇〇噸
總計			七二三・〇四一噸

（參照）以上は主として三井物産、鈴木洋行日本郵船等の調査に依る

五　貯炭場（Coal yard）

香港に於ける石炭の輸入は年に依つて同じくないが近年の分を平均せば約百萬噸内外である、中十五萬噸内外を廣東に輸出し其の他過半を船舶の「バンカーコール」に充て約二十五萬噸を海軍其他工場用炭として消費するの狀況であつて一箇年の貯炭量は約十萬噸見當として大過ないのである

貯炭場は主として九龍側油麻地の防波堤内に在り三井の「バラック」式のものを第一とし、其他三菱古河鈴木等の邦商も之を有し、又香港側にも支那石炭商所屬のもの各所に散在して居る、貯炭の最高能力は元より一定に見積ることは不可能である、本年三月十五日現在の各貯炭高を左に掲げる

貯炭場	數量
海軍	一三・九〇〇噸
Hvghes (曉士Gavernment)	七・九〇〇噸
Dodwell (天祥洋行)	九・四五〇噸
M. Y. K. (三菱)	七・九〇〇噸
Yehara	五〇〇噸
Jardine (恰和)	一・六五〇噸
Moller (英商モクソン、テリー)	三〇〇噸
Tai Koo (大古)	三・〇五〇噸
Ho' Phang (和通)	二・九〇〇噸
Ksi Ping	一二・四五〇噸
Hopyirk (合益)	五・四九〇噸
Sanyeok (三益)	三・四七〇噸
Phongchang (同昌)	五・八八〇噸
Kiny Vee	二五〇噸
計	七五・〇九〇噸

前記中には三井物産の貯炭を含まない、同社の貯炭最高能力は三萬噸位と稱して居る、乃ち同上現在高に加算して總計約十萬噸と見れば大差がないと思ふ（未完）

戰後獨逸の北海諸港の發展

＝獨逸雜誌デイ、ヴヲツヘ所載＝

後藤生譯

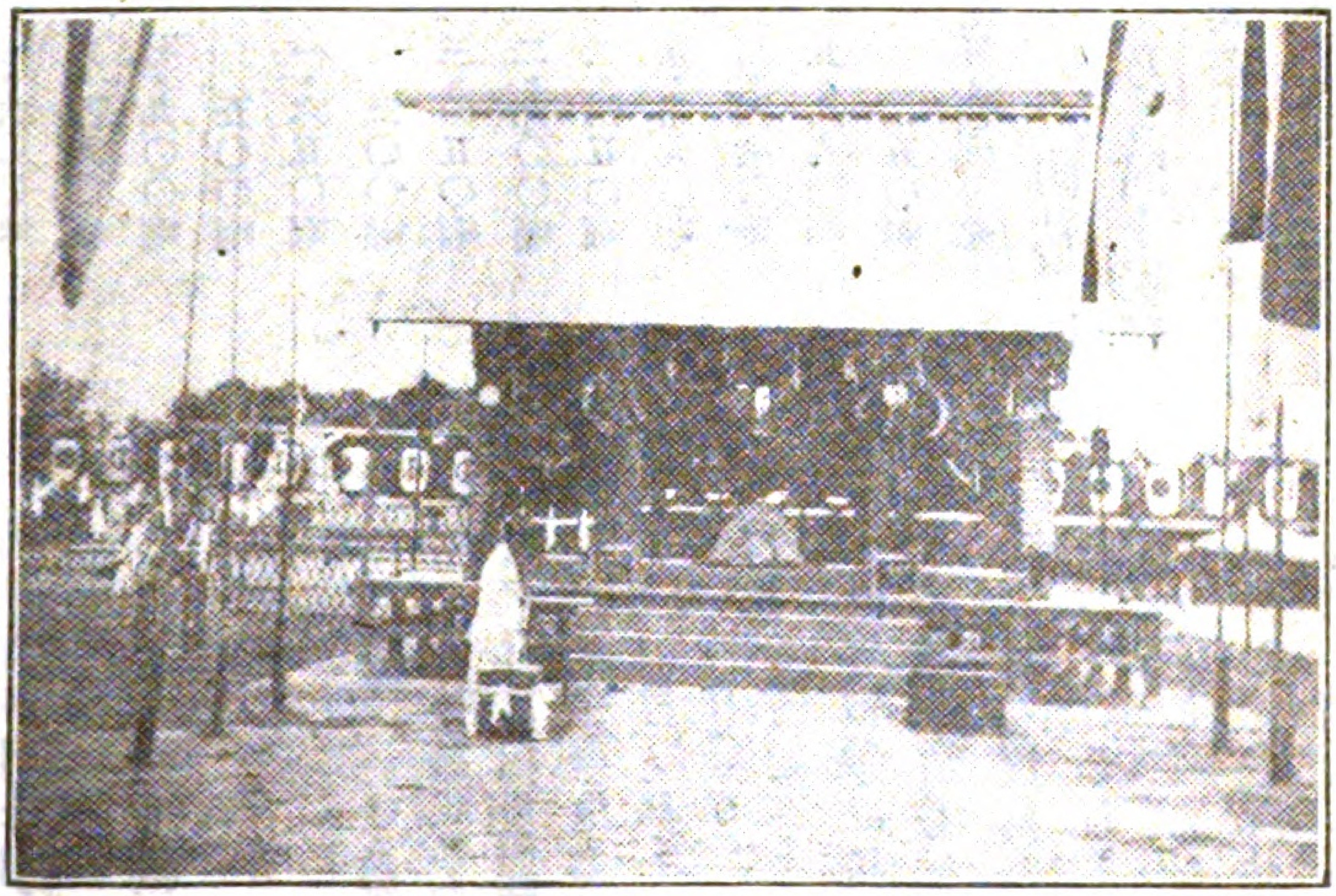
獨逸に於ける將來の經濟狀態をトせんとする者は、先づ其の外國貿易の狀況を知ることが第一の必要である、本篇は去六月發行の獨逸周間雜誌「デイ、ウヲツヘ」に北獨逸ロイド會社長ワナン、フヒリツプ、ハイネツケン氏が「戰後獨逸の北海諸港の發展」と題して掲載せる論文を譯出せるものにして、現今同國の貿易狀態の一班を推知するに足るべきもの、多少の參考とならば、幸ひである（譯者誌）

世界戰爭は獨逸の北海諸港殊にブレメン、ハムブルグ等の諸港を沈衰せしめたると同時に、獨逸に於ける海外貿易の樞要地たる是等の諸港を全く封鎖し終つたのである、惟ふに獨逸の世界交通は此等の港灣を通じて行はれ、又其の經濟的結合も實に之れに依つて、實現せられた而已でなく、獨逸並に中央歐羅巴の精巧なる生產物の集散は又此等の諸港を通じて行はれたのである、然るに此の聯絡の破壞と世界交通上の出入門を閉鎖したる結果として獨り獨逸の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

經濟上に大損害を與へた計りでなく、世界經濟上にも、亦實に大なる損害を與へたのである、既に周知せらるゝが如く聯合國は休戰條約に基いて獨逸の多數船舶を押收したる後ち、又彼のウェルセル條約に從ひて、殆んど總ての獨逸貿易船は勿論、其の殖民地竝に海底電線等を掠奪したる而已ならず、敵國內に於ける獨逸人の私有財產をも掠奪して當時世界到處に鬱勃の氣運を有したりし獨逸主義を破壞し去り、遂に獨逸の海外貿易と其の交通とを全然跛足にしたのである、斯くの如き狀態の下に於て、獨逸の北部諸港は平和條約成立後も猶ほ新交通上の必要條件を缺如せる次第なるが、殊に戰爭中敵國の嚴重なる封鎖は、一千九百十九年の前半期に於て、獨逸各港の交通を全然不可能ならしめたのである。

抑も獨逸の海外貿易を破壞することは、當時敵國の主要なる目的であつた、少くとも英國は獨逸の海外貿易を自から奪はんが爲めに、此の目的を持つたのである、而して此の企畫を遂行せんが爲めには、到底獨逸の北海諸港を看過することは出來ぬ然るに此の企畫と反對に於て、且つは敵國の錯綜せる利益を平等ならしむべく、獨逸の北海諸港は白耳義、佛蘭西、英國の諸港に對して、亦た大なる損害を與へたのである、蓋し獨逸の北海諸港は、其の自然の位置が萬國交通の燒點であるが故に、粗成品、食料品等に缺乏せる中央歐羅巴の諸國は擧つて此等の重要貨物をば北海諸港より輸入したが今や、戰後に於ける新たなる交通は設令へ外國の監督下に在りとは云へ再たび舊交通路に轉歸すべき傾向を現示するに至つた、現在の獨逸國は殆んど前例のなきほど衰弱の極に在りながら、萬國貿易と萬國交通の支持者として、其



新公園に於ける臺灣神社遙拜所

の破壊されたところの糸即ち獨逸國と萬國貿易とを聯結せし所の糸を舊の如く結合せんとするの兆候を現はすに至つた現に一千九百二十年の初め以來、獨逸の北海諸港は、次第〱に發展の實を示しつゝあるのである。

即ち「ブレメン」港に於ては、一千九百二十一年の最初の四箇月間に四百三十艘の入港船あり、其の噸數六十二萬七千五百二十二噸であるが、之を一千九百十三年の同期間に於ける千二百八十六艘純噸數百十七萬三千八百六十四噸に對比すれば、五三・四%を占むるのである、元來ブレメン港は綿糸の輸入港として、該貿易の模範的機關を具備し居た計りでなく、又其の商人は充分の經驗と、信用とを有して居たので、他國殊にロッテルダム商人の大競爭ありたるにも拘はらず、綿糸貿易は舊の如く、ブレメン港が、其の大部分を占むることゝ爲つたのである、其の他同港の主要貿易品中に於て、煙草の如きも現時猶經濟上の壓迫あるにも關せず、其の輸入路を此の港に取りつゝあるのである、又之れと相竝んで食料品、餌料就中穀物、油料花實、其の外鐵等もブレメン港の輸入品中首要の位置を占めて居る、又現今獨逸の輸出品は僅少ではあるが、カリ、鹽、鐵、織物等は同港より輸出さるゝのである、尚ほ戰前に於て多數旅客の往來は、ブレメン港を通じて行はれたが、平和克復の今日の狀況も以前と同樣の事實を示すことゝ爲つた、乃ち從來に於ては北獨逸ロイド會社の汽船が、此の航路を支配して居つたが、現今に於ても亦同會社は亞米利加のシッピング、ボードから借入れた汽船で、其の舊航路を維持し、ブレメンから十四日間を經て、紐育、ボストン、バルチモー等の諸港へ往來しつゝあるのである、而して社外のブレメン人も亦該航路の再開を企圖し、先づ當初の間は私有の汽船を之に充つることゝしたが、下ウェゼルの水深は、大汽船ジョウジ、ワシントン及アメリカ號の如きも、何等の故障なく、ブレメン迄達し得るものと信じて居る、且同港に於ける勞働關係や、其の能率等も善良で、汽船の供給も總て圓滿敏速に行はるゝであらふ。

又ハムブルグ港の海外貿易も絶へず發展の實を示しつゝあるのである、本年の最初の四箇月間にハムブルグ港に入港したる船舶は六百三十四艘百九十八萬五千五百九十七噸である、之れを一千九百十三年

の同期間の入港船三千二百三十四艘三百三十一萬八千二百四十七噸に對比すれば、五九%に當るのである。而して該貿易の大部分中にチエツク、スロワツク國との貿易が含入し居るのは、注目すべき事實である、又他國の汽船會社にして、ハムブルグ港に代理店を設置せるもの頗る多く其の數實に六十八以上にして、其の航路も八十を算するが、此等は總て千九百二十一年四月以降ハムブルグを起點として營業を爲しつゝあるのである、尚ハムブルグは北部及東部諸國に對する貨物の仲繼地として極めて樞要の場所である之に付ては、他國の諸港殊にコーペンハーゲン港も大ひに希望を有して、種々盡力せるにも拘はらず仲繼港としては、遂にハムブルグ港に拮抗することが出來ぬのである。

又エムデン港は戰爭少し前より其の往時の隆盛を回想しつゝ、再び世界貿易に參加すべく努力するに至つたが、該港はドルトムンド、エミス運河の出口として重要の位置を占むる而已ならず、又た移民の往來地として、必要な場所である、此の港は戰爭開始の當初大いに其の發展を障碍せられたが、其の海上貿易の一部分、就中鐵、穀物等の輸入は戰爭中も行はれたのであるが之はウエストフワリヤの工業地に輸送する爲めであつた。

上來述べた如く獨逸の北海諸港は、再び世界貿易と關係を結び、大いに其の世界的交通網を張るに至つた、之れと同時に獨逸の國民經濟、並に世界經濟の健康は、大いに恢復の途に上ぼつたのである、而かも惜むらくは此の新貿易が、多くは外國々旗の下に行はれつゝあるの一事であるが、此は獨逸の經濟上に於て實に不健全なる狀況と云はねばならぬ、而して此の狀況が長く繼續され、獨逸の經濟的關係が能く證明され、加ふるに外國に對する賠償金が重加する場合には、獨逸の經濟は益々不健全に陷るのであらう、惟ふに永年の間不況に陷つたる港灣を往時の如く隆盛ならしめんとするには、先づ貿易の興隆を圖らねばならぬ、蓋し貿易は其の沈衰せし活動を恢復し、往時隆盛時代に行はれたる各種の勞働、仕事等を再び勃興せしむるものであるが、將來鐵道、港灣等の除外稅の廢止並に來因、セールド運河の整理や、其の他獨逸の諸河川の萬國共用と爲ると同時に、折角再興せる此の種の職業は其の競爭愈々困難に爲るであらう、併しながら敵國に於ては平和條約

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の規定に依りて、獨逸の自治權と其の主權とを扶持し、而して將來右各港の整理殊にアントウエルペンの現狀を促進せしむるならんと信ずるのである。

從來獨逸の北海諸港の發展は一に其の自然の位置の優良なるに基くのである、故に將來に於ても此等諸港の發展は確實なるものとして、疑ふの餘地はないのである、惟ふに獨逸の北海諸港は其の位置の自然的天惠に浴しつゝ、數百年間を通じて、一種の資本卽ち技術的設備や、經驗や、世界貿易的交渉を集積したので、此の種の資本は世界貿易上、到底利用せずして、放置する譯には行かぬのである、此の事實は敵國と雖も、無視することは出來ぬ、卽ち將來の世界經濟は又た此の事實を其の基本とせねばならぬ、而して獨逸の諸港灣を適當に繼續維持せしむることは、卽ち又獨逸の經濟を正當に維持せしむる所以である、然るに敵國は此の事實に對して、遺憾にも最後の通牒に依りて、新たなる打擊を與へた、而して此の打擊は獨逸に取りてなか／＼困難なる問題である、今單に此の新打擊の上よりのみ視るときは獨逸諸港の破滅は到底免るゝこと能はざる如きも、獨逸國民を臣僕にし、獨　　を破壞することは、世界經濟上決して利益でない、故に獨逸の諸港と其の航海とは將來に於ても、適當に保持さるゝであらう、乃ち敵國は獨逸國民の世界歷史的使命を遂行せしむるため、換言せば世界經濟の爲めに、獨逸の北海諸港を適當に保持せしむるであらう云々

新嘉坡に於ける鳳梨罐詰

商工課

新嘉坡は商品の集散地にして工業地として見るべき大工場を有せず、此狀況は獨り新嘉坡に限らず南洋諸國の通有にして主として多量の原料を供給するに止まる、鳳梨の罐詰製造工場の如きも十數箇所あるも多くは小規模にして其の產額大ならず、然れども當地方の工業輸出品としては相當重要なるものとす、而して之が栽培及製造は一に支那人の手に在りて相當有利の事業の一とせらる。

其製造工場の內名あるもの次の如し。

1. Thye Hin & Co., 35. Sumbawa Road.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

2. Whatt Hin Pineapple Actory, Grove Road.
3. Sin Hen & Co, Serangoon Road.
4. Tye chuan & Co., Grove Road.
5. Sin Kee Seng Serangoon Road.
6. Jit & Co., Klang Road.
7. Kiam Amn & Co., Klang Road.

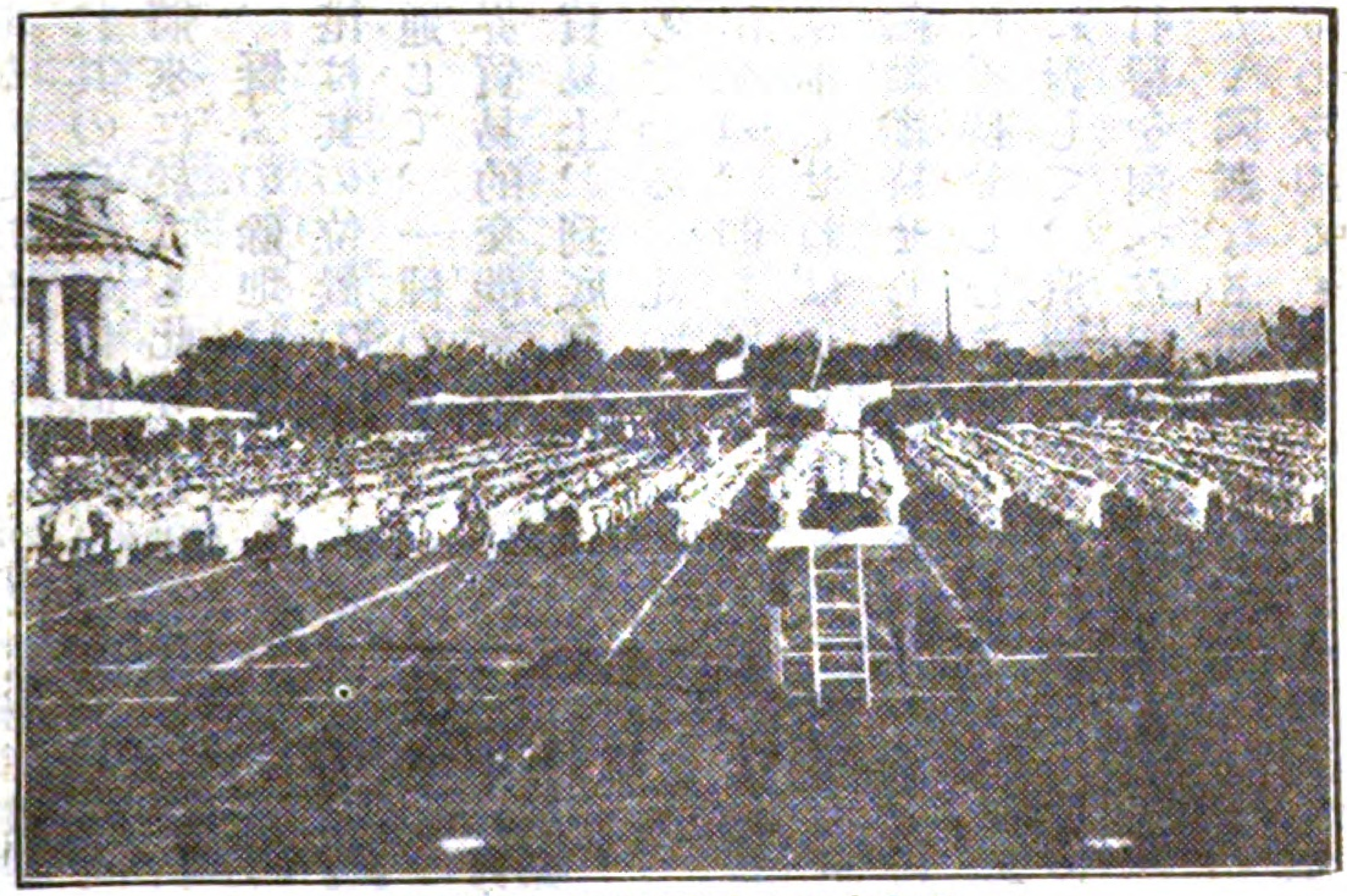
前記諸工場中稍見るべきものは1、2、3、4の四工場とし何れも百二三十名の職工を使用せり、其他の工場と雖も六七十名を使用せるが勞働者は皆支那人なり、各工場共其の製造の分業狀態は大同小異にして大抵四部に區分せらる。

一、分業法　罐の製作　前記の重なる工場に於て概ね十名の職工に依りて製罐を爲す。

果實の截斷　此分業は剝皮と截斷とを爲し其の取扱高多量なるを以て職工數も彼是五十名あり。

塡實及密閉　概ね十名乃至十五名の職工を要す。

煮沸及再度の密閉　若干名



臺北市内六小學校聯合大運動會

二、職工賃銀　製造係りは月給制度となし通常十七弗乃至二十五弗(但食料雇主持)とす、其他のの分業は之を請負制度となすを普通とす通常製罐及果實の截斷は百罐分に付き五十二仙なり、尤もスライス(花形に薄く切るもの)截斷は手數を要するを以て五十八仙を支給す其の從業時間は市價の高低に依り長短あり、且つ請負制なるを以て自然一定せざるも大抵午前六時より午後五時に及び繁忙の時は午前二時より午後九時に及ぶ事ありと謂ふ。

三、製造高　一日の製造高は重なる工場に於ては概ね二萬罐と見て差支なかるべし、但し市場の繁閑に依りて自然其生産高に制限を來すは勿論なり又小工場に於ける生産高は其職工數に比例して減少し、平均一日一萬若しくは其以下なるべし、従て新嘉坡に於ける生産高は多き時に於て先づ前記七工場より優に一日十萬罐を製造し得べ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し。

四、原料の供給　パインアップルは本島到る所に栽培せられ從て其大部分は本島內のものを以て充用し得るも尙少數は隣接のサンボ島(Pulan Sambo)テコン島(Pulan Tekong)セキン島(Pulansekind)等の小島より供給を受く、其の相場は大抵一個五六仙なり。

五、製造法　他の罐詰の製法と大差なく、先づ果實の兩端を切斷し、皮を剝ぎ心を取去り、花形に爲し、或は單に皮を剝ぎたる儘之を輪切又は縱斷等適宜に切截して罐に入れ、液汁へ砂糖水を加へ蓋を爲し、ハンダ付を施したるものを(熱湯釜蒸氣釜)に入れて之を熱す、勿論罐の大小に依りて氣壓を異にす、即ち一封度乃至一封度半罐は四五十氣壓に四五十分間、又二封度乃至三封度罐は五六十氣壓に一時間位熱したる後、釜より揚げ、熱沸せる間に內部の空氣を排除する爲め小孔を罐蓋に穿ち、其孔を塞ぎて密閉したる後冷水又は其他の方法を以て之を冷却せしめ、商標紙を貼付して作業を終る製品は、截斷法に依り普通四種に區別す。

一、キユブ　(Cnbe)　三、スライス (Slise)
二、チヤンク (Chank)　四、ホール (Whole)

キユブとは立方形に截斷して一罐に約二十片を收容す、チヤンクは長形に截斷しキユブより稍大片なり、スライスは既述の如く花形に薄く切り、ホールは一個の儘其心を拔きたるものにして俗稱目、(目は皮の全表面に在る硬き部分なり)を除去せざるもの、二種あり、ホール以外のものは全く此の目を除去しあり、

以上述べたるものは其種類及大小に應じ之を木箱に四打三打及二打入として取引せらる。

六、現時の市價

種類	一封度罐四打入	一五封度罐四打入	二封度罐三打入	三封度罐二打入
キユブ	弗二・九〇	二・九〇	二・九〇	—
チヤンク	四・〇〇	四・〇〇	四・〇〇	—
スライス	二・二九	二・二九	—	—
ホール(目拔)	—	二・二五	二・二九	二・二五
ホール(目不拔)	—	一〇・七五	一〇・七九	一〇・七五

小賣値段はホールは一罐三十仙其他は二十五仙位なり

七、鳳梨罐詰の輸出狀態　海峽殖民地より輸出するパインアップル罐詰は年と共に漸次增加しつゝあ

り、大正七年は八十萬弗なりしが大正九年には七百萬弗に達せり、然れども之を物産の總輸出額九億弗に比すれば僅かに其百分一にも及ばず、誠に九牛の一毛の觀あるも尚當地工業品としては先づ主要品なりとす、參考の爲め最近二箇年の輸出狀態を次に示すべし。

仕向地	一九一八年 金額	一九一八年 數量	一九一九年 金額	一九一九年 數量
	弗	箱	弗	箱
英本國	六、一二〇	六〇〇	二、八五三、八七二	三二、〇一七
印度及緬甸	一六七、五九八	一八、九五〇	七八、六九九	六、〇一〇
香港	三五、八五四	四、三一三	二六、八〇六	三、七七一
濠洲	三、〇〇九	四三〇	二三、八三四	一、四〇〇
加奈太	—	—	三三、〇五五	一、五〇〇
ニユージーランド	六五、八九〇	九、八三六	—	—
埃及	四三〇、九四〇	五六、六〇九	八六、五五〇	八、四六四
其他英領	八三六	一三三	九四五	七六
白耳義	—	—	五、九二五	三〇〇
丁抹	—	—	二八、三三六	二、〇三三
佛蘭西	—	—	五三、九八〇	五、三六〇
伊太利	—	—	三、五〇〇	三〇〇
和蘭	—	—	六六、一六七	三、七〇〇
支那	二、一七八	一、〇九五	一三、六九四	九七〇
日本	四四、五二五	五、九一七	—	—
蘭領東印度	三、八七三	五八〇	一一、〇八五	一、〇三二
比律賓	一、〇三〇	一一〇	二、三一〇	一七四
暹羅	一五、三七九	三、九一六	七、〇三〇	八五九
其他	五〇、六〇四	七、三〇二	三九七	二九
合計	八三六、八一六	一〇九、四五一	三、二八六、〇二六	二五五、八七四

一九二〇年度の該品輸出金額は七百十八萬一千五百〇六弗にして其數量は四十四萬七千二百七十八箱なりしが、未だ各國別の發表なきを以て之を擧ぐること能はず、尚本年度三月三十一日迄の輸入は百〇六萬三千二百八十弗、十二萬七千九百九十四箱にして、昨年度の同期間に比すれば二百九萬八千五百三十二弗、五萬四千〇五十一箱の減少なり。

尚新嘉坡に於ける製造罐詰の主なる商標四五種を添附す

（新嘉坡商品陳列所報告）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

爪哇市場と陶磁器

商工課

一　概説

大正八年度に爪哇島に輸入せられたる陶磁器總額は三百四十八萬盾の多きを算し輸出僅かに六千盾餘を觀たるのみなれば同年同島の消費額は恐らく三百四十萬盾内外なりしものなるべし、其内煉瓦類、敷瓦類の輸入は百十七萬盾にして、皿茶器等の輸入額二百三十一萬盾を計上せり、而かも其の輸出國は日、米、蘭の三國最も商權を伸暢しつゝあり、以下斯品の輸入情況に就いて觀るに

▲大正八年度輸入

	盾
耐火煉瓦	一三六・九七八
敷瓦	一、〇三二・七二二
皿類	七七五・一一五
茶器具類	二九二・〇二六
洗面器類	一四・九七八
其の他の陶磁器	一、二二九・二五八
計	三、四八一・〇八七

なりとす以下同市場に於ける輸入情況需給の情態其の他につき叙述する處あるべし

輸入情況　如上の如く同島輸入陶磁器類は日、蘭、米に其の輸入を仰ぎつゝある外、新嘉坡港の再輸出品及支那香港英國等の輸出品も亦た之れありと雖も其の數額共に寥々たり、

今試みに日、米、蘭三國の同島貿易過去の歷史を見るに、和蘭本國よりは本國對殖民地の干繫上古き歷史と牢固拔くべからざる地盤とを有せるは敢て贅言を要せざるも、日本製陶器の爪哇島に於ける輸入は戰前寥々たる數字を現しつゝありたるに、歐洲戰亂の結果茲に一大展開を爲し、躍然今日の盛況を得たるものなり、是れ幾分同島民度の向上に基く需要增加の結果たるべきも、之を全部且つ直接的原因として日本品の販路擴張を獲たるにあらず、寧ろ歐洲戰亂の結果、和蘭品の輸入減退並に獨逸製品杜絶に基けるものなるべし、試に同島各港の陶磁器輸入の情況を觀るにバタビヤ港、スマラン港最も多くして、之に亞くはチエリボン港及テガル港とす、其の輸入取扱額を揭ぐれば大略次の如し。

▲大正八年度各港輸入

	盾
バタビヤ港	一、五八七・七七〇
スラバヤ港	一、五一八・六五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

マラマン港	一、一四四・九三二
チエリボン港	九六・二六五
テガル港	三・七一九

同島に於ける各國製陶磁器の勢力を一覽するに和蘭製品は第一位にして此れに亞く勢力を有するもの日本品及び新嘉坡より來る處の再輸品なりとす。之が消長を知悉せんが爲め左に大正七年及大正八年度同島陶磁器輸入情態を擧示せば

▲耐火煉瓦 大正八年度 圓

北米合衆國	四一・〇二五
和蘭	三一・四〇一
日本	二九・八九三
香港	一五・八三六
新嘉坡	一〇・六六〇
其の他	八・一六三
計	一三六・九七八

▲敷瓦類 大正八年度

和蘭	八九三・八四二
日本	一〇二・三四三
其他	三六・五三八
計	一、〇三二・七二二

▲皿類 大正八年度

日本	五五二・六二四
和蘭	一五〇・六五五
新嘉坡	六八・一四七
其他	三・六八九
合計	七七五・一一五

▲茶器具類 大正八年度

日本	一九五・八二三
和蘭	九一・六七七
其他	四・五二六
合計	二九二・〇二六

▲洗面器類 大正八年度

合計	一四・九七八

▲其他の陶磁器類 大正八年

日本	五一六・九六八
和蘭	三三五・〇四四
北米合衆國	一一三・四八五
英吉利	八四・五六四
新嘉坡	八四・二七六
香港	四一・四五五
其他	一三七・七四四
合計	一、二二九・二五八

の如く敍上の關係を一覽し彼我消長を知る便宜上左の統計を參考に供す

▲大正八年度輸入 圓

和蘭	一、五一一・七九五
日本	一、四〇一・一七三

新嘉坡	一六六・一三二
北米合衆國	一五四・五一〇
英國	八四・五六四
香港	五七・二九一
獨逸	二・二三〇
合計	三、三七七・六九五

二　消費嗜好及び輸入品の種類

同島市場に現はれつゝある陶磁器の種類は茲に一々列擧するに遑あらざるを以て最も代表的の種類のみに就いて述ぶれば左の如し

一、コーヒー茶碗類　二、皿類（肉皿スープ皿の如き）
三、花瓶類　四、洗面用器
五、便器類　六、化粧品入
七、裝飾用額類　八、玩具類
九、敷瓦　一〇、ゴム受コップ
一一、土瓶類　一二、其他の陶磁器

此等輸入陶磁器の書柄に到りては千差萬別消費者の奈何に依りて其の趣きを異にす、和蘭人を初め爪哇在住歐米人間及び歐亞混血人間には一般に圖案の簡單なる物或は無地もの愛好せらるゝ風あり、支那人爪哇人等には圖案花模樣等却て複雜なるものを愛用するの風あり、品質も前者は重に硬質上等品を望み硬質陶器の安物は後者間に賣行善きも近來嗜好は一般に硬質陶器の上等品に赴きつゝあり。

從來本邦製陶磁器の品質に對する批難少からざりき、就中書模樣用の顏料良好ならざりしかば色彩兎角見榮えなき爲め聲價を失ひたる例少からず、顏料の選擇は恐らく品質圖案に亞いで重要ならん。

洗面用器及便器は和蘭製品市場に勢力を有し未だ本邦製品の紹介せられたる數尠し、此の種の製品は一般に無地模樣、就中生地の儘を愛好し、洗面器及び其の附屬陶器類には稀に金線入、青線入乃至簡單なる花線模樣品を觀る、而して需要者は主に高級の蘭人、支那人乃至歐亞混血人間に使用せらるゝ外、鐵道客車、停車場構內化粧室、歐米人經營の旅館及近海航路の蘭船內の乘客用化粧室に使用せられつゝありて、本邦品にして此の種の製品が完全に製作せらるれば彼我運賃關係を比較するも充分和蘭品と競爭するに難からざるべし、裝飾用として額の代用に愛用せられつゝある皿類は需要大ならざるも、相當の需要ありて主に和蘭製品に多く、此等和蘭製品は本國の風景を模寫し特に壁飾りとして使用せるものもあり。

玩具類は重に小形玩具に屬するものにして動物人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

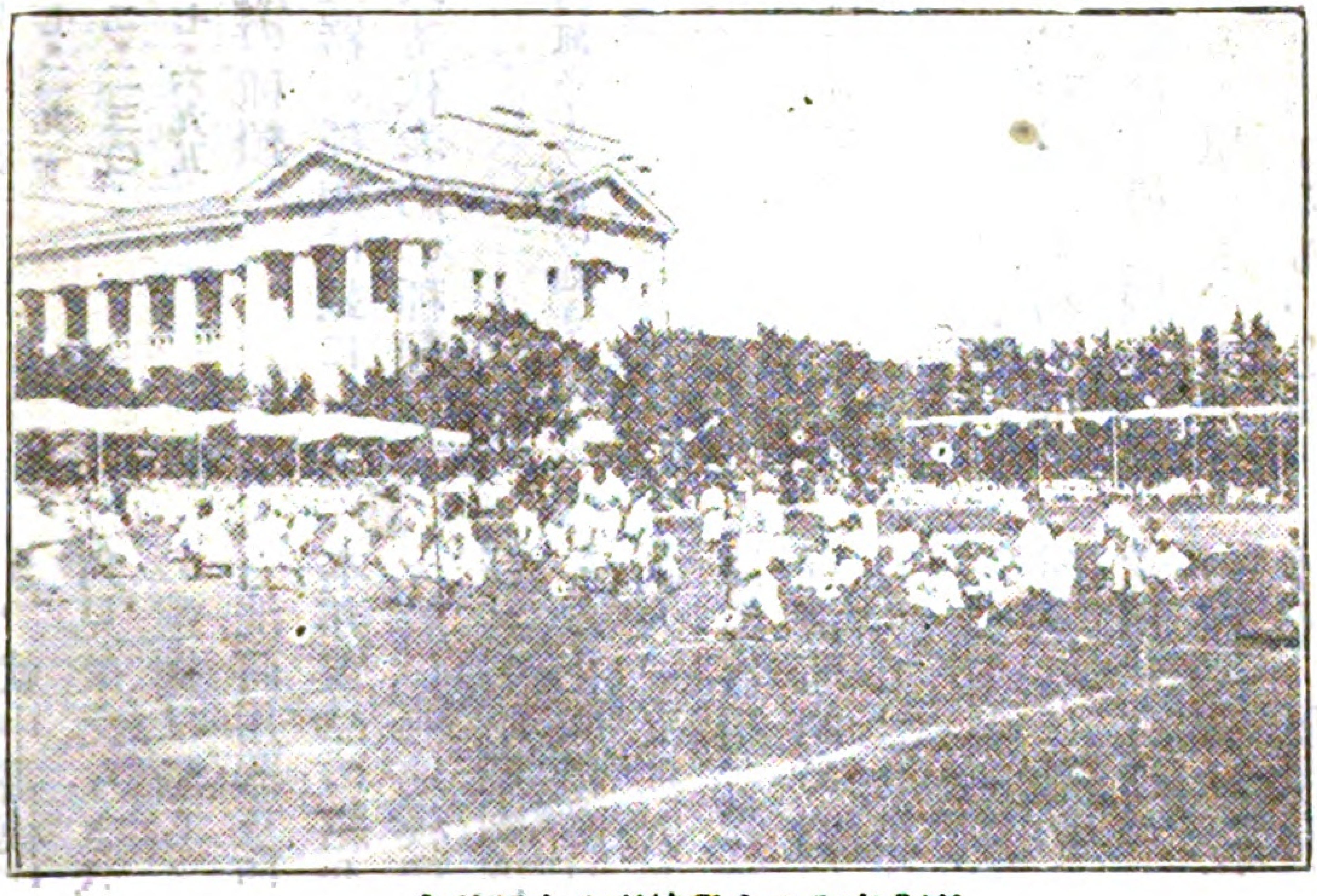
物等あれ共、セルロイド製、ゴム製、布製、木製等の玩具に比して需要少く輸入數額も亦寥々たり。

同島市場に於ける敷瓦の需要は相當旺んなるものありて海峽殖民地に比し需要遙に優る樣思はる、是れ爪哇地方の住宅建築法が海峽植民地々方とは全然異り二階建少くして一階建多く、自然敷瓦の需要の大なること決して偶然にあらざるべし、而も供給は和蘭本國に仰げるもの輸入額の八割强の多きに上る、之に亞くものを本邦製品とす。

尤も同島に於ける敷瓦及び煉瓦類は輸入品の外粗雜の製品は島内に於て製造さるゝ外、輸入セメントを以て作れるセメントダイルの如き其の額侮り難きものあり。

ゴム受コップとは護謨液體採集に使用するコップにして平底物及びレモン形物等あり、此の種の陶磁器は今日までは殆んど本邦製品を以て市場を獨占せり、硝子製ゴム受コップより價格廉なる爲め一般に護謨園に使用せられつゝありと雖も兎角上藥の使用不完全の儘製陶する關係上、往々粗製の誹を免れざる模樣なれば將來此の點に就いては周到の注意を拂はざるべからず。

輸入土瓶類の種類も種々ありて到底一々列擧するに困難なれども腰張り型土瓶及角形隅切型土瓶にして花模樣入品相當賣行ある風なり、其他マッチ箱、謄寫用水入インキ壺等枚擧に遑あらず。



臺北市内六小學校聯合大運動會

三　陶磁器圖案に對する注意

何品によらず荷も製品を海外市場に紹介賣捌かんとせば先づ輸出先の主なる需要者と密接離るべからざる風俗、習慣、宗敎、神話、傳說、其他古來の因襲等について研究を遂げ、嗜好の赴く處を考察する必要あるが如く、陶磁器圖案意匠の創案に付ても其の必要なること玆

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に資するの要を觀ず。

以下爪哇地方の嗜好について一言せんとす

爪哇地方は四時炎熱甚だしくして氣候の變化極めて尠く從て嗜好も甚だしき變化を觀ず、寧ろ嗜好の赴く處一般に人種の如何を問はず共通なる點を窺知し得るに難からず、殊に同島は和蘭人の數多く又戰後歐米人の來哇顯著なるを以て爪哇人の如きも自然外國人の風俗を模するもの多く、近年生活華美に傾きつゝあり、從て同島の嗜好は歐化的風潮を帶びつゝあり、意匠圖案も此點に著目して配色圖案等を試みざるべからず。

花模樣品、線模樣品に就いては別に喋々を要せざるも動物類の圖案に就いては尠からず注意を拂はざるべからず、例へば爪哇人は概ね回々教徒なるを以て、豚と同一視せらるゝものを嫌ふ爲め此の種の圖案意匠を使用せざるを可とす、同島支那人の數も侮り難く而も英領馬來に比し有福なる生活を爲せるもの多きを以て、陶磁器需要の額も相當にあり、從て支那人の愛好する動物類の意匠圖案も選擇の奈何に依つては販路に影響する所少からざれば、努めて注意を拂ひ支那人の嫌避する、龜の如きもの乃至同一視せらるゝものを意匠圖案の材料とせざる樣なすべし。

之れを要するに爪哇地方は印度地方に比較し圖案上に甚大なる影響を有する神話傳說少く一般に奇と新を好む風あれば要は色彩の配合に注意を拂ふ外、圖案意匠は左程の苦心を要せざるべし。

四　荷造包裝に對する注意

凡そ一商品の輸出を爲さんとせば包裝荷造は先づ第一に周到の注意を拂はざるべからず、是れ荷造の完否に因つて起る破損の有無は到著地の著原價をして高低を生せしむる唯一の原因たればなり、從來本邦商品に對する荷造不備の非難の風評は總體的にして本邦製陶磁器も亦此の非難の境を脫するを得ず、本邦製陶磁器荷造を管見するに荷造り方法遙かに和蘭製品、米合衆國製品に比し破損率多きは實に遺憾に堪へず、重量ある陶磁器類の荷造洋箱は容積の大なるは最も不適當として却て容積小なる荷造を以てせば荷造費は多少高價たるを免れざるも、破損率少く自然到著價を遞下せしめ得べきを以て輸出業者にあれ陶磁器商にあれ此點を打算せざるべからず、隨て輸入商及需要者は荷造費の多少高價なるをも厭

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

はず進んで後者の荷造品に親むも亦事の當然なるべし、荷造用補塡物として使用せる藁類の使用及改良に就いて一言せんに、本邦陶磁器は殆んど藁類を使用し、而かも此の藁類は充分乾燥せざるものを使用するが爲め洋箱運送中破損率を高むる樣思はる、運輸中若しくは稅關、停車場構内に保管中、或は船積荷役の際、雨漏り等の關係より藁類を補塡物に使用せば非常に破損率を高むる事あり、就中藁類使用の通弊として屈指すべきは運輸中に洋箱内の一個が破損したる場合、荷造は自然緩みを生じ、遂に破損せざるものに影響し遂に破損率をして多からしむる憂あるを以て周到の注意と研究とは怠るべからず。

小仕切を用ゆるは多少洋箱の容積をして大ならしむる不利あるも、一面に既述の破損率を遞減せしむる效果に到りては敢て多言の要を見ず。

歐米品の陶磁器荷造には其の補塡物として丸鋸屑樣のもの等を用ゆる外、上等の陶磁器は別に一々木箱を以て包裝し充分空所を充塡するを常とす、故に本邦陶磁器荷造に從來使用せる藁類を尙ほ使用すべきか否やは實に荷造法上攻究を要するものにして筆者の案を以てせば段ボール製箱に個々若しくは數個を入れ、鋸屑樣のものを以て空所を充塡せば或は破損率をして遞減せしめ得べしと信ずるも、此は製品の上中下各等級に依て適用せば陶磁器荷造りとしては將來面白かるべし、要は當業者が實際に當りて該荷造法の適否を講究し長短取捨適用せざるべからざるは敢て贅言を俟たざるべし。

五　取引慣習

爪哇市場に於ける陶磁器取引慣習は一般輸入雜貨と等しく一箇月乃至六箇月の取引條件は輸入商對卸商間に行はれ、概ね本邦人輸入商は一個月乃至二箇月の取引條件を以て在爪哇陶磁器取扱商に卸すを普通とし、歐米商にありては概ね邦商取引條件以上の長期に亙る卸賣を爲す樣なれば、主なる取扱商なる支那人は此の點を打算して動もすれば金融關係上歐米商と取引を好む風あり、故に邦商は同業者の設立による興信機關を設置して取引先の信用狀態を深く調査し、可及的長期取引を行ひ歐米商と競爭して本邦製陶磁器の販路擴張に資することを策せざるべからず。

六　陶磁器貿易より觀たる爪哇島の位置

汎く南洋に於ける陶磁器輸入貿易の趨情を觀るに

戰亂以前、物資昂騰の結果、數量上の輸入增率に比較し價格の增率實に甚だしきものありたるは考察に缺くべからざるを以て、之が數量を揭げざるべからざるも、計數を明記せるものなきが爲め遺憾ながら價格を擧ぐるに止む。

惟ふに爪哇市場は廣義南洋に於ける唯一の大消費地にして、而して同島の消費力は同島輸出超過の趨向と相俟つて將來本邦製品の活躍すべき好個の市場たるを失はず。

左に南洋各地陶磁器輸入貿易を擧ぐれば左の如し

爪哇及マズーラス島	三、四八一・〇八七盾	一九一九年
蘭領外領	一、四九四・三六九盾	同
海峽殖民地	一、八九八・九五七弗	同
暹羅	一七五・五三一銖	一九二〇年
比律賓	八五〇・六三二比	一九一九年
及度及ビルマ	二四八・三八一磅	一九一八年三月末

七　本邦製陶磁器の同市場に於ける將來

本邦製陶磁器が歐洲戰亂を間接原因として今日能く其の販路を擴張し鞏固なる地盤を建設し得たるは主として叙上の僥倖的時機に逢著せるに因るとは雖も、又當業者の努力の結果に因るもの尠からざるべし、而かも本邦製陶磁器の當市場に於ける將來に就ては稍々樂觀し得る事情あり、即ち陶磁器の如き容積及重量ある商品は一に運賃關係に懸る處多きを以て、彼我運賃の比較上明かに本邦品に有利なるを知る。

要は同島人士の嗜好に迎合する製品意匠圖案を研究し、破損に基因する著後賠償の遞減を計り、彼我製造情況をも調査し、生產費の至廉にして優秀なる製品の製作に努め、本邦製陶磁器をして同島人士に親むの方策を計らんか、叙上の統計表より察し本邦品輸入の餘地猶は無涯の感あり（新嘉坡陳列館報告）

臺灣の南部に旅して

（屯　山）

龍眼の木
ソワヤの木それに
木瓜の木の
よく育つ南方に
我住まはんか

榕髯錄

▼漢藥の宣傳をやる譯でも無いが、片山高淵は久しい前から漢藥に關する書物を調べて、其の方の研究は大分造詣が深いと聞いて居るが、最近專賣局長に榮任した池田幸甚氏も昨今腸胃が健全になつたのは全く漢藥の御陰であると言つて居る▼何でも池田局長が慢性的に腸が惡るいと云ふので、本島人の某が漢藥を薦めたのださうだが、それを服用して以來、流石の慢性病も滅切り良くなつて大いに健全を保つて居るとか▼辯護士の白倉君も近頃は病氣が良くなつてソロソロ歩き出したといふが、同君が先頃病蓐に横はつて居た時分「此の中風といふ病氣には洋藥は駄目だよ、だから俺は洋藥はモー飲む氣が無い、夫れよりか漢藥を飲まふと思ふ」と言つて居たが、果して漢藥を用ひた爲か昨今の快方は大いに喜ばざるを得ない▼敢て洋藥が惡るいとソンな古陋なことを言ふのでは無いが、病氣によつては漢藥の方が效力のあることは事實らしい▼ツマリ臺灣では漢人が元祖である丈けに漢藥の效力を發現するやうな話を時折、耳にするのである、漢藥先生大いに化學的に研究して見たらドーだらう▼話は違ふが、今度の太平洋會議に就て各國の騷ぎ方が劇しいといふ話から、或る人の曰く、總て國際の事は、小國ほど騷ぎが大きいが、大國になる程騷ぎがない▼例へば、國際會議が白耳義に開けると、ブラッセルの全都はソラ國際會議だと言ふので、全市が國際會議化して仕舞ふ。夫れが巴里に開けると、矢張り巴里全市の耳目を國際會議に集める。然るに倫敦に開けるとなると、流石は大英國で、國際會議も何處かの片隅に吸ひ込まれて注目する人も無い▲早い話が、佛蘭西で會議を開くと、各國の全權が到着する直ぐ其の晩に大統領の晩餐夜會などがあつて會議に景氣を附ける。夫れが白耳義になると、停車場から樂隊の鳴物入りで迎へるといふ騷ぎ、夫れから午餐、晩餐、夜會と大分御祭り騷ぎが大きい▼處が英吉利になると何處に國際會議が開けて居るか丸で分らない。倫敦七百萬人の活動は匆忙を極めて國際會議も何處を風が吹くか位なものである。斯ういふ風に小國ほど騷ぎが大きいので、今度の太平洋會議でも小國的に餘り騷ぐのは耻かしいぢや無いかといふ話▼國際會議で思ひ出したが、此頃比律賓大學の一教授が日本の東大法學部に論文を送つて法學博士の學位を請求して來たさうである。外國人で日本の學位を有するは今現に十四人もあるさうだが、夫れは皆な推薦によるもので論文を提出に及んだのは今度が始めであるさうな▼此頃は比律賓總督のやうな人までが臺灣を訪問するやうに、日本が急にエラク評判された爲でもあるまいが、此の論文提出の先生などは隨分毛色の變つた方だ。何でも其の論文は米國法制史とかで莫迦に長く出來て居るから博士の學位は請合だらうといふ話だ

統計

臺灣の人口

＝大正九年末現住の＝

總督官房調査課

一　人口總數

大正九年十二月末日の本島現住人口（蕃地に在る生蕃人を含ます）は三百六十七萬三千二百九十人なり此の人口は本年十月一日に於ける第一回臺灣國勢調査（第三次臨時臺灣戸口調査）の現在人口に十月以後三箇月間に生したる現在者の生産及轉入を加へ死亡及轉出を除きて算定したるものにして此の三箇月間に一萬七千九百八十二人即ち人口千に對する四・九人の増加を示し更に之を昨八年十二月末現住人口に比すれば一年間の増加は四萬二千九百五人即ち人口千に對する一一・八人なり

尚本島の人口は明治三十八年十月一日に於ける第一次臨時臺灣戸口調査の施行に依りて初て確定し其の數三百三萬九千七百五十一人を算したりしが故に之を百とする指數は大正元年十二月末に至りて一一〇と爲り九年十月一日に至りて、更に一二〇と爲り九年末は一二一なりとす今左に本島人口累年増加の趨勢を表示す

調査の時	人口	指數	増加 實數	増加 人口千に付
明治三十八年十月一日	三、〇三九、七五一	一〇〇	—	—
同　年十二月末	三、〇四六、八五九	一〇〇	七、一〇八	二・三
明治三十九年十二月末	三、〇八〇、五四五	一〇一	三三、六八六	一一・一
明治四十年十二月末	三、一〇八、七二三	一〇二	二八、一七八	九・二

明治四十一年十二月末	三、一三二、三三五	一〇三	二三、六一二	七・六
明治四十二年十二月末	三、一六八、二〇五	一〇四	三五、八七〇	一一・五
明治四十三年十二月末	三、二一九、一一一	一〇六	五〇、九〇六	一六・一
明治四十四年十二月末	三、二八八、八七九	一〇八	六九、七六八	二一・七
大正元年十二月末	三、三五三、九四三	一一〇	六五、〇六四	一九・八
大正二年十二月末	三、四一八、二七〇	一一二	六四、三二七	一九・三
大正三年十二月末	三、四六八、七一九	一一四	五〇、四四九	一四・八
大正四年十月一日	三、四七九、九二二	一一四	一一、二〇三	三・三
同　年十二月末	三、四八三、二六六	一一五	三、三四四	一・〇
大正五年十二月末	三、五〇〇、一一〇	一一五	三六、八四四	七・七
大正六年十二月末	三、五五〇、〇五〇	一一七	四九、九四〇	一四・三
大正七年十二月末	三、五八三、三九五	一一八	三三、三四五	六・六
大正八年十二月末	三、六三〇、三八五	一一九	四六、九九〇	一三・一
大正九年十月一日	三、六五五、三〇八	一二〇	二四、九二三	六・九
同　年十二月末	三、六七三、二九〇	一二一	一七、九八二	四・九

二　人口の密度

九年末人口三百六十七萬三千二百九十人を本島總面積二千三百三十二方里に比例せしむれば人口密度は一方里に付一・五七五人なり然るに右の人口には蕃地に在る生蕃人を含まざるが故に假に總面積より蕃地を除きたる平地面積千二百三十七方里に右の人口を比例せしむれば一方里に付二・九七〇人にして前年末に比し三六人を增加せり

三　人口の體性別

總人口を男女に分ては男百九十萬二千七百九十人女百七十七萬五百人にして女百に付男一〇七・五人なり而して男の此の割合は明治三十八年十月一日には一一二・七人を算したりしに大正四年十月一日には一〇八・八人と爲り更に大正八年十二月末に至りては一〇七・三人と爲れるが故に男の割合は明治三十八年より大正八年に至る間に女百に對する五・四人を下れるを見る然るに九年十月一日の國勢調査にては八年末よりも〇・二人を上りて一〇七・五人と爲り本年末亦之と同率を示す

四　人口の種族別

本島の人口は本島人を以て主成分子とすること勿論にして九年末人口に在りても總數三百六十七萬三千二百九十人の中本島人は三百四十八萬一千八百三十三人なるが故に總數の九割四分八厘を占め內地人の十六萬六千六百二十一人は總數の四分五厘、外國人の二萬四千八百三十六人は同七厘に當るに過ぎず而して此の三種族は第一次臨時臺灣戶口調査以來孰も增加を告ぐ即ち同調査の數を百とする指數は本島人一一七、內地人二九一、外國人二七二を示すが故

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に內地人の增加を最著しとす倘八年末との比較を爲せば本島人は二萬七千六百六十六人卽ち人口千に付一〇・九人、內地人は一萬三千二百九十一人卽ち人口千に付八六・七人、外國人は千九百四十八人卽ち人口千に付八五・一人を各增加せり

五　人口の地方別

(イ)州廳　全島總人口三百六十七萬三千二百九十人を五州二廳に分ては最多は臺南州の九十五萬七千餘人にして總數の二割六分餘を占め臺中州の七十八萬千餘人は二割一分餘を以て第二位に居り以下臺北州の七十四萬六千餘人卽ち二割餘、新竹州の五十六萬三千餘人卽ち一割五分餘、高雄州の五十三萬五千餘人卽ち一割四分餘順次相亞き花蓮港廳の四萬九千餘人は一分三厘餘、臺東廳の三萬八千餘人は一分餘に當るに過ぎす

州廳別人口を九年十月一日に於ける國勢調查の人口に比較すれば三箇月間に於ける增加率最高きは花蓮港廳にして增加實數は三百三十一人に過ぎざるも人口千に對しては六・七人に當れり五州の增加實數は臺中州の四千二百八十人と新竹州の二千九百七十四人との間に在るも人口千に對する增加率は順次に高雄州の五・六人、臺中州の五・五人、新竹州の五・三人、臺北州の四・八人及臺南州の三・九人なり終りに臺東廳は增加實數も僅に九三人にして增加率も亦二・四人に過ぎす

(ロ)郡　全島總人口三百六十七萬三千二百九十人より臺東及花蓮港二廳の人口、三市の人口及水面の人口を控除すれば殘餘は卽ち四十七郡の人口にして三百三十萬六千百六十三人を算するが故に一郡の平均人口は七萬三百四十四人なり而して各郡中の最多は嘉義郡の十五萬七百餘人にして彰化郡の十三萬八千八百餘人、基隆郡の十二萬五千四百餘人及新竹郡の十二萬三千二百餘人之に次き其の他員林、東石、大甲及北門の四郡は順次に十萬人以上を保ち以下苗栗郡は九萬人以上、虎尾、北斗、七星、宜蘭及新營の五郡は八萬人以上、海山、新豐、中壢、高雄、斗六及北港の六郡は七萬二千人以上にして以上二十郡を平均以上とす而して爾他の二十七郡は大屯、屏東、竹南、岡山、桃園、新化、東港、豐原、南投、鳳山、潮州、竹東、澎湖、旗山、曾文、羅東、文山、新莊、大溪、淡水、東勢、竹山、能高、大湖、恒春、新高及蘇澳の順位を以て平均以下に序次し就中潮州以下

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の各郡は六萬人以下大溪以下の各郡は五萬人以下、東勢以下の各郡は四萬人以下、能高以下の各郡は三萬人以下、新高以下の二郡は二萬人以下にして蘇澳郡の一萬八百六十八人を最少とす

各郡の人口は三箇月前なる國勢調査の結果に比して增加せるを普通とし就中、嘉義郡の八百四十五人、苗栗郡の八百三十七人、員林郡の七百九十三人、虎尾郡の六百四十六人、豐原郡の六百二十四人、中壢郡の六百一人及高雄郡の五百十七人等を增加の主なるものとす然るに大湖、新莊及北門の三郡は僅少の減少を告げ其の數順次に百三十一人、二十二人及五人なり

（八）市●　市の人口は臺北十六萬四千三百二十九人、臺中三萬二千百三十四人、臺南七萬七千二十六人にして之を九年十月一日に比較すれば三箇月間の增加は臺北千五百四十七人、臺中五百九十五人、臺南四百六十六人なるが故に人口千に對する增加率は臺中に於て最高一八・五人を示し臺北の九・五人は之に對して大なる懸隔を存し臺南の六・一人に至りては著しき低率なり

三市の人口を國勢調査の結果に依る内地の各市區の人口に比較すれば臺北は長崎と廣島との間にして總市區中の第八位に居り臺南は和歌山と靜岡との間にして同第二十五位に居り臺中は弘前市と大津市との間にして同第七十六位に在り

次に三市在住の内地人は臺北四萬五千六百七十五人、臺中九千七十五人臺南一萬二千三百五十八人、を算するが故に全人口中の割合は臺北二割七分餘、臺中二割八分餘にして兩々相若くも臺南は一割六分餘に過ぎす

（二）街庄●●　街庄別人口の最多は基隆街の四萬八千五百五人に於て現はる同街に次ぐは嘉義街の三萬七千七百餘人、高雄街の三萬五千四百餘人、新竹街の三萬二千百餘人及鹿港街の三萬六百餘人なり尚以上の五街に次て二萬人以上を包容する街庄名及其二萬人を超ゆる數を列擧すれば斗六街の五千二百餘人、大溪街の四千七百餘人、清水街の四千五百餘人、蔴荳街の三千二百餘人屏東街の二千餘人、六脚庄（東石郡）の千六百餘人、彌陀庄（岡山郡）の千三百餘人、豐原街の千二百餘人、士林庄（七星郡）の千百餘人、埔里街の九百餘人、湖内庄（岡山郡）及學甲庄（北門郡）の各七百餘人、南投街、新埔街（新竹郡）及

淡水街の各六百餘人、竹山庄（竹山郡）及宜蘭街の各四百餘人、員林街の三百餘人、楊梅庄（中壢郡）及瑞芳庄（基隆郡）の各百餘人なり尙內地人の千人以上居住する街庄を擧れば基隆街の一萬二千九十六人高雄街の九千六人及嘉義街の五千四百三十二人を主なるものとして屛東街、花蓮港街、新竹街、馬公街、宜蘭街、瑞芳庄（基隆郡）臺東街、埔里街及旗山街順次其の下に在り（尙花蓮港廳には內地人千人以上在住する區あり）

六　州廳別人口及其の異動の表示

今九年末に於ける州廳別人口及國勢調査の人口に對する其の增減の內譯を表示すれば左の如し

州廳別人口及其の異動

州廳及種族		九年末現住者 男	九年末現住者 女	九年末現住者 計	九年十月一日現在者 男	九年十月一日現在者 女	九年十月一日現在者 計	比較 增	比較 減	增減內譯 增 出生	增減內譯 增 轉入	增減內譯 減 死亡	增減內譯 減 轉出
臺北州	內地人	三九、三七九	三一、八五七	七一、二三六	三九、一三三	三一、四七九	七〇、六一二	六二四	—	四八三	四、一二三	二一七	三、七六五
	本島人	三四四、二四八	三一六、七二七	六六〇、九七五	三四二、八四九	三一五、三三五	六五八、一八四	二、七九一	—	六、一九二	七、八〇三	三、八二〇	七、三八四
	外國人	一一、五六六	二、八六〇	一四、四二六	一一、四六八	二、八一三	一四、二八一	一四五	—	六四	六四九	四八	五二〇
	計	三九五、一九三	三五一、四四四	七四六、六三七	三九三、四五〇	三四九、六二七	七四三、〇七七	三、五六〇	—	六、七三九	一二、五七五	四、〇八五	一一、六六九
新竹州	內地人	五、五〇七	四、二八八	九、七九五	五、三六三	四、二二〇	九、五八三	二一二	—	七四	八七〇	三〇	七〇二
	本島人	二七九、一八〇	二七二、九七〇	五五二、一五〇	二七七、七一三	二七一、六八八	五四九、四〇一	二、七四九	—	五、〇一五	九、二五三	二、四六〇	九、〇五九
	外國人	九六八	三五四	一、三二二	九七〇	三三九	一、三〇九	一三	—	五	四九	三	三八
	計	二八五、六五五	二七七、六一二	五六三、二六七	二八四、〇四六	二七六、二四七	五六〇、二九三	二、九七四	—	五、〇九四	一〇、一七二	二、四九四	九、七九八

臺中州 內地人	臺中州 本島人	臺中州 外國人	臺中州 計	臺南州 內地人	臺南州 本島人	臺南州 外國人	臺南州 計	高雄州 內地人	高雄州 本島人	高雄州 外國人	高雄州 計	臺東廳 內地人	臺東廳 本島人	臺東廳 外國人	臺東廳 計	花蓮港廳 內地人	花蓮港廳 本島人	花蓮港廳 外國人	花蓮港廳 計	合計 內地人	合計 本島人	合計 外國人	合計 計
一一、八六八	三九一、七一七	一、五六二	四〇五、一四七	一六、一一三	四七六、〇七九	二、八一三	四九五、〇〇五	一二、五〇一	二六〇、〇九二	一、七六〇	二七四、三五三	一、九一〇	一七、九四五	二二九	二〇、〇八四	六、五二四	二〇、二三七	五八二	二七、三四三	九二、八〇二	一、七八九、五〇八	一九、四八〇	一、九〇一、七九〇
八、九八五	三六六、五四〇	四二八	三七五、九五三	一二、四二二	四四九、四六四	一、〇三三	四六二、九一九	九、一七四	二五一、六五七	五二〇	二六一、三五一	一、三五三	一七、三八九	五八	一八、八〇〇	四、七四〇	一七、五七八	一〇三	二二、四二一	七三、八一九	一、六九二、三二五	五、三五六	一、七七一、五〇〇
二〇、八五三	七五八、二五七	一、九九〇	七八一、一〇〇	二八、五三五	九二五、五四三	三、八四六	九五七、九二四	二一、六七五	五一一、七四九	二、二八〇	五三五、七〇四	三、二六三	三五、三三四	二八七	三八、八八四	一一、二六四	三七、八一五	六八五	四九、七六四	一六六、六二一	三、四八一、八三三	二四、八三六	三、六七三、二九〇
一一、六二七	三八九、八八三	一、五二五	四〇三、〇三五	一四、九一五	四七四、四五七	二、七二三	四九二、〇九五	一二、二九三	二五八、七三一	一、六八〇	二七二、七〇四	一、九〇八	一七、八九五	二二一	二〇、〇二四	六、四〇五	二〇、一〇八	六七四	二七、一八七	九二、六四四	一、七八一、六三六	一九、二六一	一、八九三、五四一
八、八〇一	三六四、五八三	四一一	三七三、七九五	一三、二〇一	四四七、八八〇	一、〇〇四	四六二、〇八五	八、九六六	二五〇、五三九	四九五	二六〇、〇〇〇	一、三五五	一七、三六五	四七	一八、七六七	四、六六九	一七、四八一	九六	二二、二四六	七一、六九一	一、六八四、八七一	五、二〇五	一、七六一、七六七
二〇、四二八	七五四、四六六	一、九三六	七七六、八三〇	二八、一一六	九二二、三三七	三、七二七	九五四、一八〇	二一、二五九	五〇九、二七〇	二、一七五	五三二、七〇四	三、二六三	三五、二六〇	二六八	三八、七九一	一一、〇七四	三七、五八九	七七〇	四九、四三三	一六四、三三五	三、四六六、五〇七	二四、四六六	三、六五五、三〇八
四二五	三、八〇一	五四	四、二八〇	四一九	三、二〇六	一一九	三、七四四	四一六	二、四七九	一〇五	三、〇〇〇	—	七四	一九	九三	一九〇	二二六	—	三三一	二、二八六	一五、三二六	三七〇	一七、九八二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八五	—	—	—	—	—
一七二	八、二一一	六	八、三八九	二〇七	九、八二四	二七	一〇、〇五八	一八五	五、九三二	一四	六、一三一	四一	三三四	二	三七七	八九	三三〇	四	四二三	一、二五〇	三五、八三九	一三二	三七、二二一
一、八五五	九、五七六	一一八	一一、五四九	二、〇七八	七、四四一	一九五	九、七一四	一、七一八	四、四六八	一四四	六、三三〇	二〇六	二三四	三二	四七二	六二〇	六二〇	三二	一、二七二	一一、四七〇	三九、三九五	一、二一九	五二、〇八四
七六	四、八九一	九	四、九七六	九七	六、六五七	一八	六、七七二	七五	三、八一一	九	三、八九五	一〇	三一三	—	三二三	六五	二七四	一四	三五三	五七一	二三、二二六	一〇一	二三、八九八
一、五二五	九、〇九六	六一	一〇、六八二	一、七六九	七、四〇二	八五	九、二五六	一、四一二	四、一一〇	四四	五、五六六	二三七	一八一	一五	四三三	四五四	四五〇	一〇七	一、〇一一	九、八六三	三七、六八二	八七〇	四八、四一五

評議會委員會

總督府評議會に諮問されたる道路、教育、民法及商法に關する委員會は十月一日開會同八日閉會せられたるが前記各項に關する委員會の結果は左の如し

▼道路に關する件は審議の結果左記答申書の如く議決せり

答　申　書

一、道路に關する諮問案

右本會に於て審議の結果別册中道路の費用負擔に關し左記の通り修正の上實施せられ可然ものと議決す

右答申候也

大正十年十月十八日　　主査　川崎　卓吉

評議會會長男爵田健治郎殿

記

五、道路に關する費用中左の通修正す

イ、一等道路

新設其の他道路に關する一切の工費は國費の負擔とす道路の修繕及維持に關する費用は當該州費又は關係地方住民の負擔とす但し必要ある場合に於ては國費より補助す

ロ、二等及三等道路

新設其の他道路に關する一切の工費は當該州費の負擔とす但し必要ある場合に於ては國費より補助す

道路の修繕及維持に關する費用は當該州費又は關係地方住民の負擔とす

ハ、四等道路

新設其の他道路に關する一切の工費は當該市、街、庄費の負擔とす但し特殊の場合に於ては國費又は州費より補助することあるべし

道路の修繕及維持に關する費用に付ては當該市、街、庄費又は關係地方住民の負擔とす

以　上

▼教育に關する件審議未了

▼民法に關する件は審議の結果左記報告書記載の通り議決せり

民法に關する諮問事項

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

調査委員會報告書

民法に關する諮問事項調査委員會は先つ民法典の列の序次に從ひ各章又は節毎に之に關する重要問題を摘出して審議したる後關係各章又は節を一括して議題に供し結局各條の審議を完了する方法に依り調査を進行するに決し

第一　總則編に於ては

一、成年年齡

二、禁治產、準禁治產制

三、失踪制

に付き全員一致を以て除外例を設くる要なしと決議し更に

四、民法施行後公業新設の許否

に付き討議したるに委員間に許否兩樣の議論を生し愼重審議の末二人に對する四人の多數を以て民法施行後は公業の新設を許す要なしと決議し

五、時效制

に付ては全員一致を以て除外例を設くる要なしと決議し

其他全部の規定は各關係重要問題の議決後章又は節に付各全員一致を以て何等除外例を設くる要なしと決議したり

第二　物權編に付ては

一、不動產登記の效力

及び各章に付全員一致を以て何等除外例を設くる要なく且舊慣上の業主權、地基權、典權、胎權及び現行登記規則上の贌耕權は民法施行後其設定を許す要なしと決議したり

第三　債權編に付ては第一章總則第二章契約、第三章事務管理、第四章不當利得第五章不法行爲に區分して章別に討議に付したるに何れも全員一致を以て何等除外例を設くべき事項なしと決議したり

第四　親族編に付ては

一、親族の範圍及び親等の計算方

に付全員一致を以て除外例を認むる要なしと決議し

二、妻と其實家の氏

に付ては民法施行と直接關涉せすとの議を生したるを以て先づ之を議題と爲すや否やに付き討議したるに議題と爲す要なしと爲す者三名之を議題と爲し決議すべしと爲す者三名同數なるを以て全員の同意に依り議長たる主査の意見に依り決するこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とゝし主査は之を議題と爲す意見に賛同し之を議題に供したるに採決の結果民法と同樣夫の氏のみを冠せしむべしとする者三名舊慣に從ひ夫の氏の外實家の氏を冠せしむべしとする者三名更に主査の意見に依り決定することゝし主査は實家の氏を冠せしめざる說に賛同したるを以て結局民法第七百四十六條の趣意と同樣妻は家族として其家の氏のみを稱するものと決議したり

三、隱居制

に付ては全員一致を以て除外例を設くる要なしと決議し

四、査媒嫺制は一應議題と爲さんとしたるも法院に於ては二三年來之を公の秩序に反するものと判示し居るを以て議場に諮り之を議題と爲さず

五、民法第七百六十九條の婚姻禁止と同宗又は同姓婚姻禁止

に付ては採決の結果同宗又は同姓婚姻禁止の除外例を設くべしとする者二名民法前掲條項を施行すべしとする者四名にして結局何等除外例を設くる要なしと決議し

六、招入婚

七、養媳緣組

八、妾　制

に付ては何れも全員一致を以て民法施行後新に招入婚、養媳緣組、蓄妾を爲すも其效力は之を認むる要なしと決議し

九、婚姻屆出主義

十、死後養子制

十一、養子緣組屆出主義

に付ては何れも全員一致を以て除外例を設くる要なしと決議し

十二、民法第八百三十九條の養子の制限に關する規定

に付ては相續編議了後まて之を留保することゝし其他全部の規定は各關係重要問題の議決後、章、節又は款に付き各全員一致を以て何等除外例を設くる要なしと決議したり

第五　相續編に於ては

一、家督相續制

に付き討議したるに最も重大なる問題に屬するを以て各員愼重に審議したり而して採決の結果は除外例を設け舊慣に依る分頭相續制を認むべしと爲

す者四名除外例を認むる要なしと爲す者二名にして結局舊慣に依る分頭相續の除外例を設くるに決したるを以て更に

二、舊慣を不文の儘適用すべきや又は成文法と爲すべきや

を議題に供したるに全員一致を以て成文法に依り舊慣を認むべしと決議ししたり、此際臨時該成文法の有效年限を三年又は五年と爲べしとの發議あり贊成者ありたるを以て議題に供したるに採決の結果二名に對する四名の多數を以て之を否決し更に全員異議なく該成文法の起案は總督府に一任するに決定し親族編第十二の留保問題は自然消滅に歸したるものと決議したり

三、遺產相續制

に付討議したるに結局家督相續制に於けると同一の趣意に議決したるものと解することに決定し又第一章家督相續に關する規定は本島に施行せず其他第二章以下全部の規定は全員一致を以て分頭相續の持別立法と牴觸を生せざる範圍に於て本島に施行すべきものと決議したり

右報告す

民法に關する諮問事項調査委員會

大正十年十月十四日　主査　谷野　格

臺灣總督府評議會長男爵田健治郎殿

▼商法に關する件審議の結果左記報告書の通り議決せり

商法に關する諮問事項調査委員會報告書

商法に關する諮問事項調査委員會は先づ全員一致を以て所謂商法中には舊商法破產編を包含するものとして報告するを相當なりと決議し尋で全員一致を以て商法施行の時期方法に關する委員會の希望を副申するを相當なりと決議し

第一　明治三十二年法律第四十八號商法を臺灣に施行するに付除外例を設くべき事項なきや

第二　舊商法破產編を臺灣に施行するに付除外例を設くべき事項なきや

に付各別に審議を經たるに何れも全員一致を以て何等除外例を設くべき事項なしと決議し更に商法施行の時期方法に關する希望に付審議の末復た全員一致を以て速に之を施行し殊に民法全部の施行時期遲延するものとせは民法第一編乃至第三編の施行と共に商法を施行せられんことを要する旨の副申を爲すに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

決したり
右及報告候也

商法に關する諮問事項調査委員會
大正十年十月　主査　谷野　格
臺灣總督府評議會會長男爵田健治郎殿

金融概況

＝九月中の＝

財務局金融課

年初以來潤澤なる遊資を擁したる本邦金融業者も頻々として發行せらるゝ公債社債等に放資口を求め或は再三の預金利下を斷行して其の負擔の輕減を圖りつゝありしか中には其放資を緩にして定期資金に供し以て一條の血路を見出さむとするの窮策を取るものありき

這般來各種定期市場に意外の殷盛を來して不自然の價格を續出せしめ所謂中間的好景氣來を叫はしめ心ある當業者にありしは竊に警戒を怠らさりき然るに日銀當局者も亦之に關心する所あり當業者に對し警告を發したりと傳へられしが果然人氣は一轉して前月來より株式の崩落を報するに至れり而して年末決濟期も剩す所僅かに二月加ふるに昨今の如く入超增加の事實に鑑みて近來漸く緊縮の方針に出て京坂に於けるコール日步の如き本春一錢三厘乃至六厘の低率を示したるが今や二錢二厘乃至九厘を見るに至り前途尙强氣配を見むとす●●●●

財界回復の槓桿たる我海外貿易は出超期たる本月にありても尙三千二百萬圓の入超を見一月以降の入超累計二億九千五百五十七萬餘圓に達したり之を舊年中に於ける輸出入額に比するに輸出約四割六分輸入約四割を減少したり大體の傾向は輸出の減少輸入に比して甚だしといふべし之が挽回策としては生產費の遞減を圖るの外なきも米價の騰貴に伴ふ各種商品市價の反撥は却て反對の現象を見むとしつゝあり今や外米の輸入は頻りに計畫され他の食料品も續々輸入さるべく斯くて年末までに四億圓内外の入超に終らば此貿易の逆調は依然として存續し輸入期たる明年上半期に及ぶの外なしと察せらる最近に至る迄は在外債權の回收、外國債元利の收納國庫剩餘金の振替等によりて入超尻を決濟したるによりて金融の壓迫を免れたるも今後此等對外支拂を想像せば金融市

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

場は更に梗塞を感ずるに至らむ正貨の流出により通貨の收縮を見なは物價の低落を見るべく今や徐々に安定期に入らむとせる財界をして再び惡化せしむる虞なきやを憂慮せざるを得ず財界の前途は未だ樂觀を許さゞるものなりと謂ふべし

本島財界も重要物產の大宗たる米界の活躍に伴ふて相當資金の繁忙を見たるも糖界の尙一喜一憂の境涯を脫し得ざると一般事業界の不振の狀態にある等により未だ沈衰の域を脫する能はず內地金融界の近時漸く緊縮を見るに伴ふて預金漸減の傾向に轉しつゝあり月末臺北臺南手形交換所組合銀行に於ける預金を見るに臺北にありては四千三百三十五萬餘圓臺南五百九十五萬二千五百四十四圓にして前月に比して前者一百五十六萬餘圓後者二十九萬餘圓を減少したり之に反し貸出は資金の需要期に入りたるにや月を逐ふて增加の趨勢にあり右兩手形交換所組合銀行に於ける貸出殘高を見るに臺北八千五百九十三萬三千餘圓にして前月に比し三百八十九萬二千餘圓を增加し臺南二千三百五十四萬七千餘圓にして前月に比して四十九萬六千餘圓を增加せり重要物產に對する放資殘高を見るに米は月末二千二百二十三萬六千餘圓にして前月に比し八十三萬餘圓前々月に比し一百七十餘萬圓を增加せるは這般來米穀取引の活躍に伴ふ資金の需要を喚起したるものなるべく砂糖亦增加の傾向にあり卽ち月末四千四百九十一萬餘圓にして前月に比し一百八十六萬餘圓を前々月に比し二百九十萬餘圓を增加せり

本春の四十四議會に於て貯蓄銀行法新に制定せられ貯蓄銀行は從來の普通銀行との兼營を許さゞることに確定せるを以て臺灣商工銀行に於ては七月の定期總會に於て貯蓄銀行兼營廢止を決議したり而して同行關係者を中心として新に臺灣貯蓄銀行を設立すべく株式の募集を爲したるに九月三十日應募超過を以て締切りたり

次に**重要物產**の景況を見るに

米界は本年度末收額の減少の報せらるゝと二百二十日前後の天候の不順なりしとは漸騰步調にありし米價をして愈奔騰せしめ定期相場四十五圓臺の高値を現出するに至れり從て島米も內地よりの買注文殺到し一期米の大部分は既に賣約濟となり目下盛に二期米の買進に狂奔されつゝあり價格の如き南部米百斤八圓六十錢を唱へ近來稀有の活況を呈したり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●●糖界は明年度產額六百萬俵と傳へられ而も內地在荷の處分未決なるに爪哇明年度新糖賣出氣配模樣等にて又々軟勢を呈し精糖二十七圓分蜜十四圓五十錢を唱ふるに至れり玖瑪は形勢混沌として最近の市價四弗十二仙と報せられ當分の商況鈍狀を繼續するにあらずやと察せらる

●●茶界は需要地に於ける需要の增加と產地に於ける生產減少に依り市況恢復の機運に向へるもの、如く九月中に於ける烏龍茶輸出額は八萬六千百箱を算し前月に比すれば二萬四千五百箱の增加なりとす相場も標準物百斤三十四圓五十錢見當にして前月に比し約二圓の高値なり

●●炭界は內地に於ける採炭制限申合せ實行以來は貯炭額漸次減少の姿を見せ隨て先高見込の賣澁る模樣あり今や漸く需要期に入らむとし各方面の注文加はり殊に粉炭に對する需要著しく最近二三圓方の反撥を見たるが塊炭は相場大體保合の狀態にあり本島最近の噸當り一等塊炭十五圓切込炭十三圓五十錢粉炭十圓を唱へ居れり物價は依然騰貴を續け臺北に於ける指數一九七・二二を示し前月に比し四・五六の騰貴率にして恰も大正七年七月頃の物價に相當し夫よりも稍高率の方なり各品に付觀察するに騰貴品の重なるもの米小麥粉鰹節綿布等にして砂糖木炭烏龍茶等は低落したり九月中に於ける重要物產に對する各銀行放資額、臺北臺南手形交換月表、臺灣銀行券發行高及流通高、臺北臺南手形交換所組合銀行月表、物價指數表左の如し

大正十年九月中重要物產に對する各銀行放資額

銀行名	區分	米	砂糖	茶	樟腦	金塊	酒精	石炭	計
臺灣銀行	放資額	円 一〇、一八九、一五六	円 二一、九五一、五四六	円 一、二四五、七七九	円 五五二、一〇〇	円 八六、〇三三	円 一四三、八一四	円 二八一、九四〇	円 三六、八六六、四七七
	月末殘高	一六、五〇一、七七二	四〇、二六五、九四四	一、八二三、五二八	一、三六九、〇六八	三六八、一〇〇	七七三、〇五七	六〇六、五一〇	六六、八六六、六九五
華南銀行	放資額	二、六五八、四一二	一、三五八、七三五	八五三、六七五	六四〇、〇〇〇	—	—	九一七、〇八四	六、五三一、六九四
	月末殘高	一、七九八、五四五	一、三四〇、八九五	八六五、四九〇	六四〇、〇〇〇	—	—	九九八、六八八	五、四九八、六二六

新高銀行 放資額	新高銀行 月末殘高	彰化銀行 放資額	彰化銀行 月末殘高	臺灣商工銀行 放資額	臺灣商工銀行 月末殘高	嘉義銀行 放資額	嘉義銀行 月末殘高	三十四銀行支店 放資額	三十四銀行支店 月末殘高	合計 放資額	合計 月末殘高	前年同月 放資額	前年同月 月末殘備	累計 本年放資額	累計 前年放資額
九七一、〇八九	一、一八〇、一〇五	六〇三、七三六	一、一三三、〇一三	三六七、三二一	四五三、四九八	八六、三四七	一七三、七四三	八一九、三六九	一、二〇五、七八二	一五、六九五、三三〇	二三、二三六、四九八	一六、〇〇一、一一三	二三、三六二、六九一	二一一、三九〇、〇〇三	一七〇、三〇〇、六八八
一〇五、一三五	五六六、八五〇	一七三、三八一	五九四、七七五	三一三、七八五	九七八、〇四五	一〇一、三八五	一六八、七三七	四四三、七〇四	一、一〇〇、八九八	二四、三三六、六三九	四四、九一六、一四四	二〇、四五六、二九六	三三、九九一、九九二	二七八、二三四、四九九	二五四、六二三、〇一七
五七〇、三七一	一、〇三四、八七八	—	—	三一、〇〇〇	三七、八五〇	—	—	八、五〇〇	七四、四九〇	二、五八八、三二三	三、八三四、三三三	二、六六一、八〇五	三、七一五、二七二	二〇、二四一、八〇九	一七、七八八、六四六
三一、六四〇	五三、九五〇	—	—	—	—	—	—	—	—	一、二〇三、七四〇	一、九六二、六一八	二、二八七、四五四	四、七九六、八七九	一六、五三八、八六九	一三、九五二、五八四
二四、一七三	一七、四二三	—	—	—	—	—	—	—	—	一一〇、一九五	三八五、五一三	一四一、九〇〇	二六九、一〇〇	二、二四〇、三〇五	一、〇七八、九三九
二九六、三三三	五二八、三三四	—	—	—	—	—	—	—	—	一七三、四六六	八二五、八七一	一九八、〇一八	五五三、一三三	三、七四三、六五九	二、五一三、三九一
二一四、八九四	二八八、三三〇	—	—	四八六、一〇三	七五三、九三三	—	—	—	—	四、四六七、一三二	八、〇六一、一四二	四、七九六、七一六	七、〇四〇、三七九	五二、一八六、一六九	三九、二二七、二二八
一、九四六、九三三	三、一九三、九四七	七七六、一一七	一、七一七、七八八	一、一九八、一六九	二、二三三、三一四	一八七、七一三	三四一、四八〇	一、三七一、四七三	二、八一一、一七〇	四八、五六三、八〇四	八二、二二一、九七九	四七、五四一、三六一	七二、七二九、三七五	四八五、三七五、三〇九	四九九、三七三、四九五

手形交換月表

所在場所	年月次	枚數	交換高	交換尻
臺北	大正十年九月	二六、九二九	一二、八九三、〇六八	三、六六四、九〇三
	同　八月	二七、八〇九	一二、七九九、七七三	四、三二四、六三八
	前年九月	二九、〇五八	一三、二七六、九二九	四、四六六、八四八
臺南	大正十年九月	一五、四八六	四、三一七、〇二七	一、〇五〇、八〇六
	同　八月	一六、一〇八	四、五二二、五八〇	一、二五二、〇二〇
	前年九月	一四、一八六	四、六六六、一九一	一、六三六、三三四

臺灣銀行券發行高及流通高

年月	銀行券發行高	國庫在高	市場流通高	準備竝保證 準備	準備竝保證 保證
十年九月一日	三六、〇六八、三四九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同　十月十日	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同九月二十日	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

同九月三十日	三六、五八七、九五四	三、八九四、四四一	三三、四四九、三一五	二二、八四六、〇七六	一三、四九一、一七八
前月末日	三三、九七五、二六五	二、二一一、〇一一	三三、七二六、二〇四	二二、六五六、一三六	一五、三八四、一六九
前年九月末日	三六、六二六、六二七	三、九八一、一九一	三〇、六六五、五二六	二一、五七九、一〇八	一六、二四七、五〇九

臺北手形交換所組合銀行月表（大正十年九月）

銀行名＼項目	拂込資本金	積立金	諸預り金	貸出金	有價證券	金銀在高
臺灣銀行	四五、〇〇〇、〇〇〇	一一、〇八〇、〇〇〇	三一、三四五、四三三	五一、七五八、九六三	一四、九六〇、三三五	五、四四五、八九三
三十四銀行支店	—	〇	三、九五一、一五九	五、五六六、七四五	〇	一五〇、六一五
商工銀行	三、〇七七、五〇〇	一、〇六六、五〇〇	三、三五九、二六七	六、五四九、四三九	三、二一〇、八九七	四〇、六〇九
彰化銀行支店	—	〇	二、四四六、五九九	一、四三二、〇一七	〇	二三、五三八
新高銀行	三、五〇〇、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇	三、一九六、八四五	六、八九七、六二八	一、〇二八、六六〇	四八、三九四
華南銀行	七、五〇〇、〇〇〇	八四、〇〇〇	二、八七九、九四一	一五、六六〇、二三一	六〇五、九一九	二五、五六七
合計	六〇、〇七七、五〇〇	一五、四四〇、五〇〇	四五、五五二、六三三	八五、九九五、七一三	一九、八〇五、七三一	五、八一五、四三五
前月合計	六〇、〇七七、五〇〇	一五、四五〇、五〇〇	四五、〇一〇、三一〇	八三、〇三一、四〇六	二三、四四四、七〇五	五、八四七、一〇六
前年九月計	五九、九九四、〇五〇	一一、八三五、〇〇〇	三五、五七一、五一〇	七五、五六八、二九六	一六、七九一、七一二	四〇、〇六六、七〇五

臺南手形交換所組合銀行月表（大正十年九月）

銀行名	諸預り金	貸出金
臺灣銀行	一、六〇六、七九〇	一六、〇八九、三三七
三十四銀行支店	一、九七六、〇四六	三、〇七四、六三三
商工銀行支店	九七〇、〇〇〇	一、〇八四、八一五
嘉義銀行支店	一、〇七八、四九七	一、八九〇、三五八
新高銀行支店	三二一、二五五	一、四〇五、四九七
合計	五、九五二、五四四	二三、五四七、六四〇
前月計	六、二四二、七五三	二三、〇五一、三九三
前年月合計	六、〇二〇、六八六	一六、五六二、四七七

臺北物價指數表（大正十年九月末）

品目	本月	前月	前年同月	品目	本月	前月	前年同月
白米	(十) 二三九・六五	二〇〇・五八	二九三・六〇	綿布	(十) 一三八・五五	一三三・五三	一六八・六七
玄米	(十) 一八〇・七〇	一四九・六一	一七六・三三	洋紙	二七八・三六	二七八・三六	三三〇・四三
清酒	二三三・三三	二三三・三三	二三三・三三	日本紙	(十) 二五〇・〇〇	二三三・三三	二七七・七八
麥酒	一八一・六〇	一八一・六〇	二〇四・〇〇	杉板	三五一・一一	三五一・一一	三九四・〇七
紅酒	一五二・七八	一五二・七八	一六六・六七	杉材	三三九・〇三	三三九・〇三	三六四・一九
澤庵漬	二八八・八九	二八八・八九	三二四・四四	洋鐵	(十) 二〇九・三七	一九七・三七	三一五・七九
小麥粉	(十) 一七三・五八	一五〇・九八	一五〇・九八	鉛	(十) 一〇九・三八	一〇四・三八	一五九・三八
砂糖	(一) 一四三・八六	一五三・八五	二四〇・六六	銅	(十) 一一三・二四	九七・九六	一四八・九八
鰹節	(十) 二九〇・九一	二八一・八二	二四九・四九	煉瓦	三六〇・八七	二六〇・八七	三三〇・四三
味噌	(十) 一三八・四六	一三〇・七七	二〇〇・〇〇	日本瓦	一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一九〇・〇〇
醬油	(十) 二二一・三六	二〇二・二七	一八一・八三	板硝子	(十) 二五六・三五	一五〇・〇〇	三八一・三六
鷄卵	二〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇	二六二・八六	セメント	一八三・三五	一八二・三九	三五二・九四
火油	一二三・八二	一二三・八二	一九四・八七	燐寸	(十) 二七六・五四	二七一・六〇	三四五・六八
鹽	一四〇・九一	一四〇・九一	一二五・〇〇	石油	一九二・〇五	一九二・〇五	二三六・一四
煙草	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	石炭	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	二一三・五〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

烏龍茶	(一)	九四・八八	一〇四・六六	一〇〇・九七	木炭	(一)	[illegible]	[illegible]	二六八・六七
包種茶		一一七・三四	一一七・三四	六八・九七	薪	(十)	二〇〇・〇〇	一八五・七一	二三八・九七
白木綿	(十)	一九八・四二	一八六・五一	二六五・〇八	平均	(十)	一九七・三三	一九二・六六	二四四・七七

備考　本表ハ戰前卽大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算シタルモノナリ

本表中（十）印ハ騰貴（一）印ハ下落ヲ示ス

平均指數五箇年對照表

月次	大正十年	同九年	同八年	同七年	同六年
一月	二一九・五四	二七三・五三	二〇九・三八	一七八・三八	一三九・一〇
二月	二二一・四三	二八六・〇八	二〇八・七七	一八二・九七	一三七・五九
三月	二〇五・二五	二八六・九九	二〇三・五八	一八七・四七	一四二・三三
四月	一九八・五〇	二八一・五〇	二〇一・八九	一八二・一六	一五九・六八
五月	一八九・八三	二七二・五四	二〇〇・七五	一八三・九六	一五九・五九
六月	一九一・〇三	二五六・〇四	二〇八・一一	一八七・六八	一四三・三七
七月	一九三・四六	二五三・六八	二二一・二七	一九五・四九	一五五・六九
八月	一九三・六六	二四八・三〇	二三九・七〇	二〇三・三六	一六七・八六
九月	一九七・三三	二四四・七七	二三三・二七	二〇〇・〇三	一六四・九三
十月	―	二三四・二六	二四二・六六	二二一・一九	一六四・一六
十一月	―	二二八・二五	二四八・〇一	二二一・六五	一六六・四〇
十二月	―	二三二・四七	二六四・四九	二二九・六二	一七二・七三

各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	本月平均
十年八月	一〇一・三七
九年九月	八〇・五七
八年九月	八四・八七
七年九月	九四・三五
六年九月	一一九・五九

臺灣商況

＝九月中＝

商工課

▼米

內地米相場左の如し

	定期米九月限 東京	定期米九月限 大阪	正米標準相場（中米） 東京	正米標準相場（中米） 大阪	內地米本島相場 肥前米	內地米本島相場 豐前米
一日	円 三三・四六	円 三四・五三	円 三三・三〇	円 三一・六〇	円 三五・四〇	円 四〇・七〇
十日	三四・八〇	三五・一九	三三・三〇	三三・一〇	三七・五〇	四〇・七〇
廿日	三五・五四	三六・〇九	三五・三〇	三三・五〇	三八・〇〇	四一・〇〇
卅日	三八・三七	三八・九七	四〇・〇〇	四九・七〇	四〇・三〇	四四・〇〇

前月來引續惡天候に買思惑熾盛なりし期米は恰も奔馬天空を驅るの概を示して連日新値新値と棒上に暴騰したるか殆んど一服の間もあらせす打續く天候不順氣にて果ては今年收穫高五千二百萬石の大悲觀說さへ流布せらるゝに至り折柄下旬近畿一帶を荒し本州を斜斷したる暴風雨は頗る猛烈を極め其被害甚大なりし丈更に激騰せしめたり正米は勢ひ期米高の牽制に暴騰し在米增加せるも旣に定期に買繫がれたるもの多く浮動米は益々減退するの一方なりしより之亦益々强調を辿るに至りしもの〻如し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一面外米さしては西貢米の大口約定成立を傳へ或は加州米の輸入を見たるも大勢には何等の反響を與へさりき顧て本島に於ける内地米の商狀を窺ふに内地期正米の暴謄に刺激せられ月初め三十五圓四十錢の肥前米月末四十圓五十錢の暴騰を示せり本島米も亦内地期米の續騰並に神戸市場に於ける地方筋の思惑的買viewあり（寫め底意強硬なりさの報を入れ取引益々活況を極め月末に及ひては北部玄米二十圓七十錢てふ今年未聞の珍高値を現出したるか更に先高見越なり因に本月末迄の移出高は六十六萬九千石を算し前年に比し二十萬七千石（四割五分）の大増を示せり本島米相場左の如し

	北部玄米	白米一升	長糯	丸糯
一日	円一六.五六	銭二〇	円二七.二四	円三三.二〇
十日	一七.三九	二〇	二七.一四	三三.二〇
廿日	一七.四六	二〇	二七.三七	三一.九七
卅日	二〇.七〇	二四	二七.六〇	三二.六六

▼砂糖　九月中に於ける糖況は概して海外市場不味を報し内地市況連日漸落歩調の商勢を辿り氣配益々軟弱に向へるも而も荷動きは在庫滯さ値頃觀よりして地方實需向き相當の活況を見たり精糖市場も分蜜糖に連れ引續き軟弱なる商情を辿り續落氣勢なりしも月末海外引締りに稍々硬化され一方精糖會社の協定成立により一般買人氣旺盛さなれり月末相場左の如し

分蜜糖納税濟もの現物　一九、三〇円
精糖現物基隆本船渡　二七、三〇

▼麥粉　海外産地狂謄を演し輸入不引合さなりたる爲め内地各社共連續的値上さ期米高に思惑筋の仕手關係も加はり滅切り强硬さなり目先き一段の高値を見るべきの商勢なり

九月末入電（臺北渡値段）

龍　印　四、九五　綠ダイヤ印　四、七五
寶星印　四、九五　赤トンボ印　五、二〇

▼烏龍茶　本月に入り米國に於ける臺灣茶のストック漸く減少を報せらるゝや當地市場取引俄に活氣を帶ひ就中々下茶の需要存外多かりしものゝ如く下旬相場は上茶五十圓中茶四十圓下茶三十四五圓見當にて頗る底固き商狀を示せり而して月末迄の買入高累計二十一萬六千箱に達し昨年同期に比するさきは八萬六千箱の増加なりさ云ふ

▼包種茶　大消費地爪哇方面は春來の飽食か因を成し消化力減少せる爲め荷嵩みさなりしに一面には爲替の不利に混入料花高の惡材料を入れ一頃は商勢稍々盃鎖風情なりしも中旬來烏龍茶の好値に誘はれ相場はグット持直し上茶粗製四十圓以上中茶三十圓以上秋花は秀英五、六十圓見當にて相當取引ありたり

▲綿布　本月は例年各地吳服商の準備時期にして相當大口取引行はれ年中取引の最も旺盛を見る時期なるが本年は米棉の不作銀塊相場の漸騰製品の減少等強氣材料現はれしため各地さも買氣一齊に出で久しく沈滯勝なりし斯界も俄に活況を呈し適品は片端より買渡はるゝが如き狀態にして市場商品の消化も餘程順調に行はれしが如し又月中各材料は高保合にして目先移入過多の傾向も見えす米價も大分見直し來りたるため顧客購買力も多少増加の見込立

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ち内地高と共に島内成行は次第に其歩調に附隨し殆んと順潮を呈するに至りしか各営業者の堅實なる方針を立て警戒的態度を以て此際に臨み居るを以て一昨年の如き慘落相場突發するとも其打擊は必ず寡少なるべく實需期に入りたるため小賣商の資金運轉も亦甚圓滑なるが如し
月末相場左の如し

駱駝六百番	一四、五〇円	三輪C天竺	四、一〇円
同　五百番	一〇、五〇	黒無地朱子目	〇、七〇
象兒細布	一〇、八〇	黒無地ポプリン	〇、八五
五福祥竝布	一〇、〇〇	紋ポプリン（二千番）	一、〇〇
龍C粗布	一〇、六〇	黒光輝ジンス（竹虎生地）	一三、二〇
紺小倉	一九、六〇	大尺布（五八〇目付）	四、一〇
縞小倉	一九、二〇	尺六相棒ネル（四六〇目付）	四、六〇
尺一白木綿（三八〇目付）	三、〇〇	尺一白木綿（二六〇目）	一、九五

▼金物　從來全く不安定裡に經過せし金物界も漸く獨逸品の底入に稍々安堵せるやの狀況にて當月は一般に鐵材は引返値を示せり平板鉽力釘類の如きは內地市場材料薄なりしのみならず米國の引締に刺戟せられ又針金は內地暴風雨の爲め需要激增せしに基因し何れも相場は著しく上進を示せり

丸鐵四分（貫）	〇、六〇円	釘類一吋半（百斤）	一八、五〇円
同　五分（同）	〇、五九	同　二吋（同）	一八、〇〇
同　六分（同）	〇、六二	針金八番（一丸八四斤）	一二、五〇
釘類六分（百斤）	二〇、五〇	同十六番（同）	一六、五〇
平板二十八番（一枚）	二、六〇	鐵管内徑一吋	〇、二八
同三十番（同）	二、三〇	同	〇、五八
浪板同（六尺）	二、〇〇	鑄鐵水道用管四吋	〇、〇九
同（七尺）	二、三〇	レール十二封度（一哩）	三、五五〇円
同　・（同）	二、二〇		

▼石炭　當月の石炭界を觀るに島內においては製糖會社を始めとし其他の方面にも需要增進を見たるのみならず臨時船の入港夥しく焚材として積取格別の殷盛を極めたると且つは對岸一帶の消化力意料外に迅速なりしに加へ爲替關係頗る良好にして對香港爲替相場の如き月初一〇四より漸次昂騰して月末一一七・四分の一を唱ふるに至りしを以て此の方面への輸出益々活氣を呈し彼此相俟て炭界は非常の繁忙を來せるものゝ如し盡し沿道炭も漸く復活の機運に向ひたりと云ふを得へき乎當月の相場左の如し

一等粉炭基隆本船渡	一噸	九、〇〇円
一等切込同	同　・	一三、五〇

▼肥料　肥料界は既に需要季節に入り乍ら未だ目醒しき手合を見るに至らさりしも一般に强氣配を示せり先つ豆粕は大連市場初旬來金建實施せられ某銀行の後援もあり旁々取引相應に出來染むる模樣なるやに傳へられ相場も銀高竝に期米連續的昂騰てふ好材料に刺戟せられ逐日好調に推移し基隆沖渡二圓四五十錢と前月値に比すれば二十錢方上進し過燐酸石灰は四割見當の生産減なりしかこれ亦米高及他諸肥料の昂進に伴ひ需要を喚起し相場漸騰して當月二十庻（七貫五百目入）一圓九十錢所を唱へ先行高見越なり硫安も思惑買旺に行はれ米國もの百六十圓に昂進せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼工業藥品　依然實需遊巡一向目覺ましき需要も喚起し來らざるも本來工藥類は一般に殆んど戰前相場を演出せるを以て機會たにあらは値幕への風情なれは市場ストック漸減さ共に強調を辿るに至らんか曹達灰は愈々マガジー社對ブラナモンド社の販路爭奪戰白熱化し前月に比すれば更に一圓十錢方の低落を示し硫化曹達の高値なるは巷間傳ふる所に依れば原料曹達灰安の爲め近來寧ろ苛性曹達の製造に乘り換へられたる關係上本品の生產激減せるに因るならんさ

六六度硫酸二〇〇磅一箱	一五、〇〇
晒粉（カルキ）百個	一四、八〇
六五度硫酸二〇〇磅一箱	一四、〇〇
月印曹達灰百封度	四、五〇
二十度鹽酸一二〇磅一箱	一四、〇〇
洗曹達一樽	四、五〇
四十度白硝酸一四〇磅一箱	二四、五〇
月印一一二封度一樽	一一、七〇
苛性曹達一箱	一二、八〇
硫酸曹達百斤入一袋	四、七〇
硫化曹達一箱	八、二〇

▼セメント　過に需要季節トナリメル內地洋灰界は國內實需の増加さ外注の殺到により稍々氣色ばみ來り途に合同問題も生產制限妥協問題も共に流產に終り今や有力會社筋は製造能力の發揮に努力しつゝありて相場も高値含みの模樣なり乍去本島は淺野工場の生產毎月四萬樽を起え而も海外輸出傾さ思はしからず剩へ移入品も加はり島內供給量豐富さなれるを以て時節柄相當需要なきにあらざれさ兎角不味の商況免る能はざりしが最近漸く天津上海方面に約一萬樽の引合を見るに至れり這は一時的現象に過ぎざるへけんも本島洋灰界にさりては勿怪の幸さや云ふべく蓋し內地洋灰界繁忙の一端を窺知するに難からざらん

▼燐寸　外國向品製造に追はれ過般來急激に擡頭の機運に向へる內地燐寸界は其後依然さして殷盛を極めつゝありて島內相場も當月は月答五十六圓さ高唱へ在荷薄の爲め商內困難なりしも氣配は强含みなり

▼紙　和紙は一時の安值續出以來生產極端に手控られたるより其後弗々相場の立直を見たる折柄目今需要季節に向ひ俄に注文殺到せるに產地は勿論市場にも品不足を訴ふるの情況にして手濟物の如きは殊の外高值相場を報し本年五月頃に比するさきは三割五分乃至四割見當の昂騰にて尙目先一層上向ならんさ觀測せらるゝに反して洋紙は內地の賣行依然捗々敷からざるに滯貨の減少遲々さして見るべきものなく加ふるに輸入品は續々市場を壓するの形勢にて王子製紙會社其他の一流會社にてすら經濟難の聲さへ揚れりさ云ふ本島にありても和紙は品薄なるに洋紙は高值時代仕入品の在荷豐富にて各洋紙取扱商は目下入荷毎に嘆息の狀態なるか何分前述の如き事情の存するより目先尙若干の低落免れ難き模樣なり當月洋紙相場左の如し

模造紙一封度二十九錢印刷料紙一封度二十八錢

▼海產物　產地は本漁期に入りて漁獲思はしからず商賈料潤澤ならざれさ銀價高てふ好材料を得て對支輸出引合ふこさゝて賣腰强く

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

從つて本島市場概して品薄勝にて興味ある商況も見ず唯しか中旬本期初物として鹽鰹の入荷を見たるか値頃は硬りなりしも買手の殷入案外宜敷瞬間にして消化し盡されたり茲許當分は鰹人氣の焦點たらん月末各種の相場左の如し

干　鰛（排　）	五六、〇〇円	干　貝　柱（角　）	九〇、〇〇円
干　海　老	七五、〇〇	小　海　老	四二、〇〇
五　島　鮑	三八〇、〇〇	鰹（無頭）	二二、〇〇
鰹（頭付）	一八、〇〇	鹽　鰹	一二、五〇

▼苧麻　前月來弗々市場氣分を濃厚化せしめつゝありし苧麻は當月主として二水物の取引なりしか銀塊相場の珍らしき高騰に促され對岸輸出向として旺に買煽られたる爲め市況は頓に強調を以て推移しちり高の趨勢を辿るに至れり月末相場は苗栗産上物二十八圓宜蘭產三十圓を唱へたるか目先一段の好値を示さんか

▼芭蕉實　移出先たる内地は青果實の豐富なる折柄とて何分安値ならては買應するものなく移出者側も目先は尙一層の不需要期を控へ居るを以て之か實拔きには幾分念り氣味も加はり盛に積出を爲したるか當月のみにて八萬六千籠に達せりと云ふ島內實も他の果實の出廻と天候關係に妨けられ商狀不活潑にて氣配極めて軟弱を告け相場員林上物七圓臺北產五圓見當と下押せり

▼野菜（臺北）當月野菜相場左の如し（百斤當）

	月初	月末
大根	一〇·〇〇円—一五·〇〇円	一〇·〇〇円—一五·〇〇円
牛蒡	八·〇〇—一二·〇〇	一〇·〇〇—一二·〇〇
丸茄子	六·〇〇	六·〇〇—八·〇〇
長茄子	三·五〇—四·〇〇	二·五〇—四·〇〇
里芋	七·〇〇—八·〇〇	六·〇〇—八·五〇
冬瓜	二·〇〇—二·四〇	二·〇〇—二·五〇
葱	二·五〇—三·〇〇	二·〇〇—二·五〇
玉葱	六·五〇—七·〇〇	七·〇〇—
蓮	八·〇〇—一〇·〇〇	八·〇〇—九·八〇
白菜	六·〇〇—七·〇〇	六·〇〇—六·五〇
胡瓜	三·五〇—四·〇〇	八·〇〇—一二·〇〇
新姜	三·〇〇—四·〇〇	三·〇〇
新菊	一八·〇〇—一六·〇〇	一四·〇〇—一二·〇〇
芹菜	一〇·〇〇—八·〇〇	七·〇〇—八·六〇
豆菜	二·五〇—二·〇〇	二·〇〇—三·〇〇

鳳山あたりにて　　　（屯山）

外つ國の民飢うといふに高砂の
　稻田はてなき秋のゆたけさ

屏東にて

買ひませと木瓜をすゝむ客人（ケーラン）の
　おみな巧みに日本語をかたる

除服出仕の誤解

—朝鮮の珍談—

可行子

此夏、朝鮮を旅行して、色々面白い話を聞いたものゝ中の一つに、次の樣なのがある。

△△警察署勤務の、朝鮮人巡査某の親が死んだので、親族故舊、相集つて通夜をした。其晩のこと、御通夜に集つた連中が、誰もあらうに、死人を前に賭博を初めた。而も、之れを探知した刑事が、現場に踏み込んで、賭博者を擧げてしまつた。

さあ、さうなると、獨り恐縮したのは巡査某である。身苟も警察官でありながら、而も親の死んだ通夜の晩に、賭博の現場を踏み込まれて見ると、自分の地位の頗ぶる危きを感じつゝ、忌引に幾日かを經過した。

朝鮮人は、親の喪に服すること三年であるから、我々と違つて、忌引も相當長い間許して居るらしいが、やがて、或日のこと警察署では、引籠中の彼れに除服出仕の辭令を送つてやつた。

生れて初めて、「除服出仕」と云ふ辭令を受取つた巡査先生、此間の賭博一件のこともあり、さればチツ切り免職になつたのだと思つてしまつた。卽ち、「除服出仕」とは官給の正服を脫いて歸せ、と云ふ意味だと解し、泣きの涙で、正帽、正服、それに帶劍其他一切を、官給の毛布に包んで警察署に歸してよこした。

僕の聽いた話はこれ丈けであるが、然し、この一つのエピソートにも見逃すべからざる、色々の敎訓が含まれて居る。卽ち其の一つは、巡査が親の通夜の晩に、賭博をやるなんて、我々日本人には理解の出來ないことであるが、然し、朝鮮人には何等の不思議がない程、それ程、彼等の間には賭博が常習的になつて居る、賭博を取締るべき地位に在る巡査の家で、而も、その親の死んだ通夜の晩に於ける賭博＝此の邊の心理をよく呑み込んで居なければ、朝鮮統治の完成は期せられないことである。

次に、「除服仕出」と云へば、我日本では少くとも、役所の飯を暫時でも、食つたもので知らないものはない筈であるが、然し、朝鮮ではさうは行かぬ。「除服出仕」の辭令を受取り、素つ裸で役所に出た等と云ふ極端な話もある。それは兎も角として、我々に取りては、何等不思議のないことが、案外第三者に取りては、意外の結果を來すものである。こゝが卽ち、異民族統治の困難なる所以であつて、僕は朝鮮巡査某の演した「除服出仕」と題する悲喜劇に類似の一幕が、世間到る處に演ぜられて居ることゝ信ずる。

言語風俗人情を異にする地方に於ては、政治上に於ても、社會上に於ても、將た又、經濟上に於ても、常に此微妙なる點を充分に考案して、各般の施設を爲すことが何よりも大切なことである。

雜　俎

瑯嶠

仙　俗　居　士

△石門堡上旭旗紅

西郷都督は長崎の根據地に在て、出征將士を集め告げるやう、「此たびは、我々の骨が臺灣の土に成るか、臺灣の土が我々の物に爲るか、二つの一つに在る、諸君これを勉めよ。」語は簡短だが、士氣を鼓舞するには餘りある、之を聽て勇み進發したるは、左の諸艦船、

有功艦　　四月二十七日發五月七日着
　福島領事之に乘る
日進孟春明光三邦の四艦　五月二日發十日著
　谷赤松兩參軍之を率ゆ
高砂丸　　五月十七日發二十二日著
　西郷都督之に乘る

此外に、十二隻の運送船を、終始使用されて居るが、無慮三千六百五十八の貔貅は、前後分乘して、孰れも瑯嶠灣の、射寮に上陸したのである。

此頃の艦船は、今日の如き快速力を、有ないこと勿論ながら、長崎より射寮への航程に、十日許りも費して居るといふは、聊か疑問たるを免れぬ、然り此時、厦門港を以て集合地點とし、之に寄航したからである。當年軍艦と名くるもの、中には、急に香港邊から買入れた古物も混じ、大砲の五六發も放ては、自艦先づ危しといふのもあつたと聞くが、此の厦門寄泊中に、或る艦と艦との間には、信號の初演習を、交換しつゝあつたといふ話もある。想へば生蕃征伐なれこそ、是でも間に合ふたやうなものである、今や日本は、歐洲大戰終結と共に、世界第三位の海軍國と稱へられて居るが、相距ること僅に四十幾年、果して是れ今が嘘か、昔が嘘か。

五月七日上陸したる先著隊は、あちらこちらと陣地を索め、各所に國旗を樹てゝ見たのであるが、兩參軍上陸後の十二日を以て、龜山に本營を置くことゝ決定された、龜山は射寮を前にして、自らに半島を成し、防守と海運に兩便の地である、之が設營と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共に、先づ着手されたるは、降伏勸誘と地形偵察である。

我軍は上陸と共に、漢民に對して安堵を諭したるは勿論であるが、更に漢民を通じて、各蕃社に降伏を勸誘したのである、此事の主任は水野通譯官(遵)であり、其旨を承けて善く働き呉れたるは潘文杰である。(潘姓は漢蕃雜種と知るべし)後ち二十九年中、水野は民政局長として、恒春を巡視し、文杰を召して舊勞を犒らはれたのであるが、文杰既に老ひ、盲目に成て居る、水野の聲を聞て悲喜の涙を揮ひ、「今日の尊容を、拜し得ざるは遺憾なり、願くは我手を以てするの模索を准されよ」と、言ひつゝ起て、局長の頭上より爪先までを、一撫して疇昔を偲びたるが、局長も亦た、賓頭盧(ビンヅル)然として撫られて居た、兩者の至情は溢るゝやうである。

安田老山といふ書家は、前きに上海に遊び、法を胡公壽に學んで居たが、我が征蕃の擧あるを聞くと共に、便船を求めて渡臺し、諸所の看取圖を作て、之を或る武官に託し、其筋に提出した、當年多少の便益と成つたそうであるが、此は國家に對する、書家の本分を盡したのである。

地形偵察に出てたる斥候は、十六日に至り、四重溪に沿へる地點に於て、伏蕃の狙擊に遇ひたるを始とし、是より數回の小衝突があつた、參謀佐久間中佐(左馬太)は是に因て、更に此の方面の地形を審にせんものと念ひ、二十二日を以て、自ら二小隊を率ひ、蜿蜒屈曲たる溪流を溯つたのであるが、行くこと數里、殆ど無人の境である、頓がて兩山相迫り、斷崖對立を成すの處に到り、嗚呼天險よと仰ぎ見るの一刹那、飛彈は忽ち我が一兵の頰を掠む、是ぞ敵蕃が、此の險に據て我を邀擊するのである、スハ心得たりと、我は之を反擊し、頗る驅逐に力めたのであるが、彼は頑强に抵抗して、容易に退却すべくもあらぬ、之を久ふして、我軍方に苦戰中に在りである、此時中佐は、手兵二十餘名を提け、潜かに左岸の深林を辿り、彼の陣地を瞰下し得べき、一斷崖の上に出で、之に向て一齊射擊を試むこと數回、敵蕃ころり〳〵と仆れて、其數三十八、牡丹社頭目アーロク父子も此中に在る、餘蕃見て狼狽し、遂に守を棄て、潰走し始めたのである、是に於て我軍之を追ひつゝ、隘路に橫はれる胸壁の若干を拔き、一と先づ引揚けたのであるが、此の天險こそは、世に謂

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ石門である。此日はちやうど、西郷都督の著船あり、之を聞て其の先幸(サイサチ)を、喜ばれたこと申までも無いが、此報の東京に達して、尤も得意なるは大久保參議、杯を擧げつゝ直ちに一詩を賦せらる。

王師一到殪頑兇。貔貅三千兵氣雄。
請見皇威覃界城。石門堡上旭旗紅。

石門の一戰ありてより、各蕃社は續々歸順を表して來たが、來ないのは牡丹社を中心として、高士滑と女奶に亘るの一帶である、ソコデ六月三日を期し、之に向て總攻擊を開始することゝ成り、其の部署は、谷軍を以て風港より、牡丹社の背後を衝き、赤松軍を以て竹社より、高士滑を襲ひ、中軍は都督自ら指揮し、四重溪を溯て、牡丹社の正面に出づるのである。いよ〳〵其日に至りたれば、諸軍皆な想ふやう、彼の石門に於ける斥候衝突ですら、此の如きの頑強である、其の巢窟に臨みての本戰は、果して如何許りの抵抗ぞと、斯く覺悟して進んだのであるが、行けども〳〵、敵の隻影をも認めない、蕃屋は有ても、悉く空虛に成て居る、皆な何方へか、已に逃亡して了つたのである。僅に谷軍が、女奶社を過ぎるに方て、一番(名はサバイ)を殪したが、此は銃器を遺すれて、引返した途端であつたといふ。諸軍は一旦牡丹社に會し、徐々本營に引揚げたが、雙溪口以下の各要害には、仍ほ大小部隊を駐められてあつた。

日本軍の牡丹社に入れるとき、逃げ遲くれて捕虜となれる、十二三歲の一少女がある、龜山本營引拂ひの時に及び、牡丹社は之が引渡を乞ひたるが、日本軍は之を拒み、「後年必ず歸社せしむべし」とて伴れ行かれたり、少女は果して三年目に歸社し、日本衣服は固より、櫛簪の類、且つは種々の麗しき布類など、携帶させられたるが、既に蕃語を忘れて了ひ、當分は互に不自由であつた、同人は一生夫を迎へず、明治三十九年頃まで、存命して居たといふ。(高士佛公學校長横山辰哉氏の報に據る)

蕃社には今も、サイゴウ(西郷)といふ言葉ありて、精巧堅實の代名詞だといふ。其の起因は、雙溪口邊に在る我軍胸壁を見て、其の精巧堅實に感服したからである。朝鮮人のチョンゴシー(中國式)、內地人の上等船來と、同意味の三幅對である。六月八日、各蕃社の頭目を、龜山本營に召集して、歸順式を擧げ、歸順證票と、保護旗章を授けらる、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

但し牡丹、高士滑、女奶の三社は、、九月であつた。是よりして都督府を建て、病院を設け、橋梁を架し、道路を修め、屯田永住の計を立てたが、從軍米人ホウスは、其の手記に、

日本は遂に斷然たる處置を執り、獨り其の臣民に對して、安全を保障するのみならず、各國民に對しての人道大義を、伸張すべき政策を、實行せむことに決心せり。

一讀以て大隈總裁以下の意向を窺ふべしであるが此狀を見て愕然たるは、清國側である。

△清國の主戰論

曩きに有功艦に搭じて、長崎を先發したる福島領事は、厦門著と共に、一書を閩折總督李鶴年に貽り、「我國は今回、いよ／＼臺灣蕃地に出兵すべく、理由は昨年、總理衙門に於て申置たる通り、但し貴國領民に對しては、秋毫も犯すなきこと勿論に付、御安心あれ、」との意を告げたるが、福州なる總督は、折返して

臺灣は我が境土なり、土番の犯禁は我自ら處置せん、何ぞ日本の力を假らむ、請ふ速に軍を收めて退出し、兩國の誼を啓く毋れ、

流石は老大帝國の邊疆大官なり、總理衙門に於ける交渉などは、露知られぬやうである、又溯て琉球人遭難の當時、前任總督文煜は、臺灣鎭に命ずるに、生蕃の膺懲を以てせられたが、在臺武官誰一人として、其命を果すものが莫かつた、といふ事實も知られないやうである、李總督は領事への答書を作ると同時に、早飛脚を以て委細、上奏に及ばれたのであるが、此時新任の柳原公使、已に北京に著し、同意味の通牒を、發せられて居つた後である、ヨモヤと思て居た北京政府も、今更に驚き慌てゝ、取敢へず福州より、船政大臣沈葆楨を司令官として渡臺せしめ、提督唐定奎には師を率ゐて、之に踵がしめられたのである、沈葆楨の渡臺は七月初旬(陰曆五月)にて、彼の龜山本營に於ける、蕃社歸順式の擧げられてより、約三週間の後である、沈葆楨は先づ府城(臺南)を見廻り、防備を點檢し、相當の手配を加へられた、此は瑯嶠の日本軍が何時、攻寄せて來るかも知れないとの懸念からである、去れば清國上下も騷然として、沿海一帶は戒嚴し始めたのである、當時幾多の敵愾的文章は、世に現はれたのであるが、就中

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

最も猛烈と稱せられたる、江蘇布政使應寶時の主戰論といふは

日本は詞を藉て釁を構へ、我が邊地に鬪入し、我が蕃民を虔劉す。中國は舊好を全ふせんと欲し、理に據り爭に與みし、遽に武を用ゐす、玆に之が爲に樓堵を建造し、商船を保護するを許す、寛大極まれりと謂つべし、（樓堵商船は上海の光景を指す、同地四馬路の如きは、當年長崎天草の婦女を以て、滿されたりと云ふ。）詎ぞ料らん、彼は虛言を以て我に款しやかにし、久しく蕃社に踞まり、蕃人を誘ひ脅かす、群蕃は凶餤に迫まらるれば、勢ひ必ず盡く羈縻を受けん、則ち臺灣の地は、我と之を共にするなり。夫れ臺灣は小なりと雖も、我が聖祖仁皇帝、（康熙帝を指す）勤勞二十年にして之を得るもの、臺灣に事あれば、則ち處々戒嚴す、古人いふ、一日の縱敵は數世の患と、今の臺灣蕃事の謂ひなるなり。且つ諸國通商以來、猶ほ範圍に就き、戎心を啓かざる所以のものは、條約の在る有るを以てなり、今や日本は條約を守らざるに、若しも志を得せしめは、惟に竊笑する所と爲るのみならず、西人は更に中國を藐視せんとす、今の計たる、宜しく其事を擧げて諸國に布告し、直ちに之と戰ふべきのみ、然りと雖も、古の外を馭するもの、必ず能く守て、而る後ち和の恃むべく、亦た必ず能く戰て、而る後ち守の完かるべきなれば、其の內地に戰はんよりは、外洋に戰ふに如かず、其の外洋に戰はんよりは、彼國に戰ふに如かず。然らば則ち綜じて之を計るに、今日界ふるに蕃地を以てし、曲げて和約を全ふせんに、兵端は少らく弭むべき若けむも、而かも、後患は窮り無けん、且つ和とても、亦た恃み難し、策の下なるものなり。計を驅逐に決し、其の入境を待ちて、隨時に之を禦ぐ、策の中なるものなり。先づ非常の擧を爲し、以て積弱の勢を奮はば得失は參半ならんと雖も、猶ほ坐受の弱者たるに愈る、是れ策の上なるものなり。（安井息軒の新著「左傳輯釋」を、明治初年木版活字を用ゐ、彥根藩にて出版したるもの、早くも支那に渡り、之を見て「攷證精核。能發前人所未言。」と推賞し、直に翻刻に附して、自國に紹介したるは應寶時なり、其書、間もなく日本に逆輸入す、隨て同人の名は、當年の我が學者間にも知られたるが、此の文中に、殆んど常例たる蠻夷呼ハりの無きは、是等關係にて比較的、日本を知れるの人たるを察するに足る。）

所論の要旨は、「臺灣を日本と二つ分けにするやう

にては、御先祖に對して相濟まぬのみか、慥に後日の患である、驅逐拂ひなど〻、手緩いこと言て居ないで、一つ大奮發、日本の本國を責めやうちやないかしと云ふに在る。此時の支那は、長髪賊の大亂を平定して約十年許り、之を清朝中興の盛時季と謂つべきである、曾國藩は僅に二年前瞑目したが、其他の元勳は殆んど皆な揃つて居る、湘勇淮勇の名は天下に響き、途に遇ふ豆腐賣までが、軍功五品の人であるなど、戰場に馴れたる退伍者も多し、强弱は比較の上の稱であるが、公平に言へば、此時必しも積弱では無い、支那が日本と戰はうとするには、實際最好時代であつた、而かも其の目的を達したりとせんか、幵は元主忽必烈の靈をも、地下に慰むるわけになる、由來窮鼠は猫をも嚙むといふが、猫大の國が、鼠小の國を伐たうといふのであるから、此は所謂學者の空論として、視ることの出來ぬのである、去れば當事者たる毛昶熙、沈葆楨の若き、皆な强硬なる主戰論者であり、福建巡撫王凱泰が、兵二萬に將として、臺灣の日本軍を、一揉に揉潰さうとする噂のあつたのも、强ちに根據の無かつたものとは謂へぬ、斯る議論は六月頃より湧起し、十月末に至て最も高潮したのであるが、日本の廟議は、早く已に七月九日を以て、何時にても海外出師の事と、内決されてある。

原始民俗に顯れたる酒

蕉　鹿　夢

大戰副產の一ツに、禁酒といへる傾向を伴ひ出だし、本邦にも亦稍々其波動の趣が見ゆる、神代このかたの行事として、『豐明に、アカラヒ坐さむ』と祝詞の中に書き記るしてある如く、其故實ある竟宴に、大御顏の赤くなる程、御酒きこしめしたといふ舊慣の惰力に向ひ、將來多少の影響を及ぼすものがあるであらう、夫れに因みて、玆に原始民俗に顯れたる酒の一齣を思ひ浮べた。

嘗て歐羅巴の一宣敎師が、南洋のニユギニイ土人に對し、基督敎の上帝が、最上の幸福を人生に與へたまふといふ事を敎へたりしに、彼等は之を聞き、然らば、神は吾が携ふる酒罎の中に在ますであらう、何となれば、其罎に充てある飲料を口にする時程、多くの幸福を感ずることが無いからであると、謂つ

たといふ逸話はあるが、日本人の古代思想にも、酒を認めて神業に擬したること、『このミキは、吾がミキならず、大倭なす、大物主の醸しミキ』てふ、崇神天皇紀の古歌にて判かる、そして日本語の酒を意味するサケといふのは、蓋しサカエの約りにて、之を飲めば、笑み、榮え、樂むの義に出でたといふ、古來の解釋も、果して眞に語源の肯綮を得たるや否やは別として、日本人の對酒觀念の流露としては、亦大に味ふべき價値あるを認めねばならぬ、西洋にて酒をスピリットと呼ぶなども、同一の意味より導かれたので、酒は僅かに醉快挑發のために用ひらる、刺戟物である、說文に、『酒は就なり、人性の善惡に就く所以なり、一に曰く、造なり吉凶の造り起る所なり』とある如きも、ツマリ一轍の見地を、道德的に言ひ現はしたる反面に過ぎぬ。

我が神代の昔、八岐大蛇は、八鹽折の酒を飲み、醉倒昏臥して、素盞嗚命が十拳の劍の銹と消えたる神話は、日本建國神器の濫觴を傳ふる前提であるが、其酒は、もろ／＼の木の果を以て釀すべしと敎へられたといふことであるから、原料を果實に取つたのが明かであるし、謂ふ所のヤシホヲリとは、幾度も幾度も繰り返し、糟を絞りて釀したる、强烈の酒を指すのであるから、酒造工藝の上に、旣に一日の長あつたことが知れる、創世記に據れば、義人にして其世の完全者なりとして、上帝の殊寵を蒙り、特に洪水の淪沒を救濟せられたる、ノアすらも、農夫と爲りて葡萄園を作るを始めし時、葡萄酒を飲み過しつゝ泥醉し、裸體となりて、天幕の裡に横臥し、其子の面前に、醜態を顯はしたので、面を背にし、後向きに步み行き、衣を取つて父の裸體を覆ひ隱したとある、又支那の歷史を繙くに、古に醴酪ありしが、禹の時に至りて、儀狄といふもの酒を作つた、禹飮みて之を甘しとし、後世必ず酒を以て國を亡す者あらんと言ひて、遂に儀狄を疎んじたとの事を傳へ、醴は甘酒で、麴少なく米多く、一宿にして熟す、酪は牛馬乳より造る所、人をして飛澤せしむと、解釋されるから、甘酒や乳酒の起源は、恐らく漢民が江河の中原に發展せざりし以前に有せし、原始土俗の片影で、强き酒精の釀造は、夏の世の全盛に伴へる文化の生みし現象とし、一たび之を飲みたる禹王は、陶然として微醺の佳境に入つたと見ゆる。

日本皇朝の時代となりて、三韓を經由して傳へられたる、新しき酒造の智識は、ツマリ斯最後の系統

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の酒精であつて、武神の一大權威として、取り別け中世源氏の崇敬篤かりし應神天皇は、百濟より渡り來れる、ススコリといふ者の釀造せし御酒に、いたく醉はしめられ、御心浮き立ちたまひていづこともなく、すゞろに出でまして、太和と河内との交界なる、逢坂の路の邊の大石を、杖にて打ちたまひしかば、無情の石もビツクりしけん、其石忽ちに走り避けた、本邦の古るき諺に、『堅石避醉人』(カタシハモ、エヒビトヲ、サクル)といふことのあるのは、此故事より出でたのだと、古事に載せてある、さて此記事の序でに、附載するを忘れてならぬのは、我が大新嘗祭の重大儀式に使用せらるゝ、黑酒の事である、黑酒の古制は、クサギ(馬鞭草科に屬する常山木)を燒きたる灰を以て、常の酒に和して作るといふ、人造的の加工進歩を示してあるけれども、顧みて臺灣の平埔蕃(即ち熟蕃)に行はれたりし、原始的釀酒法の一に、糯粟又は糯米を蒸熟せるに、水を以て漬透し、更に粟稈又は稻藁を灰に燒きたるを和して攪き、雍中或は竹筒に貯へて、釉と爲し、隨時に、別に蒸熟せる粟や米に、水と共に混入して、黑濁を帶びたる一種の酒を造つた風に聯想するときは、に思ひ半ばに過ぐるものあるを覺ゆるやうである、現に平埔蕃のアリクヌと自稱する部族中の南北投熟蕃の如き、近代まで、既に漢風に倣ひて白釉を酵母とし、酒を釀すことを知れども、一年一次に擧行する祭祖の儀式には、更に之に少許の藁灰を和し、黑色の酒と爲せしを用ひて、告朔の餼羊を存しつゝあつたが、是れ宛かも韓漢の文化を採容せる以後の我が國に行はれし、黑酒の古制に比較して、謂ふを得べくんば、同一歷程に在るかの感あるを禁じ得ぬのである。

さて我が古語にて、酒を造るを、カムといふのは、原と其原料を口に嚼み、唾液に和して釀せしより、起つたといふ一説がある、日本決釋に、『上古の代、口中に米を嚼み、吐いて木櫃に納れ、日を經て酣酸す、之を名づけて醴と爲す、故に今酒を釀すことを謂て、嚼むと爲す、是れ其法なり』と見え、且つ『今南島人の爲す所も此くの如し』と附註してある、是れは良しや全體であらぬとしても、一部の事實を語つて居るので、大隅風土記の逸文に、

大隅の國には、一家水と米とを設け、村に告げめぐらせば、男女一所に集りつゝ、米を嚼みて、酒船に吐き入れて、ちり〴〵に歸りぬ、酒の香のいでくる時に集りて、嚼みて吐き入れし者ども、是を飲むを名づけてクチガミノサケといふ、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と書いてあるのに合せ考ふべきであらう、そして古事記應神天皇の段に、吉野の國栖が事を記るして、『吉野のカシフに、横臼を作りて、其横臼に、大御酒をかみて云々』とある横臼といふのは、竪臼に對する横に低き一種の臼、卽ち前にいふ木槽の類かと見らるゝのである、而して此風、今南島の爲す所此くの如しとある通り、其分布線は決して狹くないのであつて、之が的例は、眞臘風土記に、『美人酒は、美人の口に含みて之を造る、一宿にして成る、最も奇なり』とあるに取られる、眞臘は、古の扶南、今の交趾支那のカムボヂアであるが、決して奇異とするに足らぬので、現在臺灣の阿里山蕃中にも、同一なる醸酒法を存して居り、明治の初年頃までは、北海道のアイヌの中にも、此原始的風習が見られたといふことである、ノアが泥醉せる葡萄酒の製法は如何に在りけん、或は葡萄の實を嚼める唖醬では無かつたゞらうか、

梁書の海南傳を按するに、扶南國の條に、『其南界三千餘里に、頓遜國あり、海崎の上に在り、地方千里、城は海を去ること十里……酒樹あり、安石榴に似たり、其花を採り、甕中に停むれば、數日にして酒を成す』と書いてある、扶南卽ちカムボヂアの南界なる頓　とは馬來半島南端の稱呼たるタンヂョンで今のシンガポールは之に含まれてゐるから、酒樹のある城といふのは、言ふまでもなく、シンガポールを指したのであつて、同地方の馬來人は、一種の植物の花粉を採りて、醱母に利用する慣習を持つて居たことが知れる、臺灣の生蕃中にも、黎科植物の花粉を以て、醱母と爲す風あることは、人の知れる所である。

蓬櫳夜話に、『黄山に、猿猱多し、春夏に花果を採り、石窪中に於て、醞釀して酒と爲す、香氣數百里に聞ゆ』と記す、東北の或る地方の方言にてサルノコノミザケといふのは、卽ち是れであるといふから、日本内地の猿類にも、嘗て見らるゝ實際と思れる、人猿同祖の接近が斯種の原酒に負ふものある點なども亦面白い。

茲に終りに臨み、名高きブンヂ氏の、酒の評を引き、此卑稿の結論に代ふることにする曰く、

人類の酒に對する程、不可思議なるはあらぬ、彼等は、會ふに飲み、別るゝに飲む、饑ゆる時は、饑を癒さんがために飲み、飽く時は、食慾を起さんがために飲む、寒き時は、溫を得んがために飲み、暖き時は、涼を取らんがために飲む、眠りを催す時は、之を排せんがために飲み、眠りを得ざる時は、睡味を深からしめんがために飲む、悲みに飲み、喜びに飲み、洗禮に飲み、葬式に飲み、何に飲み、彼に飲み、飲んで　　する所があらぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

詞　苑

大正十年秋日。開茶話會于官邸。招全臺詩社諸友。席上賦示

讓山　健

我愛南瀛景物妍。竹風蘭雨入詩篇。
堪欣座上咸君子。大雅之音更蔚然。

敬次

讓山總督閣下蒙示瑤韻。賦呈硯北。粲正

末松偕一郎

木犀花開金色妍。酒中談屑盡成篇。
高軒此日招名士。天氣清和養浩然。

川崎卓吉

南國秋來花木妍。滿園佳色入詩篇。
公餘明府招賓客。偏愛風流共穆然。

吉田平吾

不將花月鬬嬋妍。只誦古詩三百篇。
我識老公眞面目。思無邪處獨怡然。

下瀨謙太郎

風日清和花木妍。群賢倚檻寫名篇。
詩思不假青驢背。復是灞橋孟浩然。

相賀照鄉

楓葉映池秋色妍。倚欄閱去幾詩篇。
明公得意須看取。更賜酒杯共粲然。

齋藤愛二

秋入南瀛山色妍。曳筇閒賦幾詩篇。
爲知明府扶風雅。倚檻簪纓咸穆然。

片山秀太郎

楓林秋老望鮮妍。詞客詠游爭成篇。
明府停車臨此土。南瀛風雅更彬然。

池田幸甚

紅葉欄杆照水妍。一觴一詠忽成篇。
優游明府無他意。名教之中自穆然。

武藤針五郎

南瀛風物入詩妍。下筆忽成幾詩篇。
惟見海濱鄒魯地。更迎明公欲彬然。

喜多孝治

碧蕉紅竹各爭妍。把筆寫來風雅篇。
化蜀文翁今復在。人間草木咸欣然。

赤石定藏

群英步韻各爭妍。彩筆如花忽作篇。
但爲名公能愛士。座中無客不欣然。

大正十年十月。讓山總督閣下。招集全臺詩社諸友。開茶話會於總督官邸。席上蒙示佳什。敬次原韻。奉和。

林熊徵

筆花墨綵各芳妍。快讀瓊瑤第一篇。
更喜文章鳴盛世。七鯤山水亦悠然。

顏雲年

玉尺衡才別醜妍。儒林應爲錄新篇。
賚公整頓乾坤手。文物鯤瀛更蔚然。

洪以南

梅花爭放菊爭妍。高閣名公賦雅篇。
霖雨宏施體天意。爲沾鷗鷺更油然。

謝汝銓

和璧隋珠各異妍。戟門趨謁上詩篇。
知公別有如椽筆。能寫乾坤大自然。

魏清德

秋月春花各鬬妍。七鯤風物入詩篇。
卽今名士多於鯽。誰是襄陽孟浩然。

林佛國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南瀛時物漸華妍。文献待修雅頌篇。
今日分曹陪作賦。欣香道貌獨巍然。

黃贊鈞

滿庭花卉正爭妍。盛世同賡集雅篇。
韻事當年說牛渚。明公此日更超然。

許梓桑

陽春白雪自清妍。貂續難賡詩一篇。
物與民胞逢盛治。扢揚風雅更歡然。

劉克明

南國秋涼菊正妍。龍門席上獻蕪篇。
揚文會喜田公繼。大雅扶輪自卓然。
詩詞珠玉共清妍。爭誦竹風蘭雨篇。
自是英雄閑日月。披箋題句樂陶然。

陳其春

明陪勝會菊花妍。難得推敲李杜篇。
大雅扶輪公獨擅。三臺飽德共欣然。

李碩卿

何用元精鑑醜妍。經綸功已著成篇。
多公自治開新制。萬姓如崩厥角然。

蘇世昌

鯤溟山水更增妍。潤色明公錦綉篇。
治蜀文翁今復覩。菁莪棫樸共欣然。

張純甫

天南風物四時妍。闔甚揮毫著簡篇。
今日修文應偃武。不禁鼓腹一陶然。

林纘

光風霽月自鮮妍。況復鴻文擅百篇。
此日東門似東閣。布衣長揖共歡然。

林子楨

霖雨南溟草木妍。群黎爭讀法新篇。
明公道德文章富。錦繡珠璣氣浩然。

王自新

高懸明鏡別媸妍。雅集今欣拜雅篇。
鯤島萬家生佛仰。甘棠遺愛信能然。

倪炳煌

時正陽秋菊正妍。偷開政暇賦吟篇。
明公雅有風流趣。不遜襄陽孟浩然。

林摶秋

簡々詩妍文亦妍。龍門獻策寫千篇。
愧予莫展經綸志。久老林泉養浩然。

楊仲佐

寫得新詩字々妍。龍門今復賦章篇。
莫非德政人權仰。一曲昇平豈偶然。

葉鍊金

椽筆豪雄墨彩妍。更收風景入詩篇。
三臺自此歸文治。犵草蠻花亦帖然。

黃水沛

登龍人物覺增妍。無限深情任一篇。
吟到竹風蘭雨句。詩思畫意最天然。

黃河清

砥柱瀛東卓地妍。家絃戶誦入詩篇。
巡宣坐論雍容事。儒雅風流本自然。

杜柳山

清詞誰敢與爭妍。斐度襟期寫錦篇。
獨羨虛心能愛士。堂開綠野樂陶然。

施萬山

逢春草木及時妍。頌德文章賦百篇。
我願春風永無盡。萬民仰處共陶然。

歐劍窓

文教從今景倍妍。得瞻錦繡寫新篇。
騷壇聲價添榮耀。共仰清思亦暢然。

林夢梅

天地江山景色妍。秋風萬里入新篇。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

騷壇聲價從今重。海外文章一煥然。

高肇藩

蓬瀛風物最華妍。喜傍棠陰咏一篇。
今日明公啓東閣。羅花庭草亦欣然。

黃星闕

讓將詞藻附爭妍。下里難和白雪篇。
召伯甘棠歌蔽芾。三臺士庶共欣然。

曹水如

敢將詞藻附芬妍。解逕河清頌一篇。
勝會難逢秋來老。蒼松翠柏羨森然。

蔡三思

雨露均沾草木妍。東瀛到處頌詩篇。
公餘猶自教風雅。經濟文章兩卓然。

張一鴻

化雨春風萬物妍。公餘涉獵牧民篇。
清水一片幽懷裡。照得詩心共霽然。

王子淸

士到龍門倆亦妍。一經賞識便佳篇。
風高吐握虛懷谷。德在民生功卓然。

鄭如林

雨露恩承草木妍。臺山瀛水入詩篇。
明公雅有騷人趣。振起斯文自卓然。

黃梅生

滿庭草木各爭妍。佳句推公第一篇。
有脚陽春來筆底。隨風入座響琅然。

劉振傳

明公德政有餘妍。經史胸羅數萬篇。
今日叨陪逢勝會。江山草木盡欣然。

陳登瑞

細草欣々向日妍。植民己纂奏功篇。
從今自治收佳果。熙攘謳歌到處然。

蔡桂村

臺灣文物判媸妍。囊括甄陶入賦篇。
外分沐恩參盛席。菁莪造士盡欣然。

陳晋

衡鑒群材別醜妍。訓詞懇切牘連篇。
早知出馬蒼生望。一視同仁澤沛然。
瀛州風景縱稱妍。賴有明公治績篇。
臺島臣民齊額首。謳歌鼓舞樂安然。

澤谷星橋

滿園泉石爲誰妍。愧我追陪無好篇。
一視同仁文化美。秋風遣興樂陶然。

簡楫

平泉花木四時妍。勝會何人賦一篇。
畢竟荊州能愛士。階前尺地許昂然。

簡朗山

長春艸木競鮮妍。有妻同賡衛武篇。
此日三臺齊飽德。一吟一詠一陶然。

鄭永南

筆大如椽聲亦妍。騷壇絕唱頌新篇。
平泉雅集問花草。多士喜從共欽然。

葉連三

江山錦繡草鮮妍。活潑甘棠蔽芾篇。
三百萬民低首頌。春風同被各欣然。

黃純青

雨澤覃敷草木妍。牙籤滿架富詩篇。
輶軒別作勞蒐採。輿論人心盡欽然。
菊花香裏啓吟筵。裙屐翩々句好聯。
扢雅揚風歌盛世。恩波普及海南天。

黃守謙

經綸煥出筆花妍。於雅揚風二百篇。
化蜀文翁傳韻事。古今治績有同然。
東閣延賓菊正妍。武公初制有詩篇。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明新源露舒甘後。草木欣欣已燦然。

黃　金　發

一庭花木良清妍。喜讀明公錦繡篇。
自愧才疎詩學淺。推敲句法未純然。

黃　玉　書

領略亭池景色妍。敬恭共賦鹿鳴篇。
內臺一樣無區別。自治歡聲到處然。

簡　長　春

瀛洲花木四時妍。席上珠璣賜一篇。
却喜自施新制後。群黎鼓腹樂怡然。

周　石　輝

白雪才華草比妍。鯤溟駐節富吟篇。
卽今南國宜王化。鼓腹民歌樂晏然。

游　榮　春

草木欣欣景象妍。衆聲齊和鹿鳴篇。
明公別有憐才意。格調清高孟浩然。

陸　昌　義

文如錦繡選猶妍。萬世規模第一篇。
駐節瀛州施月治。民間頌德盡欣然。

吳　牛

南國甘棠葉葉妍。化行俗美賦新篇。
鯤鯓黎庶沾恩厚。頌德歌功到處然。

簡　祖　烈

惠澤如膏草木妍。萬民齊頌九如篇。
瓣香我欲頻低祝。瀛島長留孟浩然。

吳　袞　臣

一視同仁政澤妍。春風化雨致佳篇。
閒餘別趣耽詩賦。骨格清新孟浩然。

呂　傳　琪

化雨均沾草木妍。風流文藻見吟篇。
和聲鳴盛徵今日。治績如公豈偶然。

鄭　家　珍

生花妙筆有餘妍。高曲難賡白雪篇。
大雅扶輪憑隻手。勳功端不讓燕然。

鄭　神　寶

更新雨露草爭妍。頌德詩成到百篇。
從此陽春應有脚。口碑載道樂陶然。

鄭　香　圃

絕好吟眸秋色妍。隨風唾玉入新篇。
鹿門歸隱他年事。我愛風流孟浩然。

鄭　養　齊

藻鑑能教辨醜妍。扶輪也誦鹿鳴篇。
明公不尙申韓術。黃老無爲任自然。
茅舍燈花乙夜妍。消閒便把古人篇。
鹿門倘許歸耕日。稱比當年孟浩然。

葉　文　游

烏媚新晴景物妍。江山終古拓吟篇。
同人何分聆金玉。小集鈴轅與偶然。

鄭　玉　田

擎天一柱是孤妍。學富淵源不計篇。
聖眷渥優臣盡瘁。小民獻頌樂陶然。
呱呱墮地已鮮妍。頌德爭詩三百篇。
一自漁邦施雨露。林花野草亦蘇然。

曾　吉　甫

毘耶花木四時妍。治化俱宗管子篇。
我愛陽春行有脚。不教美利負天然。

李　逸　樵

靜觀萬物各爭妍。自愧無才賦一篇。
難得扶輪依大雅。同堂吟咏足欣然。

曾　寬　裕

錦繡江山入畫妍。公餘詩詠鹿鳴篇。
刑清政簡春如海。風月閒談憶浩然。

張　鵬

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

平泉花木倍幽妍。滿幅珠璣詩一篇。
龍馬精神猶矍鑠。小園秋色自天然。
黃花嫩草任鮮妍。好獻文通十二篇。
此日臺陽新治策。銘勳端合勒燕然。

鄭濟卿

心花發共筆花妍。賦罷長篇復短篇。
從此吟壇倍生色。賴公提唱盡欣然。

晚節高標菊正妍。枯腸索盡未成篇。
歌功頌德知多少。不獨人然我亦然。

林幼春

江山詩筆兩清妍。萬紙傳鈔晏玉篇。
鳴鳳自關新氣運。寒鴉群噪總徒然。

連雅堂

海國風光本淑妍。玉峰秋色入詩篇。
公餘獨理絲桐奏。爛漫庭花艷欲然。

林子瑾

老鳳詞章出衆妍。大徵騷客寫詩篇。
知公欲策今時局。先向文壇覓計然。
園亭風景倍嬋妍。政務之餘詩滿篇。
今日亦蒙呼召至。披吟獻醜總欣然。

永島蘇南

凌來李杜彩毫妍。才藻如花綴繡篇。
臺島布成新制度。謝公一出世恬然。

施文遠

高懸人鏡判媸妍。鈴閣公餘手一篇。
民力涵濡文化普。有亭合與署超然。

黃臥松

最喜今朝景色妍。群賢會集賦詩篇。
三臺治績歌功德。邸第風光本自然。

旭日光輝萬里同。皇恩浩蕩頌瀛東。
綱常大義尊儒術。澤被臺疆治道隆。

楊鏡湖

保障東瀛百卉妍。有懷願頌鹿鳴篇。
蘭亭修禊同今日。風雅宜人出自然。

洪以倫

筆花五色競爭妍。羅寫山川入繡篇。
未似北征資車騎。豐功竝可勒燕然。

吳上花

不獨清詞綺語妍。收將風物入詩篇。
特開議會諮民意。艸野人知無間然。

傅仲輝

離披藻彩百花妍。欲作田公頌德篇。
自愧才疎非范韓。恐驚落筆不超然。
名花品質本來妍。正合賦詩各一篇。
恰好幽園排雅致。參差秀色出天然。

許廷光

快讀紆餘以爲妍。隨風珠玉綴成篇。
藤園韻事公能繼。會啓揚文昔已然。

黃欣

華花墨絲各芬妍。華國阿誰第一篇。
千古文章庾開府。得高人處是超然。

林湘沅

詩成珠玉筆餘妍。直織風人三百篇。
得句也如將奏捷。論功端合勒燕然。

梅占春先菊吐妍。動人吟興錦成篇。
況逢元老開東閣。大雅扶輪豈偶然。

鄭作型

矍鑠精翁氣色妍。南山献頌詩一篇。
多公風雅維風化。瀛島文章必煥然。

同人

席上賦呈　讓山總督閣下竝似諸

黃欣

一林風葉半成丹。聽鼓參衙爲應官。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豈有經綸訪政客。且將旗鼓鬪騷壇。
當年頻擊催詩鉢。今日同叨大府餐。
更喜蜺旌龍節第。許教吟侶此盤桓。

全臺擊鉢本會蒙瀛社友見招。因病不能赴賦。此奇呈參會諸公。兼奉。
讓山督憲。乞粲政。

背峰　施家本

浩浩風瀾大九州。乾坤是處集閒鷗。
詩成白雪難和句。人在春風得意樓。
胞與好將吟抱抒。江山都向錦囊收。
梅花東閣燈明夜。憶到梁園舊客不。

恭和

讓山總督閣下蒙示瑤韻以獻執事。余頃日擇新人銀三字爲韻。苦鍊淡句自試才。疊用漸及五十首。心期尚遠。是以胸中私誓不用他韻。此日抑爲頭字韻者。吾非必好奇。實不能背初志也。

鷹取岳陽

新詩賜我碧雲妍。人傑自看雄大篇。
瑤韻刻香和未就。銀爐煙斷欲蕭然。

（追　錄）

孤松　小松吉久

還似菊楓相映妍。八叉七步鬪新篇。
改隸以後無斯事。鈴閣賡酬樂藹然。

已看原唱極雄妍。鳴盛和成錦繡篇。
前古采詩資政化。明公會客豈徒然。

李種玉

詩情煥發筆生妍。自是名公愛客篇。
海外斯文欣有主。風存鄒魯尚依然。

儒相才高翰墨妍。揚文重會賦詩篇。
禮賢下士風猶在。鳴盛和聲共快然。

鄧　旭　東

大政治家詩更妍。隨風珠玉總成篇。
騷壇承示殊光寵。拜手賡颺自翕然。

南菜園經失舊妍。鳥松閣亦剩遺篇。
而今盛事欣重見。絲繡平原怪欲然。

劉　得　三

騷壇會啓筆花妍。扢雅揚風百十篇。
最愛自治成績好。藉銘公德勝燕然。

才學如公色色妍。朝稽政策夕詩篇。
閒來偏覽名山去。不減尋梅孟浩然。

受饗老典八十七叟紳士

陳　獻　琛

時值小春風景妍。幸逢佳會上詩篇。
錦心繡口皆佳作。鄒地金聲果有然。

林　伯　廉

沐澍滿紙筆花妍。四句詩成勸學篇。
從此文衰能振起。公非吏部更誰然。

平泉水石四時妍。李相猶存錦繡篇。
自古風流多韻事。如公此舉更超然。

山　口　透

黃柑丹荔各呈妍。政暇雅遊聯幾篇。
鈴閣嚴清儘開放。全臺詩客醉陶然。

猪口鳳庵

傑閣裁詩白雪妍。盛哉唱和百餘篇。
仰瞻憑仗起衰力。鯤島文風復斐然。

不怪風神雄且妍。掃開嵐瘴入新篇。
節樓名宴傳佳話。半壁藩籬日肅然。

南海徵清日斐妍。搢紳頌德幾連篇。
能詩善政今無匹。公是當年孟浩然。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

督府異動と送別其他

去月八日發表、新竹、臺南の二州知事、專賣局長其他に異動があつた爲め內地に歸る人、赴任する人、事務引繼や送別やが一緒に固まつて一時は隨分混雜を來したやうだ、休職者の中、服部前新竹州知事、大西前醫長、菊池前主計課長、小西前土木庶務課長の四氏は內地に歸還し長尾前法務部長は本島に止まりて辯護士業に從事すると傳へられたが、此の五氏の爲め臺北の官民二百五十餘名は十月十三日鐵道ホテルに盛んなる送別宴を開いた。但し小西氏丈けは事故の爲め當日出席されなかつた。

其の外、服部氏の爲には十月十日新竹俱樂部で盛大な送別會が催され參會者約六百名に達するの盛況を呈した、尙ほ同氏に對しては其他諸方面の送別的催しがあつた、同氏は十四日出發內地に歸還した。

菊池武芳氏は久しく主計課長であり時に會計課長を兼ね又た東洋、南洋の兩協會支部及赤十字、愛國婦人兩支部に幹事として多年盡瘁せられ、本誌編纂委員としても創刊以來編輯及會計の事に盡力されたる等諸方面に關係を有せられたる爲め送別的會合も同氏の爲め各所に催された、氏は二十一日信濃丸で本島を後に內地へ出發された、同船には同じく本誌の編纂委員として盡力された小西恭介氏の外に大西醫長も搭乘歸還された當日は三氏の爲め臺北驛は勿論基隆迄も見送の紳士夫人が頗る多數であつた。

新臺南州知事の吉岡荒造氏は八日の發令が其の手に達するや否、十日午前十時臺北出發赴任したので其の迅速な精勤振りに世人を駭目せしめた、同氏著任後、十五日臺南公園に於て同氏及前知事枝氏の爲に盛んなる送迎會が催され會衆一千三百餘名に達するの盛況を呈した、枝前知事は本島に止まりて嘉南大圳の事業を管理することゝなつた。

新たに專賣局長となつた池田幸甚氏の榮進を祝すべく十六日越佐會によりて竹の家に歡迎會が開かれ席上、池田氏は同會の會長に推され之を承諾したと傳へられて居る、專賣局の前煙草課長高橋親吉氏は新たに土木局庶務課長として十日前任小西氏より引

職を受けた。

宮内省調度頭より新竹州知事に轉じた常吉德壽氏は二十一日着任、二十二日新竹倶樂部に於て州官民により歡迎會が催された、御厨前高雄州内務部長は十八日出發、内地へ歸還されたが高雄の官民は其前十三日氏の爲めに盛大なる送別會を高雄街役場に催した。

其他、神社柳吉、井澤眞氏の兩氏も内地に歸還し、田阪千助、草野義一、本間善庫、川崎末五郎、東忠藏、法水了禪、伊藤兼吉、和田一次、宇野英種の諸氏は各々其の新しい任務に就き、宮田松彦氏は二十日内地から赴任して來た。

講演の數々

▼九月十五日長官邸に於て中央研究所技師磯永吉氏の「歐米の品種改良事業」の講演あり▼婦人文化講座九月十七日臺北第一高等女學校講堂に於て農學博士東鄕實氏の「植民と婦人」と題する講演あり▼婦人文化講座二十四日午後二時半より臺北第一高等女學校講堂に於て高等商業學校長片山秀太郎氏の「社會事業に就て」の講演あり▼臺南市主催十月二日午後一時より臺南公館に於て市民講演會を開催す▼臺法月報創刊十五周年紀念九月三十日同誌主催榮座に於て講演會を開く▼十月二日午後二時より州警務課訓示場に於て衛生集談會開催（一）流行性腦脊髓膜炎に就て、羽鳥課長、（二）猩紅熱に就て、宮武警察醫、（三）血清療法及臟器療法に就て、富永技師等の講演あり▼婦人文化講座十月八日臺北第一高等女學校講堂に於て堀内醫學博士の疾病と迷信と題する講演あり▼十月十四日醫學專門學校講堂に於て野田文部省督學官の「最近の敎育思潮と本島の敎育」と題する講演ありたり。

諸集會

▼臺南州畜牛保健組合は九月十七日午前十時州廳會議室に於て疥癬病治療に關する協議會を開く▼二十三日新公園に於て體協庭球部主催の北部硬球競技大會を開く▼二十日濁水溪の築堤工事落成式を北斗郡官民合同主催溪州庄に於て擧行す▼臺北州産業組合聯合研究會主催、産業組合講習會を二十日より宜蘭郡役所に開く▼三十日午前八時より總督府公室に於て臺北市區計畫特別調査委員會を開く▼臺北市敎育研究會は十月八日午前九時より城西小學校に研究敎授會を開く▼臺南州に於ては十月五日州會議室に細民調査打合會を開く▼十月十日より二週間艋舺信用組合事務所に於て臺北州産業組合講習會開催▼七日臺北州主催第二回産牛品評會を全也里に開く▼十七日臺北新公園運動場に於て陸上競技第二回大會開催

編輯日記（十月三十日、屯）

▼木村、井出兩氏長文の原稿を送り來る
▼菊池、小西の兩委員、十月二十一日信濃丸にて内地歸還に付基隆迄見送る、車中作人多く港頭雨瀟々
▼東鄕委員十日南部に出張、二十一日歸北
▼内地出張中の柘君十月二十八日歸臺す

▼正　誤▲

前號口繪寫眞「後大埔緬羊飼育場」は「中央研究所嘉義種畜支場」の誤に付訂正す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

■九月

▼二十三日(金)

□法令取調委員會規程　司法に關する法令を調査審議せしむる爲め同會規程を公布す

▼二十五日(日)

□臺灣の衞生展覽會　本日閉會式を行ふ入場者約六萬四千餘人

▼二十七日(火)

□臺灣飲食物取締規則　本日公布せらる

▼二十八日(水)

□祀孔典禮　崇聖會に於ては二十八日萬華第一公學校に於て祀孔典禮を嚴修す

▼三十日(金)

□臺南大圳　臨時總會を嘉義郡役所に開く

■十月

▼一日(土)

□市制祝賀會　臺北市役所關係者は本日市制實施記念祝賀會を開催す、臺南、臺中に於ても同樣開催

□總督府評議會委員會　本日より教育、道路民法、商法等に關する委員會を開く

□臺南孔子祭　秋季大祭を孔子廟に行ふ

□臺南青年團　起團式を表座に擧行す

▼三日(月)

□法令取調委員會へ訓示　田總督は同會設置の趣旨を委員に訓示す

▼八日(土)

□督府の大異動　新竹、臺南兩州知事、專賣局長以下異動發表せらる

▼九日(日)

□臺中の衞生展覽會　市主催同會の開會式を市公會堂に擧行す

▼十二日(水)

□比島總督來臺　比島新總督ウッド將軍赴任の途次米艦ニューオルレアン號にて來臺、田總督、福田軍司令官に敬意を表し隣交の誼を締す

□米臺の野球戰　米艦ニューオルレアン號のチームと全臺北軍との野球戰を新公園に開く

人事消息

自九月十六日至十月十五日

▼下村海南博士　九月廿一日外遊の途に上る

▼吉田馬公要港司令官　海軍將官會議參列の爲め二十二日内地へ出發

▼井澤眞民氏　病氣歸省中の處二十四日歸臺

十月十日内地歸還

▼山形土木局長　二十二日上京

▼野田文部省督學官　二十六日來臺

▼賀來總務長官　二十九日上京

▼高田殖產局長　同日内地へ歸還

▼吉田碩造氏　同日上京

▼廣江臺南中學校長　二十九日内地及鮮滿地方へ出張

▼鎌田正威氏　三十日歸臺

▼奥秋水產課長　同上

▼林熊徵氏　同上

▼吉田平吾氏(遞信局長)　三十日着任

▼小野得一郎氏　十月三日上京

▼安場男爵　七日來臺、十日歸京

▼山本悌二郎氏　同上

▼大島博士(中央研究所農業部長)　十日札幌へ赴く

任命

大正十年九月中

▲八月二十五日

任判事　法院判官　今西保知

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲八月三十日

中央研究所事務官　國府小平

任總督府中央研究所事務官、庶務課長ヲ命ス

、△九月一日

法院判官　山田示元

補高等法院覆審部部長

法院判官　大里武八郎

補臺南地方法院部長

法院判官　高橋喜又

補臺中地方法院部長

法院判官　田中吉雄

補臺中地方法院長

法院判官　堀田眞猿

補臺北地方法院部長

法院判官　石崎皆市郎

補臺中地方法院判官

法院判官　渡邊里樹

補臺北地方法院新竹支部判官

總督府事務官　生駒高常

上京ヲ命ス

檢事　豬井健

任法院判官

醫學專門學校教授
兼總督府技師　小島親二

免兼官

中央研究所技師　大島金太郎

林業部長金平亮三不在中代理ヲ命ス、庶務課長心得兼務ヲ免ス

▲九月二日

臺中州協議會員ヲ命ス　岩本多助

▲九月五日

總督府技師　加藤節

殖產局糖務課、商工課兼務ヲ命ス

總督府視學官　田中友二郎

學務課長生駒高常不在中代理ヲ命ス

▲九月一日

稅關監視官兼事務官　小谷常英

任稅關事務官

▲九月八日

總督府事務官　吉岡荒造

官房調查課兼務ヲ命ス

▲九月十日

總督府技師兼高等商業學校教授　大山爾也

兼任中央研究所技師、工業部長ヲ命ス

總督府事務官　本間喜庫

兼任總督府警視、警務局理蕃課勤務ヲ命ス

師範學校教授　葛宗貞太郎

任公立中學校教諭、臺北中學校勤務ヲ命ス

師範學校助教授兼公立高等女學校教諭　山根勇藏

任臺灣總督府師範學校教授、臺北師範學校勤務ヲ命ス

臺灣公立中學校教諭　紫野政璠

依願免本官

中央研究所技師　堀內次雄

工業部長兼務ヲ免ス

總督府技師　吉田碩造

東京、大阪、愛知、兵庫、福岡、熊本ノ二府四縣下及北海道ヘ出張ヲ命ス

▲九月十二日

公立中學校教諭　大宅貫雄

任師範學校教授、臺北師範學校勤務ヲ命ス

公立中學校教諭兼商業專門學校教授　並河直孝

任臺灣公立中學校教諭兼官如故、臺南中學校勤務ヲ命ス

▲九月十三日

專賣局事務官　松下芳三郎

支那及朝鮮ヘ出張ヲ命ス

▲九月十五日

總督府警視　佐藤求巳

東京、埼玉及群馬ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス

總督府技師　素木得一

植物檢查所長兼務ヲ命ス

中央研究所技師　鈴木近志

東京及神奈川ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス

▲九月十二日

臺南州協議會員　田村武七

願ニ依リ臺南州協議會員ヲ免ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲九月十五日
基隆署長　山内小藤二
奏任官ヲ以テ待遇セラル
警務局長心得　川崎卓吉
▲九月十七日
任殖局長
調度頭正　吉田平吾
任臺灣總督府遞信局長
臺北州知事　相賀照鄉
任警務局長
遞信局長　齊藤愛二
任稅關長
法院判官　高田富藏
任臺北州知事
殖產局長　高田元治郎
依願免本官
稅關長　原鶴次郎
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス
▲九月十五日
視學官　田中友二郎
上京ヲ命ス
▲九月十九日
（各通）
法院檢察官　菅野善三郎
法院檢察官　小野得一郎
上京ヲ命ス

州技師　森田松三郎
東京及横濱ノ二市ヘ出張ヲ命ス
▲九月二十日
警務局長　相賀照鄉
總督府評議會員ヲ命ス
▲九月十九日
判事　高嶺方美
任法院判官、補臺北地方法院判官
▲九月二十一日
公立中學校長　廣江萬次郎
東京、京都、廣島ノ二府一縣下朝鮮及滿州ヘ出張ヲ命ス
專賣局技師　笠島孝作
歐米各國及北部阿弗利加ヘ出張ヲ命ス
▲九月二十二日
原季五郎
任總督府技師、警務局衛生課勤務ヲ命ス
臺北州技手　青木茂次
任州技師、臺中州內務部土木課勤務ヲ命ス
丹野保次
任總督府技師、警務局衛生課勤務ヲ命ス
農林專門學校教授　村山釀造
兼任中央研究所技師
總督府屬　蔡伯毅
兼任翻譯官、官房外事課勤務ヲ命ス

醫院醫官補　松本留吉
任醫院醫官、臺東醫院勤務ヲ命ス
豐原公學校兼豐原女子公學校長　吳濟次
奏任官ヲ以テ待遇セラル
總督府視學官　小野正雄
學務課長生駒高常不在中代理ヲ命ス
州理事官　堀內林平
新竹州內務部勸業課長兼務ヲ命ス
總督府視學官　田中友二郎
內務局學務課長代理ヲ免ス
▲九月二十四日
警務局長　相賀照鄉
土木局長山形要助不在中代理ヲ命ス、市區計畫委員ヲ命ス、市區計畫臨時委員ヲ免ス
遞信局長　吉田平吾
文官普通懲戒委員ヲ命ス、臺灣汽船職員懲戒委員長ヲ命ス、遞信局及郵便局職員共濟組合審查會議長ヲ命ス、私設無線電信通信從事者資格檢定委員長ヲ命ス
臺北州知事　高田富藏
市區計畫委員ヲ命ス、
稅關長　齊藤愛二
市區計畫委員ヲ免ス、臺灣汽船職員懲戒委員長ヲ免ス、遞信局及郵便局職員共濟組合審查會議長ヲ免ス、私設無線電信通信從事者資格檢定委員長ヲ免ス、文官普通懲戒委

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

員ヲ免ス

殖產局長　川崎卓吉

文官普通懲戒委員ヲ免ス

師範學校助教授　牧茂市郎

任師範學校教授、臺南師範學校勤務ヲ命ス

師範學校教授　西山清澄

依願免本官

警務局長　相賀照鄉

▲九月二十七日

警察官及司獄官練習所長ヲ命ス

臺北州知事　高田富藏

教科書調查會委員ヲ命ス

總督府事務官　川村直岡

總督官房調查課兼務ヲ命ス

總務長官　賀來佐賀太郎

（各通）

祕書官　松本剛吉

上京ヲ命ス

法院檢察官　菅野善三郎

法院判官　谷野格

法院判官　望月恒造

法院檢察官　三好一八

法院判官　山田示元

參事官　吉岡荒造

總督府事務官　長尾景德

（各通）

參事官　喜多孝治

參事官　鼓包美

法院判官　伴野喜四郎

總督府事務官　和田一次

法院判官　鈴木英男

法院判官　姉齒松平

法令取調委員會委員ヲ命ス

法令取調委員　長尾景德

法令取調委員會幹事ヲ命ス

▲九月二十九日

內務局長　末松偕一郎

總務長官賀來佐賀太郎不在中代理ヲ命ス

▲九月二十七日

法院判官　後藤和佐二

法令取調委員會委員ヲ命ス

州技師　中谷哲二

任總督府州技師、高雄州內務部勸業課勤務ヲ命ス

寄贈書目

書名		發行所
滿蒙之文化	每號	滿蒙文化協會
大亞	每號	大亞義會本部
東亞經濟研究	同	其社
新臺灣	同	其社
實業之臺灣	同	其社
臺法月報	同	其社
糖業	同	臺灣糖業研究會
臺灣教育	同	其社
極東公論	同	其社
大鵬	同	拓殖新報社
臺灣貿易表	同	臺灣總督府稅務課
朝鮮	同	朝鮮總督府
支那	同	東亞同文會
臺灣鐵道	同	其社
青島商報	同	其社
臺灣農事報	同	臺灣農友會
稅務月報	同	稅務職員共慰會
博愛	同	臺灣博愛社
貿易	同	日本貿易協會
臺灣鑛業會報	同	其社
臺灣警察協會雜誌	同	其社
南洋協會雜誌	同	其社
海事新報	同	帝國海事協會
週報（上海貿易）	同	上海日本商業會議所
東洋時報	同	東洋協會
南洋經濟新報	同	新嘉坡商品陳列館
偕行社記事	同	陸軍偕行社
海友	同	大連海務協會
大陸	同	大陸社
地方行政	同	帝國地方行政學會
內外情報	同	外事課調查課
臺灣パック	同	臺灣パック社
高砂パック	同	高砂パック社
統計學雜誌	同	統計學社
遞信協會雜誌	同	遞信協會
滿蒙實業彙報	同	大連商業會議所
會計	同	明治大學出版部
統計集誌	同	東京統計協會
一味	同	本願寺臺灣開教々務所
極東	同	極東社
對岸時報	同	福井縣對岸實業協會
統計集誌	同	統計學社
國際經濟	同	國際經濟協會
產業事報	同	日本產業協會
臺灣醫學會雜誌	同	醫學專門學校

漢文欄

十月初一日於總督府評議會委員會告辭

臺灣總督男爵　田健治郎

當開委員會。今次諸君撥忙而集。開有自遠方來者。深感劬勞焉。

此番委員會附議諸案。概係重要有關臺灣百年之大計者。就中。如民法商法。殊如諸君今將就審查之民法事項則。尤爲重大。即如教育及道路問題。亦爲重大固不待言。然此等事項。雖則一旦決定。或因政治之措施。尚得變更。至於民法則。定民生之根本。不得隨時變更。故於內地明治二十二三年間。創制民法商法及他法典。無不慎重注意。而後詢之元老院。元老院更加愼重審議。殊如人事編。殆行全部改正之熟議。方得成立也。祇以法理學者理論成案。輙不能施行。須要參酌實踐實驗家之意見故也。今次問題。即將內地既成法典。在乎如何施行於臺灣。並非創立新法。故與民法編纂之時。事情有異。惟思。若將此大法典。儘爲施行本島則。在臺人永遠有關極大之利害。故不得輕易即決。余對谷野主查有云。當此民法審查須要愼重考慮。而到實施。免其窒礙之起。慮之則能爲理解民法之各條。而有審查之必要。將此重大問題。與其短少日月。草々決定。寧不如雖期間延長愼密審議。則無遺漏。因對此等。無所牽制。不妨率直發表意見。惟所希逐條考慮周詳研究。雖爲婆心。尤所一言希望也。

於法令調査委員會訓示

十月三日於總督府

臺灣總督男爵 田健治郎

此番設立法令調査委員。經擧各員。選定委員。玆將大概方針示訓

本島之文化。隨逐漸進步。而所適應之內地法令。如有可得施行于臺灣者。宜漸次施行。尤爲必要之政策也。

要施行于臺灣之內地法令內。最爲重大者。現在諮問評議會之民法商法是也。諮問評議會。是以民法。施行於臺灣。是否應設除外例之事項如何。又如商法施行於臺灣。則應設除外例之事項有無如何也。商法與民法。稍有諮問之意不同。乃民法則。可謂人類生存之根本。而自人出生家族親族之關繫以至諸般權利義務。凡關人民私法上利害得失之重大法規者也。若於臺灣民情風俗相異之處。取之施行則不可不愼重研究。祇就理論。或概括論。而已。決定則。必生種々不合之處。於評議會則。議員之言論。爲自由。故有提倡全部施行論。或有提倡一部可設除外例。互異不一。今後不知有何覆申。未便豫想。其覆申則。係常識判斷者必多。故實行法更就經過法。委於法律專門家之研究審査。爲要譬如應照舊慣辨理者。若照民法則。此經過法。不知如何辨理。既已成立之法律關係則。不知如何。既已所得權利則。施行後。按照何法。可得保障等事。每事須要論究。此等事。於人事上殊多。又關於不動產或土地則。內地人臺灣人。以均照舊慣。若依民法。則即此經過規程如何可定等。自有每事精査研究問題必多。商法與民法成立不同。關於商事規定。以遍通世界。雖然習慣之關係淺少。然因有臺灣特殊之商賈習慣。此等經過法。亦當要審査。

以上所列頗屬重大事項。故於短日月間一切調

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

查。恐雖爲不能之事。然既係許議會決定。則務要速爲調査。

除以上外。戶籍法。亦與民法。有密接之關係。遇有民法施行之時。亦當要徹底解決。戶籍法則。現時。依權且之案。雖爲施行。若過有徹底解決之時。或難免煩諸君之審查。

法令調查委員。非爲審查一切法令。惟有要法律技術。極爲繁難重大案件。而特由總督飭令調查之時。卽當調查者也。照此方針。卽望審議。

以上不過說示大概方針。望諸君之努力精勵焉。

南洋失業華工之慘狀（十月十七日廣州晨報）

南洋通訊云。南洋英屬各埠華僑工界數十萬人。大抵傭工于錫礦及樹膠園者居多。近因各國工黨停工。其銷路停止。因之錫及樹膠價格大跌。故屯積此兩種貨者。大受損失。今錫鑛樹膠園。皆一律停工。以致工人失業。日食不給。鵠形菜色者。觸目皆然。各屬會館。籌款煮粥賑濟。其影響商場至大。且重受累最深者。首推火食店。次則銀行及航業皆因工業停輟之所致也。據老客南洋言。目下南洋華僑生計之窘苦。實爲向來所未見云。

漢詩及漢文の寄稿を募る

大正十年十一月

臺灣時報編輯部

臺灣總督府內務局編纂

臺灣
地方制度法規輯覽

●携帶至便小形　●紙數六百十頁　●定價一部　一圓五十錢郵稅共

●內容●第一章州廳郡行政●第二章州及廳地方費●第三章市街庄●第四章區●第五章參考法規の五章に分ち昨年地方制度創始以來の法規全部を集成す

右當所に於て發賣致候に付御希望の向は品切さならざる前至急御申込ありたし

大正十年十一月

臺灣總督府內

臺灣時報發行所

振替口座臺灣二〇七〇番
電話府內八九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN